

書評 201809

**ふたりぐらし**

桜木 紫乃 著

新潮社

元映写技師の夫、信好。母親との確執を解消できないままの妻、紗弓。一緒にくらすと決めたあの日から、少しずつ幸せに近づいていく。そう信じながら、ふたりは夫婦になり…。『小説新潮』掲載に加筆・修正して単行本化。

2018:7./ 212p

978-4-10-327724-8

本体 ¥1,450+税



産経新聞 2018/09/01

**ちひろメモリアル～生誕 100 年～(別冊太陽)**

平凡社

戦争の時代をくぐり、いのちの大切さを見つめ続けて、子どもたちの幸せを願い、深い愛に生きた画家・いわさきちひろ。家庭の中でのスナップや趣味の世界から素顔に迫り、雑誌の表紙絵を通覧して画業の変遷をたどる。

2018:6./ 159p

978-4-582-92263-9

本体 ¥2,300+税



産経新聞 2018/09/01

**すごい葬式～笑いで死を乗り越える～(朝日新書 672)**

小向 敦子 著

朝日新聞出版

笑いこそは、死という不条理に一矢報いることのできる唯一の行為。気鋭の老年学者が、歴史をひもとき、最新の葬送事情を取材しつつ、死を乗り越える行為としての「笑い」について考察する。

2018:6./ 239p

978-4-02-273772-4

本体 ¥760+税



産経新聞 2018/09/02

**経済学者、待機児童ゼロに挑む**

鈴木 亘 著

新潮社

待機児童原因は保育士不足? 都市部への人口集中? 保育歴 16 年、東京での対策の陣頭に立つ異端の経済学者が、待機児童問題の入門から応用まですべて解説。日本の複雑な保育制度についてもわかりやすく説明する。

2018:3./ 255p

978-4-10-351711-5

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/09/02

**ケラリーノ・サンドロヴィッチ<2> 百年の秘密/あれから(ハヤカワ演劇文庫 44)**

ケラリーノ・サンドロヴィッチ 著

早川書房

2 人の女性が一生守り続けた秘密「百年の秘密」、2 組の夫婦の倦怠を苦く滑稽に描く「あれから」。演出家、ミュージシャン、映画監督でもあるケラリーノ・サンドロヴィッチの戯曲 2 編を収録。

2018:4./ 569p

978-4-15-140044-5

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/09/02

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2018 年 9 月時点での税抜価格です。



君の唇に色あせぬ言葉を

阿久 悠 著

河出書房新社

何が美しい、何がカッコいい、何が恥ずかしいか、この三つの基準だけをしっかりとって照合すれば立派に生きられる。昭和歌謡界の巨星・阿久悠が遺した言葉の数々を収録する。人生に悩める全ての人に捧ぐ箴言集。

2018.8./ 197p

978-4-309-02725-8

本体 ¥1,150+税



産経新聞 2018/09/02



凍てつく太陽

葉真中 顕 著

幻冬舎

昭和 20 年、終戦間際の北海道・室蘭。陸軍の軍事機密をめぐり、軍需工場の関係者が次々と毒殺される。アイヌ出身の特高刑事・日崎八尋は、先輩刑事とともに捜査に加わるが…。『小説幻冬』連載を加筆・修正し単行本化。

2018.8./ 534p

978-4-344-03344-3

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/09/02



大阪の教科書～大阪検定公式テキスト～<ビジュアル入門編>

橋爪 紳也、創元社編集部 編

橋爪 紳也 著

創元社

「なにわなんでも大阪検定」の初級試験の受験者向け公式テキスト。歴史や地理、産業はもとより、大阪ことば、食文化、芸能、スポーツに至るまで、さまざまな分野を網羅する。楽しく学べるよう、図版も多数掲載。

2018.7./ 159p

978-4-422-25074-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/09/02



L.M.モンゴメリの「赤毛のアン」クックブック～料理で楽しむ物語の世界～

ケイト・マクドナルド、L.M.モンゴメリ、岡本 千晶 著

原書房

おひさま色のコーンスフレ、アンの塗り薬ケーキ、グリーン・ゲイブルズのシェパードパイ…。「赤毛のアン」の物語に出てくる料理のレシピを、モンゴメリの孫娘が紹介します。プリンスエドワード島の美しい写真も満載。

2018.7./ 111p

978-4-562-05495-4

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/09/02



日本人として知っておきたい世界史の教訓

中西 輝政 著

育鵬社

国際社会の中で日本の「外交下手」を克服し、21 世紀の世界で日本が生き残るためになすべきことは？ 幕末維新を直撃した英露のグレート・ゲーム、ソ連崩壊とパックス・アメリカーナなど、数々の歴史の教訓から論じる。

2018.7./ 262p

978-4-594-07936-9

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/09/02



カズオ・イシグロの視線～記憶・想像・郷愁～

森川 慎也 編

作品社

幼年時代の日本での記憶とイギリスでの体験を元に、独自の世界を構築するカズオ・イシグロ。気鋭の英文学者らが全作品を出版年順に通観し、その全貌に迫る。年譜や文献案内も収録。

2018.7./ 340p

978-4-86182-710-5

本体 ¥2,800+税



産経新聞 2018/09/02



歪んだ波紋

塩田 武士 著

講談社

新聞、テレビ、週刊誌、ネットメディア-情報のプリズムは、武器にもなり、人間を狂わす。そして、「革命」を企む、「わるいやつら」が、いる。「誤報」にまつわる 5 つの物語。『小説現代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

産経新聞 2018/09/09

2018.8./ 275p

978-4-06-512351-5

本体 ¥1,550+税



近代日本の中国観～石橋湛山・内藤湖南から谷川道雄まで～(講談社選書メチエ 679)

岡本 隆司 著

講談社

石橋湛山、内藤湖南、矢野仁一、橘樸…。東洋史の学統に連なる多士済々の俊秀たちは、いかに中国と格闘したか。その論述をていねいに読み直し、「日本人と中国」という有史以来の大テーマに挑む。

産経新聞 2018/09/09

2018.7./ 229p

978-4-06-512352-2

本体 ¥1,550+税



青少年のための小説入門

久保寺 健彦 著

集英社

いじめられっ子の中学生・一真は、ヤンキーの登に「小説の朗読をしてくれ」と頼まれる。ディスレクシアで読み書きができない登だが、名作小説とともに読むうちに、ふたりは本の面白さに熱狂しはじめ…。

産経新聞 2018/09/09

2018.8./ 419p

978-4-08-775442-1

本体 ¥1,650+税



奇跡の六番勝負～サラリーマンがプロ棋士になった日～(河出文庫 ふ 17-1)

古田 靖 著

河出書房新社

一度はプロ棋士への道を断たれたものの、アマチュアとしての活動を続け、紆余曲折の末プロ入りを果たした瀬川晶司。彼を支えた将棋を愛する人々が成し遂げた、奇跡のノンフィクション。補記を加えて文庫化。

産経新聞 2018/09/09

2018.8./ 256p

978-4-309-41626-7

本体 ¥780+税



こころ傷んでたえがたき日に

上原 隆 著

幻冬舎

コラムノンフィクションの第一人者・上原隆の作品集。妻が他の男の子供を産み、その子を頑張って可愛がっていたのに結局は妻に去られた男の慟哭を綴った「ああ、なんてみじめな」ほか全 22 編を収録。『正論』掲載を単行本化。

産経新聞 2018/09/09

2018.8./ 282p

978-4-344-03337-5

本体 ¥1,600+税



漱石の地図帳～歩く・見る・読む～

中島 国彦 著

大修館書店

本郷・小石川、千駄木、早稲田南町…東京の地理に深く結びついた夏目漱石の文学作品。漱石ゆかりの場所、作品に描かれた場所を訪ね、「坂」と「台地」という視点から漱石の作品を読み直す。

産経新聞 2018/09/09

2018.6./ 8p,214p

978-4-469-22263-0

本体 ¥2,100+税





有馬稲子 わが愛と残酷の映画史

有馬 稲子、樋口 尚文 著

筑摩書房

小津安二郎、市川崑、内田吐夢、今井正ら名監督、そして佐田啓二、中村錦之助ら名優たちの素顔とは？ 銀幕や舞台で活躍を続ける大女優・有馬稲子が、映画黄金期から現在までを語る。写真も豊富に掲載。

2018.6./ 222p

978-4-480-81847-8

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2018/09/09



私の中の山岡荘八～思い出の伯父・荘八～ 改訂増補版

山内 健生 著

展転社

雪深い新潟・魚沼地方の農家に生まれ、裸一貫で上京して、文字通り腕一本筆一本で世をわたった作家・山岡荘八。その甥である著者が、荘八についての思い出を綴る。新たに項を加えた改訂増補版。

2018.4./ 443p

978-4-88656-451-1

本体 ¥3,000+税



産経新聞 2018/09/09



AIを信じるか、神(アッラー)を信じるか(祥伝社新書 538)

島田 裕巳 著

祥伝社

進化する AI と信者急増中のイスラム教は、どちらも人間の知性や思考を超越した存在であり、信者は絶対服従せざるを得ない。人類は自由よりも、AI や神に思考を委ね、安全・便利な生活を選ぶのか。人類の行く先を見定める。

2018.6./ 238p

978-4-396-11538-8

本体 ¥820+税



産経新聞 2018/09/15



鯖

赤松 利市 著

徳間書店

紀州雑賀崎を発祥の地とする一本釣り漁師船団。彼らが終の棲家と定めたのは日本海に浮かぶ孤島だった。日銭を稼ぎ、場末の居酒屋で管を巻く、そんな彼らの生を照らす一筋の光明。しかしそれは破滅への序曲にすぎなかった。

2018.7./ 402p

978-4-19-864654-7

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/09/16



「死ぬとき幸福な人」に共通する7つのこと

小澤 竹俊 著

アスコム

自分で自分を否定しないこと。家族や大切な人に、心からの愛情を示すこと…。3千人を看取ったホスピス医が、この世を去っていった患者さんから学んだ「幸福な人生の過ごし方」を伝える。

2018.8./ 188p

978-4-7762-1005-4

本体 ¥1,100+税



産経新聞 2018/09/16



奥の細道迷い道～吉行和子・富士真奈美おんなふたり～

吉行 和子、富士 真奈美 著

集英社インターナショナル

唯一無二の親友であり、俳句仲間でもある女優、吉行和子と富士真奈美。泣き笑いしながら 80 代になったふたりが繰り広げる、天真爛漫で思いっきり楽しい、俳句人生論。句も収録。

2018.8./ 160p

978-4-7976-7357-9

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/09/16



信長君主論～マキャベリで読み解く戦国武将の虚実～

関 厚夫 著

さくら舎

善悪を超えて躍動する信長と戦国の武将たち。べらんめえ調の日本語を操るマキャベリが現代に現れ、著者と掛け合いをしながら、戦乱の世を生きる人間の赤裸々な野望と本性を解き明かす。『産経新聞』連載を書籍化。

産経新聞 2018/09/16

2018.9./ 285p

978-4-86581-165-0

本体 ¥1,600+税



原民喜～死と愛と孤独の肖像～(岩波新書 新赤版 1727)

梯 久美子 著

岩波書店

「夏の花」で知られる作家・詩人、原民喜。死の想念にとらわれた幼少期から、妻の愛情に包まれて暮らした青年期、その死まで。生き難さを抱え、傷ついてもなお純粋さをつらぬいた稀有な生涯を描く。略年譜も収録。

産経新聞 2018/09/16、朝日新聞 2018/09/29

2018.7./ 3p,275p

978-4-00-431727-2

本体 ¥860+税



自主独立とは何か<前編> 敗戦から日本国憲法制定まで(新潮選書)

細谷 雄一 著

新潮社

日本人はなぜ自らの手で憲法を起草できなかったのか。戦後日本の新しい「国のかたち」を巡り、米ソ、近衛文麿らが激しい駆け引きを繰り広げ…。世界史と日本史を融合させた視点から、日本と国際社会の「ずれ」の根源に迫る。

産経新聞 2018/09/16、読売新聞 2018/09/16、日本経済新聞 2018/09/22

2018.7./ 283p

978-4-10-603829-7

本体 ¥1,300+税



自主独立とは何か<後編> 冷戦開始から講和条約まで(新潮選書)

細谷 雄一 著

新潮社

なぜ非武装中立や全面講和による平和は実現しなかったのか。日本の独立回復の形をめぐる、日米それぞれの理想と現実が激しくぶつかりあい…。世界史と日本史を融合させた視点から、日本と国際社会の「ずれ」の根源に迫る。

産経新聞 2018/09/16、読売新聞 2018/09/16、日本経済新聞 2018/09/22

2018.7./ 286p

978-4-10-603830-3

本体 ¥1,300+税



私が誰かわかりますか

谷川 直子 著

朝日新聞出版

「世間体」と「本音」の間で揺れながら、介護を通して女たちは「老いと死の現実」を教えられる。文藝賞受賞の実力派作家が、自らの体験に基づいて介護と看取りを描いた小説。

産経新聞 2018/09/23

2018.8./ 228p

978-4-02-251560-5

本体 ¥1,500+税



ふたりのトロ～宮崎駿と『となりのトロ』の時代～

木原 浩勝 著

講談社

木原君、この作品は楽しく作ってください。元スタジオジブリ制作デスクが、公開 30 年を機に初めて明かす「となりのトロ」誕生までの 1 年間。宮崎駿監督やスタッフの素顔と情熱に迫る感動秘話が満載。

産経新聞 2018/09/23

2018.9./ 270p

978-4-06-221013-3

本体 ¥1,500+税





遊廓に泊まる(とんぼの本)

関根 虎洸 著
新潮社

遊廓が消えて 60 年。転業旅館として奇跡的にその姿を留める、現役で営業中の「泊まれる遊廓」取材し、独特な廓建築の内観外観を写真で紹介する。往時を知る人たちの証言も収載した、日本最後の遊廓の姿を伝える貴重な記録。

2018.7./ 125p
978-4-10-602284-5
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/09/23



チキンラーメンの女房〜実録安藤仁子〜

安藤百福発明記念館 編
中央公論新社

「インスタントラーメン」という大発明の実現を信じ、日清食品創業者・安藤百福とともに闘った妻・仁子。NHK 連続テレビ小説「まんぷく」のヒロインのモデルである安藤仁子の波瀾万丈の人生を紹介する。

2018.9./ 194p
978-4-12-005125-8
本体 ¥1,200+税



産経新聞 2018/09/23



インジョーカー

深町 秋生 著
幻冬舎

外国人技能実習生が暴力団から 7000 万円を奪うという事件が起きた。数々の難事件を解決してきた警視庁上野署の美人刑事・八神瑛子は、夫を殺した犯人を突き止めて以来、刑事としての目的を見失っていたが...

2018.7./ 338p
978-4-344-03331-3
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/09/23



こんな樹木葬で眠りたい〜自分も家族も幸せになれるお墓を求めて〜

上田 裕文 著
旬報社

森をお墓にする国ドイツに学ぶ、日本の樹木葬の新しいかたち。日本とドイツを中心に樹木葬の調査をしてきた著者が、調査によって感じたこと、両者の比較から見えてきた日本の樹木葬墓地の課題、今後の可能性などを綴る。

2018.8./ 207p
978-4-8451-1550-1
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/09/23



奇跡の本屋をつくりたい〜くすみ書房のオヤジが残したもの〜

久住 邦晴 著
ミシマ社

「なぜだ!?売れない文庫フェア」「中高生はこれを読め!」など、ユニークな企画を生み出した札幌・くすみ書房の店主・久住邦晴。2015 年の閉店後に病が発覚し、2017 年に他界した著者の遺稿を完全収録する。

2018.8./ 203p
978-4-909394-12-5
本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/09/23



投壘通信

山本 貴光 著
本の雑誌社

ドリトル先生や数学といった多彩なテーマから広がるブックガイド、10 年の時を経て完成した思想誌クロニクル、一味違う稲垣足穂論、自身を綴ったエッセイなどを収録。『考える人』『日本経済新聞』夕刊掲載等を単行本化。

2018.9./ 445p
978-4-86011-418-3
本体 ¥2,300+税



産経新聞 2018/09/29



このサンドイッチ、マヨネーズ忘れてる ハブワース 16、1924 年(新潮モダン・クラシックス)

J.D.サリンジャー、金原 瑞人 著

新潮社

サリンジャーの入手困難な短編を集成した、繊細な魅力あふれる作品集。「ライ麦畑でつかまえて」の主人公ホールデン・モリシー・コールフィールドがらみの短編 6 編を含む、全 9 編を収録。

2018.6./ 255p
978-4-10-591006-8

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/09/30



監禁面接

ピエール・ルメートル、橘 明美 著

文藝春秋

たどりついた大手企業の最終試験は何と「重役会議の襲撃」!? 失職して 4 年、最後のチャンスに懸ける 57 歳のアランは必勝の策を練るが…。ノンストップ再就職サスペンス。

2018.8./ 462p

978-4-16-390892-2

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/09/30



なぜ柳家さん喬は柳家喬太郎の師匠なのか?

柳家 さん喬、柳家 喬太郎 著

徳間書店

本寸法の古典落語をきっちりと聴かせる柳家さん喬の一番弟子が、なぜまったく芸風の違う、バリバリの新作派・柳家喬太郎なのか? ふたりへのインタビューをまとめた、人気師弟初の対談本。

2018.8./ 257p

978-4-19-864633-2

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/09/30



日本占領と「敗戦革命」の危機(PHP 新書 1152)

江崎 道朗 著

PHP研究所

日本崩壊の真の危機は戦後にあった。米中に浸透した共産主義者たちが仕組んだ敗戦革命プログラムの恐怖とは。現代人が知らない「日本史上最大の危機」と、それを救った人々の真実を描く。

2018.8./ 510p

978-4-569-84129-8

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2018/09/30



北のあけぼの〜悲運を超えた明治の小学校長〜

沖藤 典子 著

現代書館

すべての財産を失い、漂泊の晩年を生きたが、良き仲間を得て網走に北海道初の図書館をつくった先生がいた。開拓期に初等教育の普及を目指した男、安田貞謹の足跡を、孫である著者が明らかにしたノンフィクション・ノベル。

2018.8./ 222p

978-4-7684-5838-9

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/09/30



ベルリンは晴れているか

深緑 野分 著

筑摩書房

1945 年 7 月、4 カ国統治下のベルリン。米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥に訃報を伝えるため旅立つ。しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする羽目になり…。歴史ミステリ。

2018.9./ 475p

978-4-480-80482-2

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2018/09/30、読売新聞 2018/09/30



日中平和友好条約交渉と鄧小平来日(外交証言録)

田島 高志、高原 明生、井上 正也 著
岩波書店

1978 年 8 月に締結された日中平和友好条約は、交渉妥結までに 4 年の歳月を要した。外務省中国課長だった交渉当事者が、当時のメモ、私信、外交文書を踏まえ、当時の息詰まる交渉の現場を克明に証言する。

朝日新聞 2018/09/01

2018:8./
22p,194p,14p
978-4-00-061283-8
本体 ¥4,300+税



現代社会はどこに向かうか～高原の見晴らしを切り開くこと～(岩波新書 新赤版 1722)

見田 宗介 著
岩波書店

曲がり角に立つ現代社会は、そして人間の精神は、今後どのような方向に向かうだろうか。斬新な理論構築と、新たなデータに基づく徹底した分析のもとに、巨大な問いに改めて応答する。

朝日新聞 2018/09/01

2018:6./ 10p,162p
978-4-00-431722-7
本体 ¥760+税



ブラックボランティア(角川新書 K-219)

本間 龍 著
KADOKAWA

東京オリンピックのスポンサー収入は推定 4000 億円。この大イベントの運営を、組織委員会は 11 万人もの無償ボランティアでまかなおうとしている。「一生に一度の舞台」など、美名のもとに隠された搾取構造を明らかにする。

朝日新聞 2018/09/01

2018:7./ 221p
978-4-04-082192-4
本体 ¥800+税



孤独の発明～または言語の政治学～

三浦 雅士 著
講談社

なぜ人間だけが言葉を話すようになったのか?現地語・国語・普遍語、土着と外来、感動の構造…。人間のあらゆる認識、思考、行為の根幹をなす、言語という現象の本質に迫る。『群像』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2018/09/01

2018:6./ 550p
978-4-06-220880-2
本体 ¥3,500+税



自民党秘史～過ぎ去りし政治家の面影～(講談社現代新書 2460)

岡崎 守恭 著
講談社

田中角栄、中曽根康弘、竹下登、金丸信、山中貞則…。一昔前の政治家たちは、良くも悪くも器が違った。自民党を見つめ続けた伝説の政治記者が、彼らの、驚愕と禁断と哀愁のエピソードを語る。

朝日新聞 2018/09/01

2018:1./ 225p
978-4-06-288460-0
本体 ¥800+税



「がん」はなぜできるのか～そのメカニズムからゲノム医療まで～(ブルーバックス B-2062)

国立がん研究センター研究所 編
講談社

国立がん研究センターで行われてきた研究成果を織り交ぜながら、がんはどのように理解され、またその克服に向けてどのような戦略や対策が取られてきたかについて、わかりやすく解説。ゲノムが拓く新しいがん医療も紹介。

朝日新聞 2018/09/01

2018:6./ 286p
978-4-06-512093-4
本体 ¥1,100+税



原発事故と「食」～市場・コミュニケーション・差別～(中公新書 2474)

五十嵐 泰正 著

中央公論新社

農水産物の一大供給地であった福島は、3・11 以後、「デマ」や風評によって、苦しい状況に追い込まれている。流通や市場の課題、消費者とのコミュニケーション、差別の問題等から「食」を多面的に論じ、残る課題を考える。

2018.2./ 6p,220p
978-4-12-102474-9
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/09/01



第四の扉(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 468-1)

ポール・アルテ、平岡 敦 著

早川書房

奇怪な噂の絶えない屋敷で行われた交霊実験。それは新たな事件の幕開けだった。死体を担ぐ人影。別の場所で同時に目撃された男。そして呪われた部屋に再び死体が現れ…。フランス本格推理の名作。

2018.8./ 303p
978-4-15-183601-5
本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/09/01



The KLF～ハウス・ミュージック伝説のユニットはなぜ 100 万ポンドを燃やすにいったのか～

ジョン・ヒッグス、中島 由華 著

河出書房新社

無断サンプリング、チルアウト、そして自爆-。結成から成功の果てに大金を燃やすまでの「奇行」の数々が白日の下に! 音楽史上類を見ない逸話を残したイギリスのハウスミュージックユニット「The KLF」の評伝。

2018.6./ 266p
978-4-309-27953-4
本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/09/01



英語教育幻想(ちくま新書 1350)

久保田 竜子 著

筑摩書房

「英語は全世界の人々をつなぐ」「英語力は経済的成功をもたらす」という“信仰”は本当なのか? 海外の大学で長年教鞭をとってきた言語教育学者が、「英語への信仰」と「幻想」を、10 のポイントに分けてあぶりだす。

2018.8./ 247p
978-4-480-07156-9
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/09/01



流言蜚語(ちくま学芸文庫 シ 26-1)

清水 幾太郎 著

筑摩書房

朝日新聞 2018/09/01

2011.6./ 315p
978-4-480-09390-5
本体 ¥1,100+税



経済の不都合な話(日経プレミアシリーズ 367)

ルディー和子 著

日本経済新聞出版社

会社存続の動機は「経営者のエゴ」、顧客なんて「不実な愛人」、「日銀の約束」を誰も信用しない理由…。現実を表さない経済・ビジネス論を排し、人間の本性に基づく「言いづらい真実」を示す。

2018.8./ 241p
978-4-532-26367-6
本体 ¥850+税



朝日新聞 2018/09/01



雑種〜カフカ ショートセレクション〜(世界ショートセレクション 9)

フランツ・カフカ、酒寄 進一、ヨシタケ シンスケ 著

理論社

「変身」や「審判」など不条理の文学で知られる作家、フランツ・カフカの短編集。生前発表した作品、没後友人が発表した作品など、全 15 編を収録する。

2018.8./ 206p

978-4-652-20247-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/09/01



菓子屋横丁 月光荘〜歌う家〜(ハルキ文庫 ほ 5-1)

ほしお さなえ 著

角川春樹事務所

家の声が聞こえる。幼い頃から不思議な力を持つ大学院生・遠野守人。縁あって、川越は菓子屋横丁の一角に建つ古民家で住みこみの管理人をすることになり…。『ラテンティエ』連載を大幅に加筆修正し文庫化。

2018.8./ 255p

978-4-7584-4194-0

本体 ¥640+税



朝日新聞 2018/09/01



数学パズル大図鑑〜名問・難問を解いて楽しむパズルの思考と歴史〜<1> 古代から 19 世紀まで

イワン・モスコビッチ、東田 大志、櫻井 香織 著

化学同人

巨匠パズル作家が、数学史・科学史的な視点を導入しながら、古今東西のパズルをビジュアルに紹介。1 は、紀元前 1650 年の「アームスのパズル」、1858 年の「ホルディッチの定理」などを収録する。チェック欄あり。

2018.8./ 231p

978-4-7598-1969-4

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/09/01



数学パズル大図鑑〜名問・難問を解いて楽しむパズルの思考と歴史〜<2> 20 世紀そして現在へ

イワン・モスコビッチ、東田 大志、櫻井 香織 著

化学同人

巨匠パズル作家が、数学史・科学史的な視点を導入しながら、古今東西のパズルをビジュアルに紹介。2 は、1883 年の「リュカのパズル」、2010 年の「火曜日生まれの子」などを収録する。チェック欄あり。

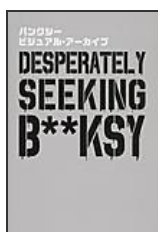
2018.8./ 177p

978-4-7598-1970-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/09/01



バンクシービジュアル・アーカイブ

バンクシー、ザビエル・タピエス、和田 侑子 著

グラフィック社

天才覆面グラフィティ・アーティスト、バンクシーの初期作から、パレスチナ自治区ベツレヘムの「分離壁」の前に創設した“世界一眺めの悪いホテル”などの代表作品までを収録。名作に込められたメッセージを的確に解説する。

2018.7./ 139p

978-4-7661-3141-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/09/01



プロケースワーカー100の心得～福祉事務所・生活保護担当員の現場でしたたかに生き抜く法～ 増補版

柴田 純一 著

現代書館

ケースワーカー業務の意味と心構え、実際の仕事、生活保護法の解釈と運用をめぐる問題、したたかに現場で生き抜く方法などについて述べた、福祉事務所新人職員に向けた解説書。

2015.5./ 230p
978-4-7684-3540-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/09/01



蒐める人～情熱と執着のゆくえ～

南陀楼綾繁 著

皓星社

蒐集の快樂と困惑…。稲村徹元、串間努ら 7 人に行った 2001?2004 年のインタビューを収録。2018 年の佐藤真砂へのインタビュー、都築響一との対談も掲載する。『sumus』等掲載を単行本化。「編む人」姉妹編。

2018.8./ 261p
978-4-7744-0658-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/09/01



呼び覚まされる霊性の震災学～3.11 生と死のはざままで～

東北学院大学震災の記録プロジェクト金菱清(ゼミナール) 編

新曜社

被災地の幽霊現象、慰霊、墓地、遺構保存にみる霊性と死生観。タブー視される「死者」に対して、東日本大震災の当時者たちはどのように向き合っていかなければならなかったのかを、綿密なフィールドワークを通して明らかにする。

2016.1./ 16p,180p
978-4-7885-1457-7

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/09/01



地震学をつくった男・大森房吉～幻の地震予知と関東大震災の真実～

上山 明博 著

青土社

近代地震学の発展にすべてを捧げ、ノーベル賞候補にもなった天才科学者・大森房吉は、なぜ歴史から抹消されたのか。彼の地震予知の大望はどのような結末を迎えたのか。日本科学史の闇に消えたひとりの男の足跡を明らかにする。

2018.6./ 269p
978-4-7917-7081-6

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/09/01



カラーレズガール<1>(芳文社コミックス)

白野 ほなみ 著

芳文社

朝日新聞 2018/09/01

2018.7.
978-4-8322-3621-9

本体 ¥590+税



冒頭を読む世界の名著 101

熊木 信太郎 著

論創社

古代バビロニアの「ハンムラビ法典」から、ホッブスの「リヴァイアサン」、ケインズの「雇用・利子および貨幣に関する一般理論」まで、古今東西の人文・自然科学の名著 101 点の冒頭部分を収録する。

2018.8./ 15p,303p
978-4-8460-1652-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/09/01



マンモスを再生せよ～ハーバード大学遺伝子研究チームの挑戦～

ベン・メズリック、上野 元美 著

文藝春秋

ヒトゲノム計画を立案した天才ジョージ・チャーチ率いる世界一の遺伝子ラボ。そこへ、中国の若き頭脳、「氷河期パーク」を夢見るロシア人、遺伝子編集の野生児らが結集し…。マンモスを蘇らせる、一大プロジェクトの全貌！

2018:7./ 301p

978-4-16-390879-3

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/09/01、東京・中日新聞 2018/09/02、読売新聞 2018/09/02、毎日新聞 2018/09/09、日本経済新聞 2018/09/29



WORK DESIGN～行動経済学でジェンダー格差を克服する～

イリス・ボネット、池村 千秋 著

NTT出版

「慣行とプロセスを変える」「能力を築く」「リスクのある環境のバイアスを緩和する」…。ハーバードの女性行動経済学者が、男女平等を実現するためのステップを、科学的な知見に基づいて解説する。

2018:7./ 435p

978-4-7571-2359-5

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/09/01、読売新聞 2018/09/30



ノモレ

国分 拓 著

新潮社

100 年前のアマゾン奥地、入植者が支配するゴム農園から命がけで逃れた先住民がいた。「ノモレ(仲間)を探してくれ」との約束は果たされるのか…。NHK スペシャルが生んだノンフィクション。『新潮』掲載を書籍化。

2018:6./ 297p

978-4-10-351961-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/09/01、日本経済新聞 2018/09/08



医療現場の行動経済学～すれ違う医者と患者～

大竹 文雄、平井 啓 著

東洋経済新報社

人間心理のクセがわかれば、医者と患者の溝は埋められる！診察室での会話例から、行動経済学的に患者とその家族、医療者の意思決定を分析。医者と患者双方が「よりよい意思決定」をするうえで役立つ一冊。

2018:7./

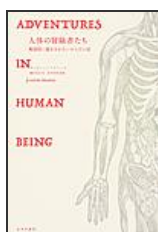
19p,265p,27p

978-4-492-31507-1

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/09/01、日本経済新聞 2018/09/08



人体の冒険者たち～解剖図に描ききれないからだの話～

ギャヴィン・フランシス、鎌田 彷徨、原井 宏明 著

みすず書房

顔半分だけが麻痺した女性、直腸にケチャップの瓶が入った男性など、家庭医フランシスはさまざまな患者と出会い…。小説のようなケースヒストリーに古今東西の人体をめぐる逸話を交えた、読む人体図鑑とも呼べる医療エッセイ。

2018:7./ 5p,253p,14p

978-4-622-08717-5

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/09/01、日本経済新聞 2018/09/29



影の歌姫<上>(創元推理文庫 Mラ10-3)

ルシンダ・ライリー、高橋 恭美子 著

東京創元社

レマン湖のほとりに建つ館で育った血の?がらない6人姉妹の次女アリーは、フルート奏者にしてヨット選手。最愛の人と幸せなときを過ごしていた彼女に、父の死の知らせが。だがアリーはその前日、父のヨットを目撃していて…。

2018:7./ 427p

978-4-488-21907-9

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/09/01、毎日新聞 2018/09/23



影の歌姫<下>(創元推理文庫 Mラ 10-4)

ルシンダ・ライリー、高橋 恭美子 著

東京創元社

度重なる衝撃に打ちのめされたアリーは、父が遺した座標の示すノルウェーに向かった。そこで彼女が見出したのは、ひとりの歌姫の波乱に満ちた生涯の物語。その謎が解けると、アリーの出生の秘密が明らかに...

2018.7./ 437p

978-4-488-21908-6

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/09/01、毎日新聞 2018/09/23



アブサロム、アブサロム!<上>(岩波文庫 赤版 32-323-6)

フォークナー 著

岩波書店

1833 年ミシシッピに忽然と現れたヘンリー・サトペンは、無一物から農場主ののし上がり、ローザの姉と結婚、二人の子を得る。そのサトペン一族はなぜ非業の死に滅びたのか?南部の男たちの血と南部の女たちの涙が綴る一大叙事詩。

2011.10./ 357p

978-4-00-323236-1

本体 ¥940+税



朝日新聞 2018/09/08



アブサロム、アブサロム!<下>(岩波文庫 赤版 323-7)

フォークナー 著

岩波書店

次第に明らかになるサトペンの秘密。少年時代の屈辱、最初の結婚の秘密、息子たちの反抗、近親相姦の怖れ、南部の呪い...。「白い」血脈の永続を望み、そのために破滅した男の生涯を、圧倒的な語りの技法でたたみ掛ける大作。

2012.1./ 408p

978-4-00-323237-8

本体 ¥1,060+税



朝日新聞 2018/09/08



ナンシー関の耳大全 77~ザ・ベスト・オブ「小耳にはさもう」1993-2002~(朝日文庫 赤版 14-9)

武田 砂鉄 編

ナンシー関 著

朝日新聞出版

2002 年に急逝した消しゴム版画家・ナンシー関。その言葉は古びることなく、今なおテレビの中に漂う違和感に答え続けてくれる。彼女の大ファンである武田砂鉄が「小耳にはさもう」から選び抜いた 77 本のコラムを収録。

2018.8./ 356p

978-4-02-261941-9

本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/09/08



神に守られた島

中脇 初枝 著

講談社

沖縄のすぐそばにある沖永良部島。大戦末期、米軍機による激しい攻撃を受けるが、島のこどもたちはいきいきと過ごしていた。そんなある日、島に特攻機が不時着するという事件が起き...。『小説現代』連載を大幅に加筆修正。

2018.7./ 231p

978-4-06-512205-1

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/09/08



富山は日本のスウェーデン～変革する保守王国の謎を解く～(集英社新書 0944)

井手 英策 著
集英社

ワークシェアリング的な雇用環境、女性が働きやすい仕組み、公教育への高い信頼...。保守的な土地柄とされる富山で「リベラルの理想」が実現しつつある。富山でのフィールドワークを10年間続けてきた著者が、その背景を探る。

2018.8./ 220p
978-4-08-721044-6
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/09/08



カルピスをつくった男 三島海雲

山川 徹 著
小学館

行商としてモンゴル高原を行き来していた三島海雲は、遊牧民から振る舞われた乳製品の未知なる味に心が躍り、やがてその感動は海を渡る。日本初の乳酸菌飲料カルピスの産みの親の知られざる生涯を辿る。

2018.6./ 351p
978-4-09-389777-8
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/09/08



斗南藩～「朝敵」会津藩士たちの苦難と再起～(中公新書 2498)

星 亮一 著
中央公論新社

戊辰戦争に敗れた会津藩は、青森県下北半島や三戸を中心とする地に転封を命ぜられる。疫病の流行、住民との軋轢、新政府への不満と反乱...。凄絶な苦難をへて、再起をはかった会津藩士たちの、もうひとつの明治維新史。

2018.7./ 5p,231p
978-4-12-102498-5
本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/09/08



富士 改版(中公文庫 た13-8)

武田 泰淳 著
中央公論新社

悠揚たる富士に見おろされる戦時下の精神病院を舞台に、現実と狂気の境目が崩れ、すりかわっていく人々のありさまをユーモアを交えて描き出す。自作を語る「富士と日本人」、担当編集者・村松友視によるエッセイなども収録。

2018.8./ 696p
978-4-12-206625-0
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/09/08



邪馬台国は「朱の王国」だった(文春新書 1177)

蒲池 明弘 著
文藝春秋

邪馬台国とヤマト王権。ふたつの古代国家は、朱の採掘と輸出によって繁栄した「朱の王国」だった! 古事記・日本書紀に記された神話と歴史、巨大古墳の造営バブル、大仏造立など、古代史の謎に新たな視点で迫る。

2018.7./ 262p
978-4-16-661177-5
本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/09/08



マトリョーシカ・ブラッド

呉 勝浩 著
徳間書店

陣馬山で発見された白骨死体の傍らに、謎の薬物が入ったマトリョーシカが埋められていた。その男は5年前、神奈川県警が組織ぐるみで隠蔽した事件の関係者だった。県警に激震が走る中、八王子で第二の惨殺死体が発見され...

2018.7./ 430p
978-4-19-864653-0
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/09/08



右派はなぜ家族に介入したがるのか～憲法 24 条と 9 条～

中里見 博、能川 元一、打越 さく良、立石 直子、笹沼 弘志、清末 愛砂 著
大月書店

狙われているのは 9 条改憲だけではない。「個人の尊厳」と「両性の本質的平等」を掲げる憲法 24 条を敵視し、改憲への策動を続ける右派勢力。その狙いを読み解き、24 条と 9 条を柱とする「非暴力平和主義」を対置する。

朝日新聞 2018/09/08

2018.5./ 200p
978-4-272-35043-8
本体 ¥1,600+税



空港時光

温 又柔 著
河出書房新社

羽田?台北。空港を舞台に鮮やかに浮かびあがる 10 の人生、そして新しい生のかたち。「台湾系ニホン語人」作家の飛翔作。エッセイ「音の彼方へ」も併録。『文藝』『すばる』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/09/08

2018.6./ 176p
978-4-309-02695-4
本体 ¥1,500+税



歴史学者と読む高校世界史～教科書記述の舞台裏～

長谷川 修一、小澤 実 著
勁草書房

高校世界史と大学の歴史学は別物? 今現在高校の世界史において全ての高校生が用いる教科書が、どのようなメディアであり、どのような問題をはらみ、またどのような可能性を持ちうるかを論じる。シンポジウムをもとに書籍化。

朝日新聞 2018/09/08

2018.6./ 15p,261p
978-4-326-24848-3
本体 ¥2,500+税



社会学大図鑑

クリストファー・ソーブ、沢田 博 著
三省堂

社会学の成り立ちから社会の不平等、都市と共同体、グローバル化、文化、消費と労働、制度、家族、セクシュアリティまで、豊富な図版とともにわかりやすく解説する。社会学人名録、用語解説、索引つき。

朝日新聞 2018/09/08

2018.8./ 352p
978-4-385-16237-9
本体 ¥4,200+税



暗黒日記<1>(ちくま学芸文庫)

清沢 冽、橋川 文三 著
筑摩書房

朝日新聞 2018/09/08

2002.6./ 462p
978-4-480-08711-9
本体 ¥1,500+税



江藤淳と大江健三郎～戦後日本の政治と文学～(ちくま文庫 こ 30-3)

小谷野 敦 著
筑摩書房

批評家と小説家、保守と左翼。文壇への華麗なる登場から栄光と終焉までを描く、江藤淳と大江健三郎のダブル伝記。宿敵ともいえる両者を通して、戦後日本の文壇・論壇を浮き彫りにする。

朝日新聞 2018/09/08

2018.8./ 449p,20p
978-4-480-43533-0
本体 ¥950+税





市場・知識・自由～自由主義の経済思想～

フリードリヒ・アウグスト・フォン・ハイエ 著

ミネルヴァ書房

朝日新聞 2018/09/08

1986.11./ 290p,8p

978-4-623-01672-3

本体 ¥2,800+税



上田薫画集

上田 薫 著

求龍堂

なま玉子、スプーン、ジャム、流れ、空…。写真表現などを持ちいてキラメキの瞬間を描く、独自のリアリズム絵画を確立した上田薫の画集。油彩を中心に、水彩、リトグラフを掲載。2017年3月開催の講演会の模様も収録。

2018.8./ 158p

978-4-7630-1821-2

本体 ¥6,000+税



朝日新聞 2018/09/08



蠅たちの隠された生活(大英自然史博物館シリーズ)

エリカ・マカリスト、榎永 一宏、鴨志田 恵 著

エクスナレッジ

蠅がいなければ、人はチョコレートを食べることも、心地よい世界に暮らすこともできない!? 蠅たちの知られざる生態と驚くべき能力、そして人間との切っても切れない関係を、大英自然史博物館の昆虫学者が解き明かす。

2018.6./ 343p

978-4-7678-2493-2

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/09/08



国家がなぜ家族に干渉するのか～法案・政策の背後にあるもの～(青弓社ライブラリー 89)

本田 由紀、伊藤 公雄 著

青弓社

家族に関わる法律案や施策の現実化に向けての動きが、政府によって加速されている。家庭教育支援法案など個別の法案・制度の内実とその背景を詳細に分析する。2017年1月開催のシンポジウムでの報告を中心にまとめる。

2017.9./ 172p

978-4-7872-3421-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/09/08



ヌードがわかれば美術がわかる(インターナショナル新書 028)

布施 英利 著

集英社インターナショナル

ヌードの彫刻が男性像ばかりだった古代ギリシア時代、その末期になって突然、女性のヌード像が登場する。以降、美術の一大テーマであり続けるヌードの魅力と鑑賞のポイントを紹介する。

2018.8./ 250p

978-4-7976-8028-7

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/09/08



50歳の衝撃～はたらく僕らの生き方が問われるとき～

山本 直人 著

日経BP社

人は何歳でも「再起動」できる! 実話をもとに、50歳前後のミドル世代が直面しやすい25の葛藤物語を描く。人生を左右する「衝撃的な経験」を“自分事”として捉えることで、50歳からの生き方を考えることができる一冊。

2018.8./ 262p

978-4-8222-9253-9

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/09/08



死都調布

斎藤 潤一郎 著

リイド社

サグシティ調布で捲き起こるスーパードープなハードボイルドストーリー。

朝日新聞 2018/09/08

2018.8./ 256p

978-4-8458-5199-7

本体 ¥700+税



眼がスクリーンになるとき〜ゼロから読むドゥルーズ『シネマ』〜

福尾 匠 著

フィルムアート社

映画とは何かを考え抜いたジル・ドゥルーズの伝説的著作「シネマ」のロジックを一步一步解きほぐす入門的解説書。「たんに見る」ことの難しさと創造性をめぐる一冊。

朝日新聞 2018/09/08

2018.7./ 303p

978-4-8459-1704-4

本体 ¥2,200+税



絶景本棚

本の雑誌編集部 編

本の雑誌社

スタイリッシュ、すっきり整然、床積み、魔窟に野放し系…。趣味も専門もバラバラな34人の本棚模様を、オールカラーの写真で紹介しします。『本の雑誌』連載を再構成し、書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2018/09/08

2018.2./ 221p

978-4-86011-411-4

本体 ¥2,300+税



ローカルテレビの60年〜地域に生きるメディアの証言集〜

日本大学法学部新聞学研究所、小川 浩一 編

日本大学法学部新聞学研究所 著

森話社

1950年代後半?60年代初頭にテレビ放映を開始した全国12の地方民放へのインタビュー集。ドキュメンタリー等の自主制作番組や、災害への対応、キー局や他メディアとの関係など、当事者の証言から地方民放の軌跡を辿る。

朝日新聞 2018/09/08

2018.8./ 333p

978-4-86405-130-9

本体 ¥4,400+税



講座明治維新<12> 明治維新史研究の諸潮流

明治維新史学会 編

有志舎

明治維新に関する最新の研究成果を体系的に提示。12は、政治・経済・外交・社会・地域・ジェンダー・国際比較など様々な視点・方法論から、明治維新史研究の到達点と新たな課題を提示する。

朝日新聞 2018/09/08

2018.8./ 8p,299p

978-4-908672-23-1

本体 ¥3,400+税



リアルサイズ古生物図鑑〜古生物のサイズが実感できる!〜<古生代編>

土屋 健、群馬県立自然史博物館 著

技術評論社

水揚げされた海洋動物アノマロカリス、犬と昼寝する哺乳類の親戚ディクトドン…。古生物をリアルなイラストで再現し、現代景色に配置した図鑑。先カンブリア時代末のエディアカラ紀?古生代末のペルム紀の古生物を収録。

朝日新聞 2018/09/08、読売新聞 2018/09/16

2018.7./ 207p

978-4-7741-9913-9

本体 ¥3,200+税





転職のまえに～ノンエリートのキャリアの活かし方～(ちくま新書 1351)

中沢 孝夫 著

筑摩書房

人生を充実させる、中高年からの働き方「再」入門。中小企業から大企業までの豊富な事例とデータをひもときながら、さまざまな転職や転換を考える。転職に向けての基礎知識や、雇用の基本なども取り上げる。

2018.8./ 206p

978-4-480-07169-9

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/09/08、日本経済新聞 2018/09/08



国宝<上> 青春篇

吉田 修一 著

朝日新聞出版

1964 年元旦、長崎の老舗料亭で、この国の宝となる役者・立花喜久雄は生まれた。この世ならざる美貌は人々を巻き込み、喜久雄の人生を思わぬ域にまで連れ出し…。『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

2018.9./ 351p

978-4-02-251565-0

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/09/09



国宝<下> 花道篇

吉田 修一 著

朝日新聞出版

技をみがき、道を究めようとものがく男たち。血族との深い絆と軋み、信頼と裏切り。舞台、映画、テレビと芸能界の転換期を駆け抜け、その頂点に登りつめた先に何が見えるのか? 『朝日新聞』連載に加筆修正して単行本化。

2018.9./ 353p

978-4-02-251566-7

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/09/09



白き糸の道

澤見 彰 著

新潮社

養蚕に欠かせないのは温度計だと直感した 15 歳の少女・お糸は、運命的に出会った蚕種商・中村善右衛門と共に、その開発に没頭するが…。江戸時代後期、養蚕業の発展に人生をかけたひとりの女の物語。

2018.5./ 332p

978-4-10-351861-7

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2018/09/09



わたしたちが火の中で失くしたもの

マリアーナ・エンリケス、安藤 哲行 著

河出書房新社

家の前に母親と住む汚い子供、通りで見つけた頭蓋骨、「燃える女たち」の反乱…。ラテンアメリカ新世代の<ホラー・プリンセス>による濃密なゴシックワールド。人間の無意識を見事にえぐり出す悪夢のような 12 の短篇を収録。

2018.8./ 241p

978-4-309-20748-3

本体 ¥2,650+税



朝日新聞 2018/09/09



英国怪談珠玉集

南條 竹則 著

国書刊行会

英国怪談の第一人者が半世紀に近い歳月を掛けて選び抜いた、イギリス怪奇幻想恐怖小説集。26 人の作品 32 編を一堂に集める。フィオナ・マクラウド「牧人」等の単行本未収録作も多数収録する。

2018.7./ 587p

978-4-336-06280-2

本体 ¥6,800+税



朝日新聞 2018/09/09



近代立憲主義と他者

江藤 祥平 著

岩波書店

かつてない危機にさらされる日本の立憲主義。この危機は何に由来するのか。ロバート・カヴァーの憲法論を手がかりに、戦後憲法学が視界の外に置いてきた<他者の不在>という難問に、憲法学・哲学・社会学を横断して向き合う。

2018/6/ 14p,365p,3p

978-4-00-061278-4

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2018/09/15



橋本多佳子全句集(角川ソフィア文庫 D117-1)

橋本 多佳子 著

KADOKAWA

女心と物語性に満ちた句で、戦後俳壇の女流スターと称された橋本多佳子の全句集。補遺(句集未収録作品)、自句自解、山口誓子による解説、年譜、季語索引なども収録する。

2018/8/ 582p

978-4-04-400412-5

本体 ¥1,440+税



朝日新聞 2018/09/15



世界経済入門(講談社現代新書 2473)

野口 悠紀雄 著

講談社

世界経済の諸問題について、経済学の基礎知識がなくても読めるよう、専門用語をできるだけ使わずに平易に解説。自由貿易や国際金融の基礎から米中貿易摩擦まで、各国の最新の経済動向がわかる。「日本経済入門」の姉妹篇。

2018/8/ 238p

978-4-06-288473-0

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/09/15



はっぴーアンサンブル<1>(アフタヌーン KC)

木尾 士目 著

講談社

声にコンプレックスを抱える藤吉晃。声変わりから極端に低い声になった彼は、「声を使わない仕事に就けるかも」という理由もあって工業高校に進学した。しかしそこで、合唱部を作ろうと意気込む同級生・木村仁と出会う。

2018/8/ 224p

978-4-06-512432-1

本体 ¥630+税



朝日新聞 2018/09/15



テンブル騎士団(集英社新書 0940)

佐藤 賢一 著

集英社

12世紀初頭に誕生し、軍事力・政治力・経済力すべてを持ち合わせた超国家組織となったテンブル騎士団。その成立過程から悲劇的結末まで、200年にわたる興亡を鮮やかに描き出す。『青春と読書』連載を加筆・修正。

2018/7/ 284p

978-4-08-721040-8

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/09/15



芸人と俳人(集英社文庫 ま 29-1)

又吉 直樹、堀本 裕樹 著

集英社

作家としても注目を集める芸人・又吉直樹が、気鋭の俳人・堀本裕樹に弟子入り。ひそやかな2年の学びをまとめる。書き下ろしエッセイや実作俳句20句も収録。

2018/7/ 365p

978-4-08-745766-7

本体 ¥680+税



朝日新聞 2018/09/15



TIMELESS

朝吹 真理子 著

新潮社

恋愛感情のない結婚をしたうみとアミ。ぎこちない交配を経てうみは妊娠。やがてアミは姿を消す。そして 2035 年、父を知らぬまま成長した息子のアオは旅先の奈良で桜を見ていた…。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/09/15

2018:6./ 266p

978-4-10-328463-5

本体 ¥1,500+税



自民党〜「一強」の実像〜(中公新書 2428)

中北 浩爾 著

中央公論新社

2012 年に政権に復帰し、一強状態にある自民党。関係者へのインタビューや数量的なデータなどを駆使し、多様な視角から包括的に分析。政権復帰後の自民党の特異な強さと脆さを徹底的に明らかにする。

朝日新聞 2018/09/15

2017:4./ 4p,313p

978-4-12-102428-2

本体 ¥880+税



しき

町屋 良平 著

河出書房新社

夢もなければ特技もない、クラスの人気も興味ない。フツウの高校 2 年生・星崎は、ある日、河原で暮らす友人・つくもから、子どもができたこと打ち明けられて…。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/09/15

2018:7./ 172p

978-4-309-02718-0

本体 ¥1,400+税



施設コンフリクト〜対立から合意形成へのマネジメント〜(幻冬舎ルネッサンス新書の7-1)

野村 恭代 著

幻冬舎メディアコンサルティング

障害者施設や保育所の建設時に全国で報告されている地域住民との対立、摩擦、そして建設中止。施設コンフリクトの事例を丁寧に分析し、合意形成のポイントや具体的なマネジメント手法を提案し解決への道筋を示す。

朝日新聞 2018/09/15

2018:7./ 181p

978-4-344-91772-9

本体 ¥800+税



クレイジー音楽大全〜クレイジーキャッツ・サウンド・クロニクル〜

佐藤 利明 著

シンコーミュージック・エンタテイメント

“ハナ肇とクレイジーキャッツ”のミュージシャンとしてのキャリアを、戦後ジャズ・ブームからグループ結成、そしてテレビの黄金時代、映画までを通して振り返る。完全ディスコグラフィーと詳細な解説、豊富なカラー図版付き。

朝日新聞 2018/09/15

2018:9./ 269p

978-4-401-64632-6

本体 ¥2,500+税



自民党戦国史<上>(ちくま文庫)

伊藤 昌哉 著

筑摩書房

朝日新聞 2018/09/15

2009:3./ 421p

978-4-480-42581-2

本体 ¥1,000+税





自民党戦国史<下>(ちくま文庫)

伊藤 昌哉 著

筑摩書房

朝日新聞 2018/09/15

2009:3./ 432p

978-4-480-42582-9

本体 ¥1,000+税



怖い間取り〜事故物件怪談〜

松原 タニシ 著

二見書房

恐くて部屋に入れない...! “事故物件住みます芸人”の松原タニシが、これまで生活してきた事故物件での体験や、実際に事故物件に住んでいる人に取材した話などを、間取り付きで紹介する。

2018:7./ 255p

978-4-576-18097-7

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/09/15



ヒロシマ・パラドクス〜戦後日本の反核と人道意識〜

根本 雅也 著

勉誠出版

なぜ原爆が人類の過ちで、その経験を継承しなければならないのか。原爆投下が包括的な共同体の出来事として普遍化されていく歴史的・社会的背景を追い、戦後の日本と広島が抱える「核」を巡る矛盾を被爆者の視点から描き出す。

2018:6./ 280p,3p

978-4-585-23063-2

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/09/15



世界遺産を問い直す(ヤマケイ新書 YS040)

吉田 正人、筑波大学世界遺産専攻吉田ゼミ 著

山と溪谷社

人と自然の相互関係を守るはずだった世界遺産条約が、単なる観光地ブランドになってしまったのはなぜか。自然遺産である白神山地、屋久島、登録延期となった奄美大島などを取り上げ、その今を問い直し、未来を考える。

2018:8./ 205p

978-4-635-51050-9

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/09/15



現代日本の政党政治〜選挙制度改革は何をもたらしたのか〜

濱本 真輔 著

有斐閣

1994年の選挙制度改革は、日本の政党政治に何をもたらしたのか。国会議員を取り巻く制度と環境を考察したうえで、議員行動、政党組織、党内統治のあり方の変容を、改革前後の比較も交えながら分析する。

2018:8./ 6p,303p

978-4-641-14925-0

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2018/09/15



こどものための防災教室〜災害食がわかる本〜

今泉 マユ子 著

理論社

災害の種類や身の守り方を説明すると共に、災害食を中心としたそなえについて詳しく解説。日常備蓄やサバイバルレシピを伝え、防災マップの作成や非常持出袋などについても紹介する。チェックリスト、備蓄品リストつき。

2018:8./ 111p

978-4-652-20274-6

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2018/09/15



ニッポン離島の祭り

箭内 博行 著

グラフィック社

離島の貴重な民俗文化は、祭りや年中行事という形で今に受け継がれている。兵庫県
の沼島八幡神社春祭り、沖縄県の糸満ハーレーなど、ニッポンの貴重な宝である
「離島の祭り」をオールカラーの写真で紹介。

2018/9/ 183p

978-4-7661-3175-8

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/09/15



戦後ヒロシマの記録と記憶～小倉馨の R・ユンク宛書簡～<上>

小倉 馨、小倉 桂子 編

小倉 馨、川口 悠子 著

名古屋大学出版会

被爆後を生きた人々の物語-。「原爆市長」浜井信三の肉声、原爆症と医師たちの葛
藤、平和活動に身を投じた青年たち、闇市ややくざの抗争など、戦後広島の再生の
足跡を人々の息遣いと共に伝える第一級のドキュメント。

2018/7/ 4p,329p

978-4-8158-0914-0

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/09/15



戦後ヒロシマの記録と記憶～小倉馨の R・ユンク宛書簡～<下>

小倉 馨、小倉 桂子 編

小倉 馨、川口 悠子 著

名古屋大学出版会

核時代の原点からの報告-。新たな観光事業、市民球場・球団設立、被爆者の生活
苦、外国人を巡る政策や孤児の問題、原水禁運動における政治的対立など、原爆の
遺した深い爪痕を伝える第一級のドキュメント。

2018/7/ 5p,p332?643

25p

978-4-8158-0915-7

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/09/15



ビーツ、私のふだん料理(天然生活ブックス)

荻野 恭子 著

地球丸

最強のスーパーフード「ビーツ」。世界 50 カ国の家庭料理を食べ歩いた著者が、各
国のビーツを使った家庭料理と、自身のセオリーを詰め込んだ、ビーツを使ったレシ
ピを紹介する。

2018/8/ 95p

978-4-86067-682-7

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/09/15



判断力批判

カント、熊野 純彦 著

作品社

美と崇高なもの、道徳的实践を人間理性に基礎づける、カントの最高傑作にして西欧
近代哲学の金字塔「判断力批判」の全訳。カント批判哲学を概説する第一序論も収
録。

2015/5/ 8p,590p

978-4-86182-530-9

本体 ¥7,600+税



朝日新聞 2018/09/15



硯の中の地球を歩く

青柳 貴史 著

左右社

石は 1 億年経っていないとまだまだ若造? ごぼうの味がする石がある? 硯もいじける? 製硯師は一夫多妻制? 世界一墨が磨れる石を探しに、命がけで中国の秘境を訪ねる製硯師が、ワイルドでワNDERなその仕事を語る。

朝日新聞 2018/09/15

2018.7./ 157p

978-4-86528-203-0

本体 ¥1,650+税



日本型資本主義〜その精神の源〜(中公新書 2502)

寺西 重郎 著

中央公論新社

強欲な金儲け主義への嫌悪感、ものづくりへの敬意や高品質の追求、集団行動の重視など、欧米とも、中韓とも異なる日本型の資本主義はいかに形成されたのか。その特質を歴史から解明し、現代の経済システム改革への指針を示す。

朝日新聞 2018/09/15、東京・中日新聞 2018/09/23、日本経済新聞 2018/09/29

2018.8./ 13p,281p

978-4-12-102502-9

本体 ¥880+税



新築がお好きですか?〜日本における住宅と政治〜(叢書・知を究める 12)

砂原 庸介 著

ミネルヴァ書房

日本において「持家社会」はなぜ形成されてきたのか。様々な個別の法律や規範・慣習などに相互補完的に支えられてきた、新築住宅を購入するという選択を、経済面・政治面から議論を深め、立体的にその「制度」に迫る。

朝日新聞 2018/09/15、読売新聞 2018/09/16、毎日新聞 2018/09/16

2018.7./ 4p,255p,4p

978-4-623-08366-4

本体 ¥2,800+税



仏像と日本人〜宗教と美の近現代〜(中公新書 2499)

碧海 寿広 著

中央公論新社

明治初期の廃仏毀釈から「仏像ブーム」の現代まで、人々はさまざまな思いで仏像と向き合ってきた。各時代の「知識人」を通して、日本人の感性の変化をたどり、劇的に変わった日本の宗教と美のあり方を明らかにする。

朝日新聞 2018/09/15、日本経済新聞 2018/09/15、産経新聞 2018/09/16、読売新聞 2018/09/16

2018.7./ 6p,255p

978-4-12-102499-2

本体 ¥860+税



「右翼」の戦後史(講談社現代新書 2485)

安田 浩一 著

講談社

戦前右翼の壊滅、反米から親米・反共への転換、政治・暴力組織との融合、新右翼、宗教右派、そしてネット右翼へ。関連する事件や事象を通して、戦後「右翼」勢力の歴史に迫る。

朝日新聞 2018/09/15、日本経済新聞 2018/09/22

2018.7./ 278p

978-4-06-288429-7

本体 ¥840+税



日本語びいき(中公文庫 し 52-1)

清水 由美、ヨシタケ シンスケ 著

中央公論新社

ごもつともなう抜き、奥ゆかしい自動詞、群れからはぐれた単語たち、発音しない発音…。日本語教師である著者が、愉快な文例を駆使して日本語を説く。オリジナルのコラム&新章を増補して文庫化。

朝日新聞 2018/09/15、日本経済新聞 2018/09/22

2018.8./ 221p

978-4-12-206624-3

本体 ¥700+税





七夜物語<上>(朝日文庫 か 60-1)

川上 弘美 著

朝日新聞出版

小学校 4 年生のさよは、母さんとふたり暮らし。ある日、図書館で出会った「七夜物語」というふしぎな本にみちびかれ、同級生の灰田くんと「夜の世界」に迷い込んでゆく。料理上手の大ねずみから、皿洗いを命じられ...

2015.5./ 296p

978-4-02-264777-1

本体 ¥540+税



朝日新聞 2018/09/22



七夜物語<中>(朝日文庫 か 60-2)

川上 弘美 著

朝日新聞出版

夜の世界で若き日の両親に出会ったさよと、自分そっくりの「情けない子」に向きあった灰田くん。この冒険が現実とつながっていることに気づいたふたりは、全てを夜の世界に連れ込もうとする「ウバ」とたたかうことになり...

2015.5./ 331p

978-4-02-264778-8

本体 ¥540+税



朝日新聞 2018/09/22



七夜物語<下>(朝日文庫 か 60-3)

川上 弘美 著

朝日新聞出版

大ねずみの台所でさくらんぼのクラフティーを食べながら、忘れられない夜を過ごしたさよと灰田くん。やがて最後の夜を迎えたふたりは、夜の世界の住人たちを壊そうとする力と対決する。そして、七つの夜があげると...

2015.5./ 343p

978-4-02-264779-5

本体 ¥560+税



朝日新聞 2018/09/22



ネットカルマ～邪悪なバーチャル世界からの脱出～(角川新書 K-224)

佐々木 閑 著

KADOKAWA

自らの行いが自らに帰すとするカルマ(業)。その思想に向き合い、乗り越える術を見出したのがブッダだった。現代のインターネットはカルマそのものであるとする仏教研究者が、ブッダの言葉にネット社会を生きるヒントを探る。

2018.8./ 203p

978-4-04-082145-0

本体 ¥800+税



朝日新聞 2018/09/22



ダンジョン飯<6>(HARTA COMIX)

九井 諒子 著

KADOKAWA

地上に戻るライオス達の前には現れたのは、ファリンに恋するかつての仲間・シュロー! 一緒に魔物食を食べてくれるのか!? 絆が試される第 6 巻!

2018.4./ 207p

978-4-04-735131-8

本体 ¥620+税



朝日新聞 2018/09/22



風の又三郎(講談社青い鳥文庫)

宮沢 賢治、太田 大八 著

講談社

台風のくる二百十日に転校してきた高田三郎は、伝説の風の子「又三郎」だとして、親しみとおどろきをもって迎えられたが...。表題作のほか、自然や星空をテーマにした、宮沢賢治の美しい童話と詩を全 9 編収録。

2008.10./ 220p

978-4-06-285050-6

本体 ¥570+税



朝日新聞 2018/09/22



徳政令～なぜ借金は返さなければならないのか～(講談社現代新書 2490)

早島 大祐 著

講談社

日本の中世社会では、徳政という名のもと、債務破棄が認められていた。では、現代のような、借金は返さなければならないという意識を共有する社会はいかに形成されたのか。近世までの歴史を追い、その過程を明らかにする。

2018.8./ 314p

978-4-06-512902-9

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/09/22



紛争地の看護師

白川 優子 著

小学館

悲しみ、憎しみ、恐怖。すべて見た。こみあげる怒り。それでも信じたい人間の強さ。イラク、シリア、パレスチナなど紛争地を中心に、これまで 17 回の派遣に応じてきた、「国境なき医師団」看護師が生と死の極限を綴る。

2018.7./ 271p

978-4-09-389778-5

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2018/09/22



工場(新潮文庫 お-95-2)

小山田 浩子 著

新潮社

何を作っているのかわからない巨大な工場。敷地に棲む謎の動物たち…。不可思議な工場での日々を 3 人の従業員がそれぞれに語る表題作ほか、働くこと、生きることの不安と不条理を描いた全 3 篇を収録。

2018.9./ 329p

978-4-10-120542-7

本体 ¥550+税



朝日新聞 2018/09/22



死と生(新潮新書 774)

佐伯 啓思 著

新潮社

「死ぬ」とは何か。「あの世」はあるのか。自分が死んだら世界はどうなるのか。稀代の思想家が、人間の究極の謎である「死」に徹底的に迫り、超高齢化社会で静かに死ぬための心構えを示す。『新潮 45』連載に加筆・改編。

2018.7./ 222p

978-4-10-610774-0

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/09/22



コンビニ人間(文春文庫 む 16-1)

村田 沙耶香 著

文藝春秋

36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼女なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニの生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

2018.9./ 168p

978-4-16-791130-0

本体 ¥580+税



朝日新聞 2018/09/22



神田松之丞講談入門

神田 松之丞 著

河出書房新社

落語と講談の違いは？ 初心者におすすめの講談は？ “未来の大看板”神田松之丞が、講談の基本知識を Q&A で紹介。松之丞の全持ちネタ解説、人間国宝・一龍斎貞水に学ぶ講談の歴史等も収録する。ジャケット裏面に写真あり。

2018.7./ 287p 図版 16p

978-4-309-27958-9

本体 ¥1,750+税



朝日新聞 2018/09/22



武器よさらば<上>(光文社古典新訳文庫)

ヘミングウェイ 著

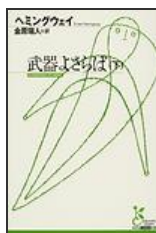
光文社

朝日新聞 2018/09/22

2007:8./ 273p

978-4-334-75134-0

本体 ¥760+税



武器よさらば<下>(光文社古典新訳文庫)

ヘミングウェイ 著

光文社

朝日新聞 2018/09/22

2007:8./ 308p

978-4-334-75135-7

本体 ¥820+税



国語教育の危機～大学入学共通テストと新学習指導要領～(ちくま新書 1354)

紅野 謙介 著

筑摩書房

思考力・判断力・表現力に乏しい人たちが「指導者意識」だけで旗をふる国語教育。「大学入学共通テスト」と「新学習指導要領」をつぶさに分析し、そこからかいま見える国語教育が抱える問題点を指摘し、警鐘を鳴らす。

2018:9./ 285p

978-4-480-07171-2

本体 ¥880+税



朝日新聞 2018/09/22



マルチ・ポテンシャル好きなことを次々と仕事にして、一生食っていく方法

エミリー・ワプニック、長澤 あかね 著

PHP研究所

さまざまなことに興味を持ち、多くのことをクリエイティブに探究するマルチ・ポテンシャル。その働き方や、自分に合う生産性システムのつくり方、不安への対処法、幸せに生きる秘訣などを紹介する。

2018:8./ 286p

978-4-569-84109-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/09/22



おしりたんてい みはらしそうのかいじけん(おしりたんていシリーズ)

トロル 著

ポプラ社

もとは旅館だった空き家にあらわれるという、大きな目玉のおばけとは? おしりたんていが今回の事件もププッと解決! 絵探しや迷路をしながら犯人を探す、謎解き探偵読み物シリーズ第7弾。ジャケット裏にまちがい探しあり。

2018:8./ 87p

978-4-591-15915-6

本体 ¥980+税



朝日新聞 2018/09/22



THE ATLAS OF BEAUTY～世界の美しい女性たち～

ミハエラ・ノロック、大浜 千尋 著

パイインターナショナル

アマゾンの熱帯雨林地域からインドの市場、ロンドンのストリート、アフガニスタンの山岳地帯まで、さまざまな女性たちのポートレートとストーリーを収録。あらゆる場所に存在する美しさと多様性を伝える写真集。

2018:9./ 351p

978-4-7562-5097-1

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/09/22



見えない違い〜私はアスペルガー〜

ジュリー・ダシェ、マドモワゼル・カロリーヌ、原 正人 著
花伝社

好き嫌が多い。大きな音が気になる…。マルグリット、27 歳。本当の自分を知ること
で、私の世界は色付きはじめた。アスペルガー当事者による原作をマンガ化。「アス
ピー」たちの体験談と、日常生活へのアドバイスを収録。

朝日新聞 2018/09/22

2018.8./ 193p
978-4-7634-0865-5
本体 ¥2,200+税



森を守るのは誰か〜フィリピンの参加型森林政策と地域社会〜

梶本 歩美 著
新泉社

国家と住民の対立、政策と現場のズレ、保護か利用か…。フィリピンの一農山村を舞
台に、二項対立では説明できない多様な森林管理の実態を見つめ、現場レベルで
独自に立ち現れる政策実践の可能性を考察する。

朝日新聞 2018/09/22

2018.7./ 321p,18p
978-4-7877-1811-2
本体 ¥3,000+税



文化の枢軸〜戦前日本の文化外交とナチ・ドイツ〜

清水 雅大 著
九州大学出版会

1938 年に結ばれた日独文化協定の成立・執行過程に着目。文化面における友好・
協力関係のみならず対立・摩擦の関係を描くとともに、両面的な関係の諸要因を分析
し、戦時日独関係における「文化協力」の内実を明らかにする。

朝日新聞 2018/09/22

2018.8./ 7p,210p,43p
978-4-7985-0240-3
本体 ¥4,000+税



政治教育の模索〜オーストリアの経験から〜

近藤 孝弘 著
名古屋大学出版会

民主主義の拡大を支え劣化を押しとどめるために、世界各国で注目される「政治教
育」。先駆的な 16 歳選挙権を導入したオーストラリアの、19 世紀末から 21 世紀初頭
までの政治教育の発展過程に迫る。

朝日新聞 2018/09/22

2018.6./ 7p,163p,59p
978-4-8158-0913-3
本体 ¥4,100+税



やっぱ志ん生だな!

ビートたけし 著
フィルムアート社

5 代目古今亭志ん生は、なぜこんなにも人の心を?んできたのか。志ん生を「最も敬愛
する落語家」として挙げるビートたけしが、その“凄さ”を独自の視点で分析。いまのお
笑い界、落語界を斬りながらとことん語る。

朝日新聞 2018/09/22

2018.6./ 164p
978-4-8459-1708-2
本体 ¥1,400+税



カール・マルクス入門

的場 昭弘 著
作品社

マルクスの人となりや、生涯の家族と友人、思わず笑ってしまうエピソード、思想を深く
理解するための主要著作案内を網羅した、マルクスとマルクス主義を理解できる入門
書。マルクスの略年表、家系図などの付録付き。

朝日新聞 2018/09/22

2018.8./ 391p
978-4-86182-683-2
本体 ¥2,600+税





共産党宣言～新訳～

カール・マルクス、的場 昭弘 著

作品社

当時の雰囲気を読み取り伝える、マルクスとエンゲルスの名前の入っていない「共産党宣言」初版ブルクハルト版の訳文と、訳に丁寧な注釈を付した「解説編」を収録。ドイツ語原文、宣言の成立に関わる資料、研究論文等も掲載。

2018.8./ 473p

978-4-86182-715-0

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2018/09/22



農と土のある暮らしを次世代へ～原発事故からの農村の再生～(有機農業選書 7)

菅野 正寿、原田 直樹 著

コモンズ

真の復興とは、経済成長依存社会からの脱却であり、農と土の見直しではないだろうか。農家や地域住民と、さまざまな専門性をもつ研究者の「協働」による農業復興への取り組みの記録。

2018.7./ 307p

978-4-86187-151-1

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/09/22



何が起きたのか?

ヒラリー・ロダム・クリントン、高山 祥子 著

光文社

ドナルド・トランプのような人間と大統領選を戦うとはどういうことか? 憤怒、男性上位主義、ロシアの妨害…。アメリカで初めて主要政党の大統領候補となった女性、ヒラリー・ロダム・クリントンが、自身の強烈な体験を綴る。

2018.7./ 513p

978-4-334-96220-3

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/09/22、産経新聞 2018/09/23



ペルペトゥアの殉教～ローマ帝国に生きた若き女性の死とその記憶～

ジョイス・E.ソールズベリ、後藤 篤子、田畑 賀世子 著

白水社

紀元 203 年のカルタゴ。闘技場で野獣刑に処された若いローマ貴婦人ペルペトゥアに焦点をあて、殉教という行為とその背景にある思想の対立を明らかにする。

2018.8./ 279p,64p

978-4-560-09648-2

本体 ¥5,200+税



朝日新聞 2018/09/22、読売新聞 2018/09/30



巨人の箱庭～平壤ワンダーランド～

荒巻 正行 著

駒草出版

北朝鮮の首都・平壤は、3 代の指導者という巨人がつくった箱庭都市である。建築・都市・少女・デザイン・絵画・ポスターなど、北朝鮮のビジュアルイメージと都市論から、平壤の真実の姿に迫る。写真、図版を多数収録。

2018.9./ 272p

978-4-909646-05-7

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/09/22、読売新聞 2018/09/30



方丈記(光文社古典新訳文庫 KA カ 3-1)

鴨 長明 著

光文社

災厄の数々、生のはかなさ…。人間と、人間が暮らす建物を一つの軸として綴られた、日本中世を代表する随筆の新訳。原典、和歌 10 首、訳者のエッセイも収録する。

2018.9./ 152p

978-4-334-75386-3

本体 ¥640+税



朝日新聞 2018/09/22、毎日新聞 2018/09/30



皇室の風～宮中取材余話～

岩井 克己 著

講談社

天皇制のいったいなにが変わり、なにが残されようとしているのか? 昭和と平成の皇室の歩みを 30 年余り見つけてきた皇室ウォッチャーが、宮中で目にしたもの、耳にしたもの、感じ取ったものを綴る。『選択』連載を書籍化。

朝日新聞 2018/09/29

2018.7./ 648p

978-4-06-512305-8

本体 ¥3,000+税



転生!太宰治～転生して、すみません～(星海社 FICTIONS サ 2-05)

佐藤 友哉、篠月 しのぶ 著

星海社

あの文豪、太宰治がよりによって現代日本に転生。そして即日心中!? 2017 年の東京に転生した太宰治が、現代社会と人間への痛烈な皮肉と賛歌を謳い上げる傑作、ここに開幕!

朝日新聞 2018/09/29

2018.9./ 285p

978-4-06-513109-1

本体 ¥1,400+税



著作権の世紀～変わる「情報の独占制度」～(集英社新書)

福井 健策 著

集英社

デジタル化やネットワーク化が進む現在、著作権は「作品という情報」を占有するための最強制度である。著作物の独占と共有のバランスはどうあるべきか。具体例を挙げながら分かりやすく解説する。

朝日新聞 2018/09/29

2010.1./ 236p

978-4-08-720527-5

本体 ¥720+税



もものかんづめ(集英社文庫)

さくら ももこ 著

集英社

朝日新聞 2018/09/29

2001.3./ 287p

978-4-08-747299-8

本体 ¥390+税



漂砂の塔

大沢 在昌 著

集英社

2022 年、北方領土の日中露合弁会社で日本人が殺された。捜査権がなく、武器も持てない土地で、ロシア系クォーターの警視庁潜入捜査官・石上が、単身事件を追う! 『小説すばる』連載を加筆・修正し単行本化。

朝日新聞 2018/09/29

2018.9./ 648p

978-4-08-771157-8

本体 ¥2,000+税



ちびしかくちゃん 1(りぼんマスコットコミックス)

さくら ももこ 著

集英社

さくらももこが描く、地味なアナザーワールド国民的漫画『ちびまる子ちゃん』から飛び出した! さくらももこによるセルフパロディ漫画『ちびしかくちゃん』!! 世知辛い世間を生き抜く、「しか子」をみんなで応援しよう!

朝日新聞 2018/09/29

2017.9./ 162p

978-4-08-867476-6

本体 ¥450+税





神のちから(Ikki comix)

さくら ももこ 著

小学館

朝日新聞 2018/09/29

2003:4./ 203p

978-4-09-188341-4

本体 ¥562+税



泥

ルイス・サッカー、千葉 茂樹 著

小学館

立ち入り禁止の森で、なにか恐ろしいことが起こる予感がする…。環境問題を背景に、バイオテクノロジーが生んだモンスターの恐怖を、ミステリータッチのスリラーとして描いた、コメディ要素をふくむ作品。

朝日新聞 2018/09/29

2018:7./ 237p

978-4-09-290622-8

本体 ¥1,400+税



近代と現代の間〜三谷太一郎対談集〜

三谷 太一郎 著

東京大学出版会

東京大学名誉教授・三谷太一郎が、歴史から政治、経済、憲法、学問まで、各分野の第一線で活躍してきた研究者・実務家と縦横無尽に語り合う。洞察に富んだ闊達な議論が近代史を貫き、現代を照らし出す刺激的な対話集。

朝日新聞 2018/09/29

2018:7./ 8p,230p

978-4-13-003349-7

本体 ¥2,900+税



オレは絶対にワタシじゃない〜トランスジェンダー逆襲の記〜

遠藤 まめた 著

星雲社

オレは男のはずなのに、なぜか女の体。おまけに女子校で、セーラー服姿の毎日。苦しすぎて、もう限界-。そんな悩めるトランス男子の軌跡と冒険の記録。一人ひとりが生きやすい社会の実現を熱く呼びかける渾身のメッセージ。

朝日新聞 2018/09/29

2018:7./ 225p

978-4-434-24956-3

本体 ¥1,500+税



幸福とは何か〜思考実験で学ぶ倫理学入門〜(ちくまプリマー新書 308)

森村 進 著

筑摩書房

幸福とは何か。私たちはなんのために生きているのか-。誰もが一度は心をつかまれるこの問題を手がかりに、思考実験と練習問題を通して、「世界」と「自分」との位置関係の読み解き方を学べる倫理学入門の書。

朝日新聞 2018/09/29

2018:9./ 232p

978-4-480-68329-8

本体 ¥860+税



いきもの寿命ずかん〜コドモからオトナまで楽しめる「動物たちの生き様カタログ」〜

新宅 広二、インダ コウ 著

東京書籍

美しい島でまったり散歩を 200 年するアルダブラゾウガメ。自然を知り尽くし、自然と闘うツキノワグマ。食欲が強さの源のカブトムシ…。動物たちの寿命と生き様がわかるエピソードを、イラストとともに紹介します。

朝日新聞 2018/09/29

2018:8./ 79p

978-4-487-81153-3

本体 ¥1,500+税





ブラック校則～理不尽な苦しみの現実～

荻上 チキ、内田 良 著

東洋館出版社

生まれつきの髪を黒く染めさせられる、体操着の内側に下着着用禁止…。「ブラック校則」の現状をデータや事例をもとに解説し、その構造や悪影響を分析。校則をどう変えるべきかを論じる。ブラック校則想定問答も掲載。

2018.8./ 260p

978-4-491-03557-4

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/09/29



トウモロコシの歴史(「食」の図書館)

マイケル・オーウェン・ジョーンズ 著

原書房

9000 年前のメソアメリカに起源をもつトウモロコシ。コロンブスによってヨーロッパへ伝えられ、世界へ急速に広まった歴史や、調理法、伝承、文化との関係も織り交ぜてつづる驚きの物語。レシピも収録。

2018.7./ 180p

978-4-562-05557-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/09/29



フェティッシュとは何か～その問いの系譜～

ウィリアム・ピーツ、杉本 隆司 著

以文社

西洋文明と「未開社会」の接触によって生まれた“フェティッシュ”と、その後、原始宗教として蔑まれた“フェティシズム”の誕生の歴史を検証。モノが信仰と欲望の対象となり、商品/貨幣となる、価値創造の謎に迫る。

2018.8./ 212p

978-4-7531-0347-8

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/09/29



マーク・トウェイン完全なる自伝<Volume3>

カリフォルニア大学マーク・トウェインプロジェクト 編

マーク・トウェイン 著

柏書房

遺言によって死後 100 年間封印されていたマーク・トウェインの口述自伝に、詳細な注釈をつける。1907 年 3 月から 1909 年 12 月までの口述自伝のほか、アシュクロフト・ライオン原稿や補遺なども収録。完結編。

2018.7./ 1,013p 図版

16p

978-4-7601-4986-5

本体 ¥17,000+税



朝日新聞 2018/09/29



おどろたいの

豊福 まきこ 著

BL出版

森のはずれでバレエに出会った、まっ白なうさぎ。一目で優雅な世界に引き込まれたうさぎは、勇気をだして扉をたたきます。先生は優しく迎えてくれて、やがて…。知らない世界に飛び込む勇気を、後押ししてくれる絵本。

2018.9./ [32p]

978-4-7764-0880-2

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/09/29



文系大学教育は仕事の役に立つのか～職業的レリバンスの検討～

本田 由紀 編

ナカニシヤ出版

文系の大学教育は本当に「役に立たない」のか。「文系」すなわち人文社会科学系に含まれるさまざまな学問分野の間の共通性と相違に注目しながら、調査結果に基づいて、さまざまな角度から検討する。

2018.8./ 3p,202p

978-4-7795-1310-7

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2018/09/29



給食アンサンブル(飛ぶ教室の本)

如月 かずさ 著

光村図書出版

転校先に馴染むのを拒む美貴、親友の姉に恋をする満、孤独な優等生の清野…。悩みを抱く中学生 6 人の揺れる心が、給食をきっかけに変わっていく。やさしく胸に響くアンサンブルストーリー。『飛ぶ教室』掲載を単行本化。

2018/9/ 188p

978-4-8138-0078-1

本体 ¥950+税



朝日新聞 2018/09/29



思考としてのランドスケープ 地上学への誘い〜歩くこと、見つけること、育てること〜

石川 初 著

LIXIL出版

地上は愉快でたくましい生存のスキルで満ちている! 自然と人、それぞれの仕組みと事情のままならなさを受け入れ、両者を橋渡しする<ランドスケープ的思考>。その使い方と楽しみ方を、事例とともに紹介する。写真も掲載。

2018/7/ 254p

978-4-86480-038-9

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2018/09/29



朝、目覚めると、戦争が始まっていた

方丈社編集部 編

方丈社

昭和 16 年 12 月 8 日、太平洋戦争勃発。あの日、日本人は戦争をどう感じ、何を考えたのか? 鶴見俊輔、高見順、金子光晴など、当日の知識人・著名人の日記、回想録から偽らざる戦争の実感を甦らせる。太宰治の短編も収録。

2018/8/ 158p

978-4-908925-34-4

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/09/29



水瓶〜対中いずみ句集〜(棕叢書 26)

対中 いずみ 著

ふらんす堂

猫の目のむんと怒れる緑の夜 紙コップ重ねて立てて天の川 聖歌隊ロビーに散りて嬉しさう トロフィーの見ゆる窓辺や夏燕 2012 年春から 2018 年春までの 260 句を収めた第 3 句集。

2018/8/ 151p

978-4-7814-1068-5

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/09/30



不純〜句集〜

山田 耕司 著

左右社

挿す肉をゆびと思はば夏蜜柑 うぐひすや順番が来て巴投げ 脱がせあふ服は迷彩ほととぎす マイペースなリズムから滲み出すユーモア。今一番脂の乗った俳句作家の一人、山田耕司の第 2 句集。

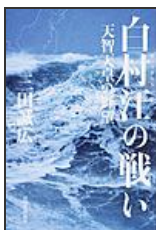
2018/7/ 133p

978-4-86528-206-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/09/30



白村江の戦い〜天智天皇の野望〜

三田 誠広 著

河出書房新社

大化改新後、帝国の水軍に不慣れた海戦を挑み、大敗を喫した「白村江の戦い」とは何のための戦争だったのか。戦乱の時代を生き抜いた中大兄(天智天皇)の強靱な意志の力と挫折を描いた長編小説。

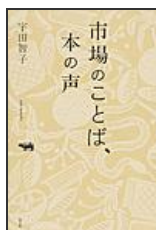
2017/7/ 315p

978-4-309-02590-2

本体 ¥2,100+税



東京・中日新聞 2018/09/02



市場のことば、本の声

宇田 智子 著

晶文社

那覇に移住して9年。店先から見えてきた、そして店先で考えてきた、本のこと、人のこと、沖縄のこと…。古本屋の店主にして気鋭のエッセイストが綴る珠玉のエッセイ集。『BOOK5』『本』ほか掲載を加筆し単行本化。

東京・中日新聞 2018/09/02

2018.6./ 235p

978-4-7949-7024-4

本体 ¥1,600+税



鏡の背面

篠田 節子 著

集英社

薬物依存症患者やDV被害者の女性たちが暮らすシェルターで発生した火災。聖母のように優しい「先生」は入居者を助け、死亡。皆が悲しむなか、死体は別人だと発覚し…。『小説すばる』連載を加筆・修正し単行本化。

東京・中日新聞 2018/09/02、朝日新聞 2018/09/22、読売新聞 2018/09/23

2018.7./ 534p

978-4-08-771152-3

本体 ¥2,000+税



ぼくの場合(エクス・リプリス)

ウーヴェ・ティム 著

白水社

1942年、ナチ・ドイツの武装親衛隊に入隊し、翌年、19歳の若さで戦死した兄。16歳年下の弟である著者が、残された日記や手紙から兄の人生を再構成しつつ、「戦争の記憶」とは何かを問いかける。

東京・中日新聞 2018/09/02、読売新聞 2018/09/09

2018.7./ 191p

978-4-560-09056-5

本体 ¥2,200+税



阿修羅像のひみつ～興福寺中金堂落慶記念～(朝日選書 975)

多川 俊映、今津 節生、楠井 隆志、山崎 隆之、矢野 健一郎、杉山 淳司、小滝 ちひろ 著

朝日新聞出版

合掌する手の本来の位置は？3つの顔は制作途中で変えられた？体重15キロと身軽なわけは？興福寺の阿修羅像をX線CTスキャナで撮影した画像データを解析し、8人の研究者がそれぞれの立場で解説する。

東京・中日新聞 2018/09/09

2018.8./ 195p

978-4-02-263075-9

本体 ¥1,700+税



悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト～パガニーニ伝～(新潮新書 775)

浦久 俊彦 著

新潮社

守銭奴、女好き、?神者。なれど、その音色は超絶無比。19世紀の「悪魔ブーム」をブランディングに用い、超絶技巧で人々を熱狂させた史上最強の演奏家ニコロ・パガニーニの、本邦初の伝記。

東京・中日新聞 2018/09/09

2018.7./ 221p

978-4-10-610775-7

本体 ¥760+税



ドローンの哲学～遠隔テクノロジーと<無人化>する戦争～

グレゴワール・シャマユー、渡名喜 庸哲 著

明石書店

ドローンはどこから来たのか。それは技術的、戦術的にどのような系譜をもっているのか。さらにそこからどのような根本的な定義づけができるのか。軍用ドローンに対して、さまざまな観点から哲学的に考察する。

東京・中日新聞 2018/09/09

2018.7./ 349p

978-4-7503-4692-2

本体 ¥2,400+税





新世界秩序～21 世紀の“帝国の攻防”と“世界統治”～

ジャック・アタリ、山本 規雄 著

作品社

19 世紀はイギリスが、20 世紀はアメリカが支配した世界を、21 世紀は誰が支配するのか？ 世界秩序の歴史的考察をもとに、今後の世界情勢の見通し、そして 21 世紀の新世界秩序を大胆に構想する。

2018:6./ 357p

978-4-86182-702-0

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2018/09/09



オカルト化する日本の教育～江戸しぐさと親学にひそむナショナリズム～(ちくま新書 1339)

原田 実 著

筑摩書房

偽史・疑似科学にもとづく教育論が学校に定着しつつある。「江戸しぐさ」と「親学」の形成と、それが教育現場、教育行政に受容される経緯、そしてその背後にある戦後日本の隠れた思潮傾向を解き明かす。

2018:6./ 219p

978-4-480-07146-0

本体 ¥780+税



東京・中日新聞 2018/09/16



波瀾万丈の明治小説

杉原 志啓 著

論創社

徳富蘆花「思出の記」、泉鏡花「婦系図」、尾崎紅葉「金色夜叉」…。明治の文学から、主として小説作品を採りあげ、近代日本の「物語」のおもしろさを語る。『表現者』連載に加筆し単行本化。

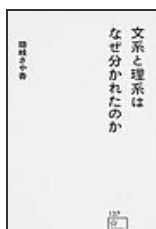
2018:6./ 238p

978-4-480-1690-6

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2018/09/16



文系と理系はなぜ分かれたのか(星海社新書 137)

隠岐 さや香 著

星海社

文系と理系というカテゴリーがどのようにして生れたのか、歴史を遡って確認したうえで、受験や就活、ジェンダー、研究の学際化といった問題に深く分け入る。科学史界の俊英が、不毛な「文系・理系」論争に終止符を打つ書。

2018:8./ 253p

978-4-06-512384-3

本体 ¥980+税



東京・中日新聞 2018/09/16、読売新聞 2018/09/30



気象災害から身を守る大切なことわざ～豪雨・台風・津波…日本人が言い伝えてきた知恵と行動～

弓木 春奈 著

河出書房新社

NHK ラジオ「先読み! 夕方ニュース」で伝えた、天災地変から生き延びるヒントをまとめた一冊。気象災害から身を守るために覚えておきたい、全国各地のことわざや言い伝えをやさしく解説します。

2017:11./ 219p

978-4-309-22720-7

本体 ¥1,400+税



東京・中日新聞 2018/09/23



台風についてわかっていないこと(ようこそ、その研究室へ)

筆保 弘徳、山田 広幸、宮本 佳明、伊藤 耕介、山口 宗彦、金田 幸恵 著

ベレ出版

毎年のように日本を襲う台風だが、未だ解明されていない謎は多い。台風の発生?衰弱のメカニズム、海との関係、気象庁の取り組み、温暖化の影響...。6つの切り口から、新進気鋭の台風研究者たちが、知られざる台風の謎に迫る。

2018:8./ 242p

978-4-86064-555-7

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2018/09/23



夢の猫本屋ができるまで~Cat's Meow Books~

井上 理津子 著

ホーム社

保護猫が「店員」として常駐。店内の本はすべて「猫本」。収益の一部を保護猫団体へ寄付。そんな前代未聞の本屋はいかにして出来たのか。コネも経験もゼロ、普通の中年会社員が「本×猫」のアイデアで夢をかなえた方法を綴る。

2018:7./ 253p

978-4-8342-5320-7

本体 ¥1,700+税



東京・中日新聞 2018/09/23、産経新聞 2018/09/30



水の匂いがするようだ~井伏鱒二のほうへ~

野崎 敏 著

集英社

太宰治が「勉強しだいでは、谷崎潤一郎にはなれるけれども、井伏鱒二にはなれない」と評した作家の魅力とは。「井伏文学の面白さここにあり」というポイントを、心愉しくめぐる一冊。『すばる』掲載を単行本化。

2018:8./ 283p

978-4-08-771149-3

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2018/09/23、毎日新聞 2018/09/30



一億円のさようなら

白石 一文 著

徳間書店

連れ添って 20 年。発覚した妻の巨額隠し資産。続々と明らかになる家族の秘密。爆発事故に端を発する化学メーカーの社内抗争。もう誰も信じられない。鉄平は人生を取り戻すための大きな決断をする...。『読楽』連載を単行本化。

2018:7./ 541p

978-4-19-864655-4

本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2018/09/30



酒から教わった大切なこと~本・映画・音楽・旅・食をめぐるいい話~

東 理夫 著

山と溪谷社

志ん生の電気ブラン、?せ我慢の爛酒、上海のハイボール...本・映画・音楽・旅・食をめぐる、極上の酒コラム 118 本を収録する。『日本経済新聞・土曜版夕刊』『銀座百点』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2018:8./ 301p

978-4-635-82066-0

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2018/09/30



なぜ日本はフジタを捨てたのか?~藤田嗣治とフランク・シャーマン 1945?1949~

富田 芳和 著

静人舎

世界的な巨匠・藤田嗣治の渡米を助けた元 GHQ 美術教育担当官、フランク・シャーマンのコレクション等を渉猟し、藤田渡米という“戦後美術最大の事件”が、70 年後の日本画壇崩壊のきっかけになったことなどを明らかにする。

2018:5./ 267p

978-4-909299-01-7

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2018/09/30



10代に語る平成史(岩波ジュニア新書 878)

後藤 謙次 著

岩波書店

平成はどんな時代だったのか。消費税導入、沖縄の苦難、自然災害、中国の台頭と日中関係…。激動の30年を、政治ジャーナリスト・後藤謙次がテーマごとにわかりやすく解説する。略年表も収録。

2018:7./ 6p,234p,13p

978-4-00-500878-0

本体 ¥900+税



読売新聞 2018/09/02



女が死んでいる(角川文庫 め2-4)

貫井 徳郎 著

KADOKAWA

二日酔いで目覚めた朝、寝室の床に見覚えのない女の死体があった。まさか俺が!? 手帳に書かれた住所と名前から、女の正体と犯人の手掛かりを探す…。表題作はじめ、全8編を収録した、どんでん返しの鮮やかな短篇集。

2018:8./ 381p

978-4-04-107225-7

本体 ¥720+税



読売新聞 2018/09/02



消された信仰〜「最後のかくれキリシタン」-長崎・生月島の人々〜

広野 真嗣 著

小学館

新・世界遺産から黙殺された島があった! かくれキリシタンの歴史に光を当てた、長崎「潜伏キリシタン関連遺産」だが、長崎県が作ったパンフレットからは生月島の存在が消されていて…。カトリック史の重大タブーに迫る。

2018:5./ 255p

978-4-09-388621-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/09/02



公園へ行かないか?火曜日に

柴崎 友香 著

新潮社

世界各国から作家や詩人たちが集まる IWP に参加した著者が、議論をし、街を歩き、アメリカ大統領選挙を目撃した3か月を描く連作小説集。表題作ほか全11篇を収録する。『新潮』等掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

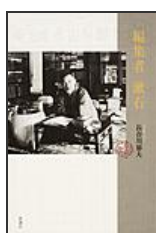
2018:7./ 276p

978-4-10-301833-9

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/09/02



編集者漱石

長谷川 郁夫 著

新潮社

編集感覚に優れた正岡子規と親交を結んだ夏目漱石は、『朝日新聞』文芸欄の編集者として精力的に活動し、大正文学の開花に大きな影響を及ぼした。「編集者」という異色の視点から漱石を考察する。

2018:6./ 355p

978-4-10-336392-7

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2018/09/02



終わりなき道<上>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 331-7)

ジョン・ハート、東野 さやか 著

早川書房

少女監禁犯を拷問の上で射殺したとして、激しい批判にさらされる刑事エリザベス。だが彼女には真実を明かせない理由があった。同じ頃、殺人をみずから認め、服役していた元同僚のエイドリアンが仮釈放されるが…。

2018:6./ 402p

978-4-15-176707-4

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/09/02



終わりなき道<下>(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 331-8)

ジョン・ハート、東野 さやか 著

早川書房

エイドリアンの出所後間もなく、かつて彼が殺人を犯したとされる場所で、女性の絞殺体が発見された。疑惑がエイドリアンに集まる中、エリザベスは彼の無実を証明すべく、無謀な捜査を進めるが...

2018.6./ 406p

978-4-15-176708-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/09/02



日本酒完全ガイド

君嶋 哲至 著

池田書店

つくり手の顔が見える、今までにはなかった新時代の日本酒を厳選して紹介。日本酒の造り方から、酒器、つまみまで幅広く解説した、日本酒の味わい深さがわかる入門書。巻末におすすめ日本酒カタログと日本酒用語集つき。

2011.11./ 191p

978-4-262-12959-4

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/09/02



ああ、くたびれた。～幻の随筆集～

高峰 秀子 著

河出書房新社

恩師の話、ファッションの話、女優について、成瀬監督の思い出、志賀直哉の手紙...。高峰秀子という1人の女性の気持ちのありよう、人としての心の軌跡が、より一層明確に読み取れる単行本未収録随筆集。

2018.7./ 189p

978-4-309-02712-8

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2018/09/02



消滅世界(河出文庫 む 4-1)

村田 沙耶香 著

河出書房新社

人工授精で子を産むことが定着した世界。「両親が愛し合った末」に生まれた雨音は母に嫌悪感を抱いていた。雨音は清潔な結婚生活を送り、夫以外のヒトやキャラと恋愛を重ねる日々を送るが、それは移住した実験都市で一変し...

2018.7./ 283p

978-4-309-41621-2

本体 ¥630+税



読売新聞 2018/09/02



日本酒ガイドブック～英語対訳つき～

松崎 晴雄 著

実業之日本社

日本酒の製造方法や地域の食文化の違いに由来する酒質のバラエティーを、現代的なトレンドを交えながらコンパクトに紹介。酒器や居酒屋の代表的な料理など、酒の周辺にまつわる伝統的な要素も取り上げる。英語対訳付き。

2018.7./ 111p

978-4-408-00916-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/09/02



禅とジブリ

鈴木 敏夫 著

淡交社

やわらかく、やさしく、強く、この時代を生きるには-。スタジオジブリ・プロデューサーが、3人の禅僧と語る“半径3メートル”の禅問答。『なごみ』連載に加筆し単行本化。

2018.7./ 223p

978-4-473-04259-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/09/02



終わらない「失われた 20 年」～嗤う日本の「ナショナリズム」・その後～(筑摩選書 0161)

北田 暁大 著
筑摩書房

ネトウヨの世界観・政治が主流となった現代日本。「脱成長」「移民受け入れ否定」を説き、緊縮財政をよしとする左派知識人…。日本型ニューディールの立ち上げ、ソーシャル・リベラリズムの起動のための視角を提示する。

2018.6./ 334p
978-4-480-01669-0
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/09/02



奥のほそ道

リチャード・フラナガン、渡辺 佐智江 著
白水社

1943 年、<死の鉄路>建設で地獄のような日々を闘っていた、捕虜の軍医ドリゴ。そこへ一通の手紙が届き、すべてが変わってしまう…。第二次世界大戦中の父親の過酷な捕虜経験を題材に描いたリチャード・フラナガンの長篇。

2018.5./ 453p
978-4-560-09629-1
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2018/09/02



蔵を継ぐ～日本酒業界を牽引する5人の若き造り手たち～

山内 聖子 著
双葉社

親の代の「負の遺産」を抱え、なぜ彼らは家業を継いだのか。日本酒ブームを生み出した若き蔵元たちの熱き想いに、とことん一緒に酒を酌み交わした同世代のライターが迫る。オススメ酒販店リスト/飲食店リスト付き。

2015.11./ 207p
978-4-575-30959-1
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/09/02



民主主義にとって政党とは何か～対立軸なき時代を考える～(セミナー・知を究める 3)

待鳥 聡史 著
ミネルヴァ書房

政党不要論のなかで、政党は生き残れるか。利益配分政治が終焉を迎えた現在の日本に焦点を合わせ、歴史と理論の両面から、日本の政党政治の行方を問う。

2018.6./ 4p,233p,5p
978-4-623-08359-6
本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/09/02



真実について

ハリー・G.フランクファート、山形 浩生 著
亜紀書房

そもそも、なぜ「真実」は大切なのか？ 真実や事実が、明らかに軽視されつつある「ポスト真実」の時代に、真実の復権とその使いみちについて考える。「ウソコな議論」の続編。

2018.6./ 139p
978-4-7505-1551-9
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/09/02



知っておきたいこれからの情報・技術・金融～真剣に夢を持ち続けるために～

松田 純一 著
FISH RECORD

すぐそこに迫る AI、IoT 時代。知らないではすまされない新技術、新語をやさしく解説しながら、「何をすべきか、何をすべきではないのか」を提言する。気鋭の専門家へのインタビューも収録。

2018.9./ 223p
978-4-8021-3122-3
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/09/02

	義母と娘のブルース<上>(BUNKASHA COMICS) 桜沢鈴 著 ぶんか社 読売新聞 2018/09/02	2018.7./ 127p 978-4-8211-3643-8 本体 ¥648+税 
	義母と娘のブルース<下>(BUNKASHA COMICS) 桜沢鈴 著 ぶんか社 読売新聞 2018/09/02	2018.7./ 127p 978-4-8211-3644-5 本体 ¥648+税 
	なぜ倒産～23 社の破綻に学ぶ失敗の法則～ 帝国データバンク、東京商工リサーチ、日経トップリーダー 編 帝国データバンク、東京商工リサーチ 著 日経BP社 攻めの投資でつまづく、危機対応が後手に回る、売れてもキャッシュが残らない...。 中堅・中小企業 23 社の事例を取り上げ、破綻の理由をあらゆる角度から分析する。 『日経トップリーダー』連載を基に書籍化。	2018.7./ 287p 978-4-8222-9282-9 本体 ¥1,600+税 
読売新聞 2018/09/02		
	世界最高の日本酒～SAKE COMPETITION 2018～<2018-2019> SAKE COMPETITION 実行委員会 著 びあ 世界に向けて真においしい日本酒を伝えたい、との思いで 2012 年に誕生した “SAKE COMPETITION”。2018 年に受賞した日本酒 181 銘柄を、審査員のコメント 付きで紹介する。	2018.8./ 212p 978-4-8356-3874-4 本体 ¥2,100+税 
読売新聞 2018/09/02		
	椎の川(コールサック小説文庫) 大城 貞俊 著 コールサック社 昭和 17 年、沖縄本島北部の山村で、和やかに暮らしていた松堂家の人々。ところが、母親の静江がハンセン病を患った。村人がパニックに陥る中、夫の源太は沖縄戦へ召集される。残された子どもたちは、隔離された母を探す...	2018.8./ 245p 978-4-86435-353-3 本体 ¥900+税 
読売新聞 2018/09/02		
	フェデリコ・ガルシア・ロルカ子どもの心をもった詩人 イアン・ギブソン、ハビエル・サバラ、平井 うらら 著 影書房 小さな存在によりそい、多文化・多宗教のまち・故郷グラナダのことをうたいあげた、ス ペインを代表する詩人、フェデリコ・ガルシア・ロルカの生涯を紹介する。スペイン語 原文を併記し、ロルカミニ事典も収録。	2018.6./ 62p 978-4-87714-479-1 本体 ¥2,200+税 
読売新聞 2018/09/02		



何ものにも縛られないための政治学～権力の脱構成～

栗原 康 著
KADOKAWA

“自由で民主主義的な社会”であるはずなのに、なぜ私たちはまったく自由を感じられないのか？ アナキズム研究者が、「無強制」の政治学という視点から、過去の思想と実践を振り返りつつ、現代社会の支配のルールを破戒する。

2018:7./ 366p
978-4-04-106125-1
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/09/02、毎日新聞 2018/09/30



60歳から犬や猫と幸せにくらす本

犬と猫とシニアのくらしを考える会、ねこまき 著
KADOKAWA

犬やねこと一緒に年を取って、幸せな生活を送ることを応援するハンドブック。シニア、またはひとりぐらしの人がペットを飼う上で起きる問題について、解決につながるサービスや情報を紹介する。チェックリスト付き。

2018:6./ 127p
978-4-04-106244-9
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/09/09



保守と大東亜戦争(集英社新書 0941)

中島 岳志 著
集英社

大東亜戦争に極めて懐疑的な見方を示していた戦中派の保守論客たち。なぜ超国家主義に逆らったのか、そこにはどのような論理と意思があったのか。彼らが残した言葉に向き合い、現代において真に闘うべきものは何かを炙り出す。

2018:7./ 282p
978-4-08-721041-5
本体 ¥900+税



読売新聞 2018/09/09



いじめで死なせない～子どもの命を救う大人の気づきと言葉～

岸田 雪子 著
新潮社

学校で激化するいじめの中で、生と死を分けたものは何か？ 加害側少年の心理から、微弱な SOS に大人が気づくための 11 のきっかけまで、記者・キャスターとして教育問題取材してきた著者が、親にできることを探る。

2018:6./ 223p
978-4-10-352011-5
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/09/09



世界終末戦争

マリオ・バルガス=リョサ 著
新潮社

19 世紀末、ブラジルの辺境を遍歴する説教者と彼を聖者と仰ぐ者たちは、やがて安住の楽園を築く。そんな彼らに叛逆者の烙印を押し、軍隊を送り込む中央政府。過酷で不寛容な死闘の果てに、人々が見たものは…。

2010:12./ 712p
978-4-10-514507-1
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2018/09/09



神秘大通り<上>

ジョン・アーヴィング、小竹 由美子 著
新潮社

娼婦で掃除婦の母は育児放棄同然、少年はゴミ捨て場で拾った焼け焦げた本で独学で学ぶ。40 年後、作家となった彼は、怪しく美しい謎の美人母娘を道連れに、古い約束を果たす旅に出る…。二重構造で展開する作家の一生の物語。

2017:7./ 406p
978-4-10-519117-7
本体 ¥2,300+税



読売新聞 2018/09/09



神秘大通り<下>

ジョン・アーヴィング、小竹 由美子 著

新潮社

雪のニューヨークからフィリピンへ。作家に寄り添う謎の母娘。一方 40 年前、ゴミ捨て場の兄妹は運命のサーカス団に…。過去と現在が合流する、感傷旅行の行き着く先は？ 二重構造で展開する作家の一生の物語。

読売新聞 2018/09/09

2017:7./ 399p

978-4-10-519118-4

本体 ¥2,300+税



ガルヴェイアスの犬(CREST BOOKS)

ジョゼ・ルイス・ペイショット 著

新潮社

村の匂いが変わったことを、犬たちだけは覚えていた。巨大な物体が落ちてきて騒然とする村と、そこに暮らす人々の色とりどりの悲喜劇を描いた、現代ポルトガル文学を牽引する作家の長篇小説。

読売新聞 2018/09/09

2018:7./ 286p

978-4-10-590149-3

本体 ¥1,900+税



大英帝国の歴史<上> 膨張への軌跡

ニール・ファーガソン、山本 文史 著

中央公論新社

およそ 400 年におよぶ「最初のグローバル帝国」イギリス帝国の歴史を肯定的に捉え、一次史料を基に多角的観点から分析。上は、通商・略奪・入植・布教により世界帝国へと変貌するまでを描く。

読売新聞 2018/09/09

2018:6./ 357p

978-4-12-005087-9

本体 ¥2,900+税



大英帝国の歴史<下> 絶頂から凋落へ

ニール・ファーガソン、山本 文史 著

中央公論新社

およそ 400 年におよぶ「最初のグローバル帝国」イギリス帝国の歴史を肯定的に捉え、一次史料を基に多角的観点から分析。下は、植民地統治の破綻、自由主義の高揚、2 度の世界大戦を経て帝国が終焉を迎えるまでを描く。

読売新聞 2018/09/09

2018:6./ 285p 図版

16p

978-4-12-005088-6

本体 ¥2,900+税



怒りの葡萄<上> 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 80)

ジョン・スタインベック、黒原 敏行 著

早川書房

1930 年代、アメリカ中西部の広大な農地は厳しい日照りと砂嵐に見舞われ、多くの農民たちが貧しい流浪の民となる。オクラホマの小作農ジョード一家も、新天地カリフォルニアをめざす。ノーベル賞作家の代表作の完全新訳。

読売新聞 2018/09/09

2014:12./ 447p

978-4-15-120080-9

本体 ¥840+税



怒りの葡萄<下> 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 81)

ジョン・スタインベック、黒原 敏行 著

早川書房

苦難と困窮の旅のすえ、カリフォルニアにたどり着いたジョード一家。そこで迎えたのは、美しく豊かな果樹園や綿畑と、敵意にさらされながら低賃金のわずかな仕事を奪い合う過酷な日々だった。資本主義の矛盾を描く不朽の名作。

読売新聞 2018/09/09

2014:12./ 431p

978-4-15-120081-6

本体 ¥840+税





カトク～過重労働撲滅特別対策班～(文春文庫 し 65-1)

新庄 耕 著

文藝春秋

大企業の過重労働を特別捜査する東京労働局「カトク」班の城木忠司。ブラック住宅メーカー、巨大広告代理店、IT 系企業に蔓延する長時間労働やパワハラ体質。働く人々の苛酷な現実を前に、城木に出来ることは？

2018:7./ 329p

978-4-16-791104-1

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/09/09



名画の謎<対決篇>(文春文庫 な 58-7)

中野 京子 著

文藝春秋

横たわる美女、片や絶讃、片やスキャンダル!? 同様の題材や図柄なのに、その意味や世の評価は時に正反対。さまざまな観点から2点の絵を対決、真相を紐解く。

2018:8./ 255p

978-4-16-791128-7

本体 ¥860+税



読売新聞 2018/09/09



神様の住所

九螺 ささら 著

朝日出版社

さびしくて一個は二個になりましたそして細胞は孤独を失う テーマに応じた短歌を冒頭にして、その短歌についての解説とも読めるような散文、そして最後にまた短歌、という構成で84項目収録した革新短歌集。

2018:6./ 271p

978-4-255-01051-9

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/09/09



信長はなぜ葬られたのか～世界史の中の本能寺の変～(幻冬舎新書 あ-16-1)

安部 龍太郎 著

幻冬舎

安土城跡の「清涼殿」の意味、イエズス会のヴァリニャーノとの熾烈な交渉、そして決裂。その直後に起きた本能寺の変…。江戸の鎖国史観から見ていてはわからない、世界史における本能寺の変の真実に直木賞作家が迫る。

2018:7./ 237p

978-4-344-98505-6

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/09/09



狂い咲け、フリーダム～アナキズム・アンソロジー～(ちくま文庫 く 30-1)

栗原 康 編

筑摩書房

あばれる。生の躍動感をとりもどせ! 大杉栄、伊藤野枝、辻潤、中浜哲、朴烈、金子文子から現代の田中美津、だめ連以降まで、国にも何ものにも縛られない人々の文章と生き方を、気鋭の研究者が個性溢れる文で紹介。

2018:8./ 381p

978-4-480-43535-4

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/09/09



フラット化する世界～経済の大転換と人間の未来～<上> 普及版

トーマス・フリードマン 著

日本経済新聞出版社

ベルリンの壁の崩壊、インターネットの普及、新しいソフトウェア、アップローディング、アウトソーシング、オフショアリング…。世界をフラット化した10の要因を提示し、全世界で起きている巨大な変化を鮮やかに活写する。

2010:7./ 316p

978-4-532-31633-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/09/09



フラット化する世界～経済の大転換と人間の未来～<中> 普及版

トーマス・フリードマン 著

日本経済新聞出版社

個人の働き方、企業のビジネスモデル、国家のシステムを劇的に変化させた「世界のフラット化」という激流のなかで、先進国と新興国の個人はどう生き残っていけばいいのか。国家・企業・社会のこれからの姿を探る。

2010.7./ 272p

978-4-532-31634-1

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/09/09



フラット化する世界～経済の大転換と人間の未来～<下> 普及版

トーマス・フリードマン 著

日本経済新聞出版社

「世界のフラット化」で仕事を奪われないために、先進国がすべきことは? SNS やブログで瞬時に有名人になる世の中で、どう生きていけばいいのか。フラット化という重大な試練を乗り越える方法を論じる。

2010.7./ 280p

978-4-532-31635-8

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/09/09



パウル・ツェラン詩文集

パウル・ツェラン、飯吉 光夫 編

パウル・ツェラン 著

白水社

未曾有の破壊と喪失の時代を生き抜き、言葉だけを信じ続けた 20 世紀ドイツ最高の詩人、パウル・ツェラン。「死のフーガ」をはじめ、彼の代表詩篇と全詩論を収録。

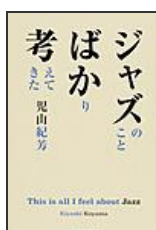
2012.2./ 200p

978-4-560-08195-2

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2018/09/09



ジャズのことばかり考えてきた

児山 紀芳 著

白水社

ジャズミュージシャンとファンの架け橋になってきた、ジャズ・ジャーナリスト界の第一人者が、ジャズシーンの興隆、名演誕生にまつわるエピソードを多数紹介する。

2018.7./ 271p

978-4-560-09643-7

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/09/09



世界史を大きく動かした植物

稲垣 栄洋 著

PHP研究所

人類の影には、常に植物の姿があった。ヨーロッパが羨望した黒い黄金「コショウ」、人類を惑わした甘美なる味「サトウキビ」、世界を席卷する驚異の農作物「トウモロコシ」…。植物から見た世界の歴史をのぞき見る。

2018.6./ 217p

978-4-569-84085-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/09/09



日航機 123 便墜落最後の証言(平凡社新書 885)

堀越 豊裕 著

平凡社

30 年以上を経た今も、その原因をめぐって議論が続く日航機 123 便墜落事故。調査にあたった米運輸安全委員会、ボーイング社をはじめ、日米双方を徹底取材。多くの証言、秘話を軸に事故の全体像を描く。

2018.7./ 326p

978-4-582-85885-3

本体 ¥900+税



読売新聞 2018/09/09



正訳紫式部日記～本文対照～

紫式部、中野 幸一 著

勉誠出版

親王誕生を中心とする宮廷行事、自己の反省や告白をもつづる深い人間性などが記された、紫式部唯一の生活記録の現代語訳を収録。原文を忠実に訳し、原文と訳文を対照して読める。紫式部と紫式部日記を理解するための附録つき。

2018:7./ 8p,228p
978-4-585-29167-1
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/09/09



夏空白花

須賀 しのぶ 著

ポプラ社

ボールもない、球場もない。それでも、もう一度甲子園で野球がしたい。敗戦で全てを失った日本人が、GHQ に挑んだもう一つの“戦争”、「高校野球の再建」を賭けた戦いを描く。『asta*』連載を大幅改稿して単行本化。

2018:7./ 405p
978-4-591-15952-1
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/09/09



本と暮らせば(草思社文庫 で1-2)

出久根 達郎 著

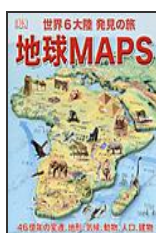
草思社

本と暮らして 70 年、古書店主にして直木賞作家の著者が綴る、本と作家にまつわる芳醇エッセイ。「洋書と電子書籍」「読書人龍馬」「露伴の口吻」「書名の勝利」「伝記の虚実」など、全 75 篇を収録。

2018:8./ 338p
978-4-7942-2347-0
本体 ¥820+税



読売新聞 2018/09/09



地球 MAPS～世界 6 大陸発見の旅～

竹花 秀春 著

日経ナショナルジオグラフィック社

ヒマラヤ山脈の山頂からアフリカの熱帯雨林、ヨーロッパの古代建築、アジアの巨大都市まで。地球 46 億年の変遷、地形、気候、動物、人口、建物を、立体感あふれる 3D マップで紹介。美しい特製地図 60 点以上を収録。

2018:6./ 160p
978-4-86313-411-9
本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/09/09



戦時の音楽(CREST BOOKS)

レベッカ・マカーイ 著

新潮社

戦いのさなかにも、いつも音楽があった。薬指を失った名ヴァイオリニスト、大学教授になりすますシェフ、失意の象使い…。戦争と音楽をめぐる、驚異と慈愛に満ちた短篇集。全 17 篇を収録。

2018:6./ 318p
978-4-10-590148-6
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/09/09、東京・中日新聞 2018/09/16



全産業「デジタル化」時代の日本創生戦略

藤原 洋 著

PHP研究所

AI や IoT などのテクノロジーは、私たちの生活にどういったインパクトを与えるのか、各産業はそれにどう関わっていくべきか。テクノロジーが産業や企業にもたらす具体的な恩恵を、実例を交えながら解説する。

2018:8./ 254p
978-4-569-84120-5
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/09/09、日本経済新聞 2018/09/29



信長の原理

垣根 涼介 著

KADOKAWA

蟻を用いた試みにより、信長は「ある原理」を確信し、秘かに危惧する。やがて案の定、織田家を裏切る者が続出し始め…。信長の内面と「本能寺の変」の真実を抉り出す。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

2018.8./ 588p

978-4-04-102838-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/09/16



今夜はひとりぼっちかい? ~日本文学盛衰史 戦後文学篇~

高橋 源一郎 著

講談社

「戦後文学」をテーマに、誰にも読まれなくなった難物を、ロックやパンク、ラップにのせ、ブログや twitter まで使って揉みほぐす。そんなある日、タカハシさんは「戦災」に遭い…。『群像』掲載をもとに単行本化。

2018.8./ 365p

978-4-06-218011-5

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/09/16



真説・長州力 ~1951-2018~ (集英社文庫 た 89-1)

田崎 健太 著

集英社

プロレスが最も華やかな時代の「ど真ん中」を駆け抜けた長州力。在日朝鮮人二世として生まれた幼少期から、?ませ犬事件、WJ プロレス崩壊まで、長州力本人、関係者への取材を通して「革命戦士」の真実と全歴史を明かす。

2018.7./ 547p

978-4-08-745770-4

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/09/16



骨を吊る

宇佐美 まこと 著

小学館

骨格標本が発掘された、という新聞記事を見つけた豊は、小学生時代、仲間と山中に骨格標本を埋めたことを思い出す。ある確かな手触りから「あれは本当に標本だったのか」との思いを抱き、かつての仲間と会いに行くが…。

2018.6./ 318p

978-4-09-386498-5

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/09/16



あおい (小学館文庫)

西 加奈子 著

小学館

27 オスナック勤務の「あたし」と、おなかにへたくそな地図を彫っている 3 才年下のダメ学生・カザマくんは同棲して 4 か月。ゆったりとしたリズムにどっぷりと浸かった生活をしていた「あたし」は、ある日、妊娠していることに気づく。

2007.6./ 206p

978-4-09-408173-2

本体 ¥457+税



読売新聞 2018/09/16



天皇陛下の私生活 ~1945年の昭和天皇~ (新潮文庫 よ-41-1)

米窪 明美 著

新潮社

密やかな祭祀、軍部より質素な日々の食卓、身支度、お風呂、トイレの決まりごと…。昭和 20(1945)年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの皇居を舞台に、昭和天皇の日常生活に焦点をあわせたノンフィクション。

2018.7./ 287p

978-4-10-121496-2

本体 ¥520+税



読売新聞 2018/09/16



温泉の日本史～記紀の古湯、武将の隠し湯、温泉番付～(中公新書 2494)

石川 理夫 著
中央公論新社

日本人と温泉の関わりは古い。日本書紀に出てくる温泉、歴史の表舞台に現れた温泉、「隠し湯」として知られる戦国大名の領国内の温泉地、江戸時代に盛んになった湯治旅…。多彩なエピソードで、日本の温泉の歴史をつづる。

2018:6./ 6p,248p
978-4-12-102494-7
本体 ¥880+税



読売新聞 2018/09/16



八日目の蟬(中公文庫 か 61-3)

角田 光代 著
中央公論新社

読売新聞 2018/09/16

2011:1./ 376p
978-4-12-205425-7
本体 ¥590+税



俳句の五十年(中公文庫 た 91-1)

高浜 虚子 著
中央公論新社

子規との出会い、漱石との思い出、畏友碧梧桐への敬愛、「ホトギス」の経営苦難…。迷走と模索を続けた日々と、森?外、幸田露伴、柳田國男らとの交遊を振り返る。1942 年刊行の自伝を文庫化。

2018:8./ 269p
978-4-12-206626-7
本体 ¥860+税



読売新聞 2018/09/16



誰のために法は生まれた

木庭 顕 著
朝日出版社

替えのきく人間なんて 1 人もいない。問題を鋭く見つけ、格闘した紀元前ギリシャ・ローマ人の古典作品などを読解し、全てを貫く原理を取り出し、法について考える。2017 年に桐蔭学園で中高生のために行われた授業の記録。

2018:7./ 397p
978-4-255-01077-9
本体 ¥1,850+税



読売新聞 2018/09/16



ベートーヴェン像再構築

大崎 滋生 著
春秋社

作曲家の創造と社会。21 世紀にベートーヴェンはどう読み解かれるべきか。最新の基礎研究―書簡交換全集・会話帖全集・楽譜新全集校訂報告の全的把握と新作品目録によって可能となった全く新しいベートーヴェン像の地平。

2018:7./ 1,360p
978-4-393-93211-7
本体 ¥18,000+税



読売新聞 2018/09/16



チェンジ!(ハルキ文庫 し 4-2)

柴田 よしき 著
角川春樹事務所

プロ入りして 8 年目の御坂は、二軍落ちを言い渡され…。コンバート、怪我、フォームの改造、引退勧告。選手が直面する苦悩、決断、友情などが胸に響く、ヒューマン野球短編集。月刊『ランティエ』掲載を加筆・修正のうえ改題。

2018:7./ 274p
978-4-7584-4184-1
本体 ¥660+税



読売新聞 2018/09/16



築地-鮭屋の小僧が見たこと聞いたこと～しゃけこさんの市場日記～

佐藤 友美子 著

いそっぷ社

師走の築地見物からなんの因果か、築地の鮭屋で働くことに! 2013 年には前の店主から鮭屋を引き継ぎ、経営者として悪戦苦闘の毎日を送る著者が、河岸の作法、市場の成り立ちを痛快なやりとりを交えて教えます。

読売新聞 2018/09/16

2018:9./ 245p

978-4-900963-79-5

本体 ¥1,600+税



フランス人の第一次世界大戦～戦時下の手紙は語る～

大橋 尚泰 著

えにし書房

第一次大戦に従軍したフランス人兵士たちやその家族などによる、大戦中の葉書・手紙約 200 点の画像を収録。全訳と詳細な注、解説、地図等を付す。フランス人にとっての第一次世界大戦の全体像を浮かび上がらせる一冊。

読売新聞 2018/09/16

2018:6./ 462p

978-4-908073-55-7

本体 ¥4,000+税



竹下しづの女～理性と母性の俳人 1887-1951～

坂本 宮尾 著

藤原書店

封建的な家父長制から、個を主張する民主主義へと移る「過渡期」を懸命に生きる女性の内面を俳句で表現した竹下しづの女。全力で生き抜いた波乱の生涯をたどり、作句の時代背景を明らかにしながらその秀句を紹介する。

読売新聞 2018/09/16、日本経済新聞 2018/09/22

2018:6./ 392p

978-4-86578-173-1

本体 ¥3,600+税



異端の時代～正統のかたちを求めて～(岩波新書 新赤版 1732)

森本 あんり 著

岩波書店

世界に蔓延するポピュリズムは民主主義の異端なのか。古代中世の神学史、丸山眞男らの議論を手がかりに、宗教・政治・文化に通底する「異端発生メカニズム」を解明し混迷する時代の深層に迫る。正統と異端の通念を覆す洞察。

読売新聞 2018/09/23

2018:8./ 5p,254p

978-4-00-431732-6

本体 ¥860+税



院内カフェ(朝日文庫 な 51-1)

中島 たい子 著

朝日新聞出版

どこか不安な私たちは、あのカフェで、病院の傍らにいて、癒されている。総合病院のカフェを舞台に、ふた組の中年夫婦の心と身体と病を描いた長編小説。

読売新聞 2018/09/23

2018:9./ 232p

978-4-02-264897-6

本体 ¥620+税



ヴァイオリニスト今日も走る!

大谷 康子 著

KADOKAWA

ソリスト、音大教授、文化大使、テレビ番組の司会…。マルチなヴァイオリニストが、ヴァイオリニストへの歩み、宝物となった数々の出会い、自分の夢について語る。愛器グアルネリで奏でる 6 曲を収録した CD 付き。

読売新聞 2018/09/23

2018:7./ 159p

978-4-04-069802-1

本体 ¥1,900+税





鬼と日本人(角川ソフィア文庫 J101-5)

小松 和彦 著

KADOKAWA

雷神、酒吞童子、茨木童子、節分の鬼、ナマハゲ…。いかにして鬼は私たちの精神世界に住み続けてきたのか。鬼とはいったい何者なのか。日本の「闇」の歴史の主人公の正体に迫る。

2018.7./ 269p

978-4-04-400402-6

本体 ¥880+税



読売新聞 2018/09/23



マルクス資本論～シリーズ 世界の思想～(角川選書 1001)

佐々木 隆治 著

KADOKAWA

新しい社会を生み出すための「最強の理論的武器」となりうる、マルクスの「資本論」。長大な原文のキモとなる箇所を抜粋、難解な部分は徹底的に?み砕いて解説し、随所に読解の勘所を指し示した入門書。

2018.7./ 565p

978-4-04-703628-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/09/23



名古屋円頓寺商店街の奇跡(講談社+α 新書 790-1C)

山口 あゆみ 著

講談社

人々の消費スタイルの変化と後継者不足から、「緩慢な死」へと向かいつつあった商店街は、ひとりの建築家が縁を持ったことから、活気に満ちた商店街へと生まれ変わり…。人間味に溢れた地道な街づくり、人づくりの物語。

2018.8./ 168p

978-4-06-291522-9

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/09/23



博士の愛した数式(新潮文庫)

小川 洋子 著

新潮社

数字が博士の言葉だった。やがて私の 10 歳の息子が加わり、ぎこちない日々は驚きと歓びに満ちたものになった。あまりに悲しく暖かい、奇跡の愛の物語。

2005.11./ 291p

978-4-10-121523-5

本体 ¥520+税



読売新聞 2018/09/23



イタリアの小さな村へ～アルベルゴ・ディフーゾのおもてなし～(とんぼの本)

中橋 恵、森 まゆみ 著

新潮社

個性豊かな美しい村で、暮らすように滞在する。イタリアで誕生した新しい旅のスタイルを提案するガイド。光あふれる南イタリアの港町から、北部の限界集落まで、20 の村を案内します。データ:2018 年 4 月現在。

2018.5./ 125p

978-4-10-602283-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/09/23



オランウータン～森の哲人は子育ての達人～

久世 濃子 著

東京大学出版会

人間とは真逆な社会の特徴や理解困難な行動。困難なフィールド調査に挑んだ著者が、自身の研究成果だけでなく、各国の研究者による研究成果を紹介し、オランウータンの行動、生態、能力に関する最新の知見を伝える。

2018.7./

18p,177p,17p

978-4-13-063349-9

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/09/23



エドガルド・モルターラ誘拐事件～少年の数奇な運命とイタリア統一～

デヴィッド・I.カーツァー、漆原 敦子 著

早川書房

1858 年、ボローニャ。時の教皇ピウス 9 世は、なぜユダヤ人商人の 6 歳の息子エドガルド・モルターラを連れ去ったのか？ イタリア統一の過程における重要なエピソード「モルターラ事件」の知られざるドラマを描く。

2018.8./ 568p

978-4-15-209790-3

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/09/23



日本のワインで奇跡を起こす～山梨のブドウ「甲州」が世界の頂点をつかむまで～

三澤 茂計、三澤 彩奈 著

ダイヤモンド社

日本産ワインの悪評をくつがえし、世界屈指のコンクールで最高賞を連続受賞！ 山梨のブドウ「甲州」のポテンシャルを信じ、ブドウ栽培、ワイン造りに試行錯誤してきた父娘が、これまでの軌跡とそのときどきの思いを伝える。

2018.7./ 11p,256p

978-4-478-10083-7

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/09/23



岩倉具視～幕末維新期の調停者～(日本史リブレット人 074)

坂本 一登 著

山川出版社

明治維新の重要人物として名高い岩倉具視。彼に対する様々な評価を再検討しながら、幕末維新期の急激な変化に翻弄されつつ、なお必死に新しい日本の形を模索した政治家岩倉の等身大の姿を描く。

2018.7./ 102p

978-4-634-54874-9

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/09/23



くらし屋稼業(ハルキ文庫 い 24-1)

今村 翔吾 著

角川春樹事務所

香具師の子分、万次と喜八は、足抜けをすべく、集金した銭をもって江戸から逃げることに。だが、刺客たちに追い詰められ、大親分・禄兵衛の元に逃げ込んだ。禄兵衛は、銭さえ払えば必ず逃がしてくれる男を紹介すると言うが...

2018.7./ 285p

978-4-7584-4180-3

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/09/23



地図で楽しむ日本の鉄道

今尾 恵介 著

洋泉社

ウソだらけの鉄道路線図、軍事機密のために地図から消えた鉄道、火山ができて移動を迫られた鉄道…。謎とドラマに満ちた鉄道の世界とその歴史を、地図で読み解く。

2018.8./ 175p

978-4-8003-1531-1

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/09/23



評伝田中一村

大矢 鞆音 著

生活の友社

誰も知らなかった日本画家・田中一村の真実とは。一村研究の第一人者・大矢鞆音が、同時代に生きた父・大矢黄鶴の姿を重ね、独自の取材で追い続けた渾身の研究書。図版も多数収載する。『南海日日新聞』連載記事を基に書籍化。

2018.7./ 708p

978-4-908429-19-4

本体 ¥4,500+税



読売新聞 2018/09/23



フィンランドの幸せメソッド SISU
カトヤ・パンツァル、柳澤 はるか 著
方丈社

フィンランドが世界一幸せな国である秘訣は「SISU(シス)」にある。厳しい環境の中でも勇気・忍耐・自然体を忘れない、いわばフィンランド魂。サウナ、森林浴、食事法、暮らし方などを通じて「シス」を育む方法を紹介。

2018.9./ 301p
978-4-908925-35-1
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/09/23



死に山～世界一不気味な遭難事故《ディアトロフ峠事件》の真相～

ドニー・アイカー、安原 和見 著
河出書房新社

学生登山家 9 名が凄惨な死に様で発見された、旧ソ連・ウラル山脈で起きた遭難事件「ディアトロフ峠事件」。原因は雪崩か吹雪か、あるいは衝撃波か？ アメリカ人ドキュメンタリー映画作家が、未解決事件の全貌と真相に迫る。

2018.8./ 351p
978-4-309-20744-5
本体 ¥2,350+税



読売新聞 2018/09/23、日本経済新聞 2018/09/29



世界一のクマのお話～クマのプー～(角川文庫 ミ 3-3)

A.A.ミルン、森 絵都、ポール・ブライト、ブライアン・シブリー、ジーン・ウィリス、ケイト・ソーンダズ、E.H.シェパード、マーク・バージェス 著

KADOKAWA

プーの 90 周年を祝って、4 人の児童文学作家が 1 編ずつ著した、冒険とハチミツにみちた春夏秋冬の物語。原作を踏襲したカラーイラストが全編を彩る、「クマのプー」公式続編。

2018.7./ 200p
978-4-04-105373-7
本体 ¥760+税



読売新聞 2018/09/30



近江商人の哲学～「たねや」に学ぶ商いの基本～(講談社現代新書 2489)

山本 昌仁 著
講談社

和菓子業界が縮小するなか、急成長を続けている「たねや」。現代の近江商人と評される「たねや」が、急成長した理由や、社会から求められる会社であるために何をしているのかなどを紹介する。

2018.8./ 253p
978-4-06-512903-6
本体 ¥860+税



読売新聞 2018/09/30



いつも私で生きていく(小学館文庫 く 15-1)

草笛 光子 著
小学館

80 歳を過ぎてなお、輝きを増し続けている女優の草笛光子。毎日の生活から、健康や美容で気をつけていること、美しい銀髪の誕生秘話、女優としての波乱の人生、「老い」との付き合い方までを余すところなく明かす。

2018.8./ 215p
978-4-09-406534-3
本体 ¥570+税



読売新聞 2018/09/30



論文捏造(中公新書ラクレ)

村松 秀 著
中央公論新社

名門・ベル研究所を舞台に起きた科学論文捏造事件。不正を犯したのはノーベル賞の有力候補であるスター学者だった。事件の真相やそこに潜む問題性を深く考察していく。NHK特集番組「史上空前の論文捏造」を書籍化。

2006.9./ 333p
978-4-12-150226-1
本体 ¥860+税



読売新聞 2018/09/30



上皇の日本史(中公新書ラクレ 630)

本郷 和人 著
中央公論新社

「上皇」とはどのような存在だったのか? 200 年ぶりの天皇譲位を前に、知っておきたい上皇の歴史をわかりやすく解説。現代における天皇・皇室、そして日本と日本人を考えるための視座を提示する。

読売新聞 2018/09/30

2018.8./ 301p
978-4-12-150630-6
本体 ¥880+税



グッバイ・クリストファー・ロビン～『クマのプーさん』の知られざる真実～

アン・スウェイト、山内 玲子、田中 美保子 著
国書刊行会

アン・スウェイトによる A・A・ミルンの伝記から、「クマのプーさん」など 4 冊の子どもの本が書かれた背景と、その成功がミルンと息子のクリストファーとに与えた影響に関する部分を抜粋。人間の幸福の真実を映し出す。

読売新聞 2018/09/30

2018.8./ 331p
978-4-336-06260-4
本体 ¥2,700+税



つながっているのに孤独～人生を豊かにするはずのインターネットの正体～

シェリー・タークル、渡会 圭子 著
ダイヤモンド社

スマートフォン、ソーシャルメディア、ロボット…。人々の心を満たすテクノロジーこそが、人々から「人間らしさ」を奪っていく。テクノロジーが人間関係に及ぼす「今そこにある危機」を、マサチューセッツ工科大学教授が語る。

読売新聞 2018/09/30

2018.9./ 566p
978-4-478-02610-6
本体 ¥2,800+税



室町将軍の御台所～日野康子・重子・富子～(歴史文化ライブラリー 474)

田端 泰子 著
吉川弘文館

室町将軍歴代の妻となった公家の日野家出身の女性たちは、飢饉や土一揆の頻発した時代をどのように生きたのか。足利義満・義教・義政の妻を取り上げ、その政治的な役割と人生を、時代情勢の推移とともに描き出す。

読売新聞 2018/09/30

2018.9./ 6p,222p
978-4-642-05874-2
本体 ¥1,700+税



ゴッホはなぜ星月夜のうねる糸杉をえがいたのか

マイケル・バード、ケイト・エヴァンズ、岡本 由香子 著
エクスナレッジ

原始の洞窟画から現代アートまで、4 万年にわたるアートの歴史をショートストーリーで読み解く美術入門書。臨場感あふれる語り口によって、生き生きと作品をつくる様子が想像できる。

読売新聞 2018/09/30

2018.6./ 336p
978-4-7678-2448-2
本体 ¥3,200+税



ハムレットと海賊～海洋国家イギリスのシェイクスピア～

小野 俊太郎 著
松柏社

17 世紀の幕開けに書かれたイギリス文学を代表するシェイクスピア作品「ハムレット」。ハムレットが海賊に救われたエピソードを出発点に、海洋国家となっていく時代のイギリスをシェイクスピアがどう描いたのかを論じる。

読売新聞 2018/09/30

2018.6./ 301p
978-4-7754-0252-8
本体 ¥2,200+税





新時代からの挑戦状～未知の少親多死社会をどう生きるか～

金子 隆一、村木 厚子、宮本 太郎、厚生労働統計協会 編

金子 隆一、村木 厚子、宮本 太郎 著

厚生労働統計協会

「人口減少社会」とはどのような社会なのか。人口問題研究の第一人者がその実相を解き明かす。また、社会保障・労働政策の専門家とともに、平成の 30 年間を振り返り、新しい時代の生き方を探る座談会も収録。

2018.7./ 190p

978-4-87511-773-5

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/09/30



ハードワーク～勝つためのマインド・セッティング～(講談社+a 文庫 G307-1)

エディー・ジョーンズ 著

講談社

ラグビー元日本代表ヘッドコーチ、エディー・ジョーンズが、日本代表チームを鍛えながら、彼らに伝えたことをすべて語る。ビジネスで即使える「成功するための心構え」が身につく一冊。

2018.2./ 203p

978-4-06-281741-7

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2018/09/01



サーラレオ

新庄 耕 著

講談社

ひょんなことから手に入れた大量の大麻の種子。落ちぶれた男にとって、それはギフトかトラップか。最低最悪の主人公を描く、ピカレスク・ロマン。『群像』掲載を大幅に改稿し単行本化。

2018.8./ 157p

978-4-06-512457-4

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/09/01



鳥類学者無謀にも恐竜を語る(新潮文庫 か-84-1)

川上 和人 著

新潮社

恐竜は鳥も同然である。鳥類学者が、鳥類と恐竜の緊密な類縁関係を拠り所とし、鳥類の進化を再解釈し、恐竜の生態を復元する。鳥類学者の目から見た恐竜の姿とは?

2018.7./ 427p

978-4-10-121511-2

本体 ¥670+税



日本経済新聞 2018/09/01



公家たちの幕末維新～ペリー来航から華族誕生へ～(中公新書 2497)

刑部 芳則 著

中央公論新社

幕末維新の頃、公家たちは何をしていたのか。ペリー来航?王政復古の十数年を、公家たちを中心に描いた書。天皇復権のため志士たちを煽り、諸藩を相手に権謀術数を重ね、激動の時代に裏から大政を操った彼らの姿を伝える。

2018.7./ 3p,306p

978-4-12-102497-8

本体 ¥900+税



日本経済新聞 2018/09/01



映画がつなぐ中国と日本～日中映画人インタビュー～

劉 文兵 著

東方書店

100 年にのぼる日中映画交流の歴史をチェン・カイコーら数世代にわたる中国の映画人や日本の関係者へのインタビューを通じて明らかにする。また日中合作映画製作の最前線に注目して、新たな日中文化交流の可能性を探る。

2018.7./ 371p

978-4-497-21815-5

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/09/01



ニュルンベルク合流～「ジェノサイド」と「人道に対する罪」の起源～

フィリップ・サンズ、園部 哲 著

白水社

2 人のユダヤ系法学者とナチスの法律家ハンス・フランク。それぞれの人生と運命が交錯し、戦後のニュルンベルク裁判へ。ホロコーストの新たな稜線を描く、英国の勅撰弁護士・国際法学者によるノンフィクション。

2018:4./ 563p,57p

978-4-560-09625-3

本体 ¥5,200+税



日本経済新聞 2018/09/01



いじめを生む教室～子どもを守るために知っておきたいデータと知識～(PHP 新書 1150)

荻上 チキ 著

PHP研究所

「いじめ問題」を解決するために必要な知識とは何か。データや社会理論を用いて、いじめの現状とその構造を分析し、どういう教室づくりが重要なのか、具体的なノウハウを示す。

2018:7./ 258p

978-4-569-84077-2

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2018/09/01



名もなき王国

倉敷 茂 著

ポプラ社

売れない小説家が出会った聡明な青年・澤田瞬。彼の伯母が、敬愛する幻想小説家・沢渡晶だと知った私は、古い屋敷を巡る不可思議な物語に魅了されていく…。『SF Prologue Wave』掲載等に応答し書き下ろしを追加。

2018:8./ 477p

978-4-591-15930-9

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/09/01



書物と権力～中世文化の政治学～(歴史文化ライブラリー 473)

前田 雅之 著

吉川弘文館

印刷技術が未発達な中世において、人は書物をどう入手していたのか。連歌師の流通への関与、伏見宮家から足利将軍への「風雅集」贈与など、書物の伝播・普及と権力との結びつきを解明し、古典的書物を持つことの意味に迫る。

2018:9./ 6p,215p

978-4-642-05873-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/09/01



生命の再設計は可能か～ゲノム編集が世界を激変させる～

John Parrington、野島 博 著

化学同人

人工臓器、人工生命の誕生、不老不死、がんの撲滅、マンモスの復活…。ゲノム編集が導くのは天国か、地獄か？ バイオサイエンスの動向と未来を、技術的・歴史的視点からとらえ、倫理的な問題も含めて解説する。

2018:7./ 6p,476p

978-4-7598-1965-6

本体 ¥3,600+税



日本経済新聞 2018/09/01



英単語の語源図鑑～見るだけで語彙が増える～

清水 建二、すずき ひろし、本間 昭文 著

かんき出版

100 の語源で 10000 語が身につく！ 語源を手がかりに単語を関連づけて覚えらる英単語集。1 単語ごとに、語源が持つ意味の直感的な理解を促すイラストを付し、関連語句や例文を掲載する。

2018:5./ 287p

978-4-7612-7345-3

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/09/01



心の進化を解明する～バクテリアからバツハへ～

ダニエル・C.デネット、木島 泰三 著

青土社

原始的生物バクテリアは、いかにしてバツハの創造性を手に入れるに至ったか。哲学者デネットが、自然選択説を唱えたダーウィンと現代のコンピューターの基本的着想を提起したチューリングを柱に、「心の進化」を解明する。

2018:6./ 712p,34p

978-4-7917-7075-5

本体 ¥4,200+税



日本経済新聞 2018/09/01



AI 後進国～ニッポンが危ない!～

多田 和市 著

日経BP社

AI に関する日本や日本企業の現状を考察。AI 後進国から脱出するための方策や、変革を急ぐ企業の戦略、ディープラーニング・ビジネスの可能性、第 3 次 AI ブームの本質等を探る。世界に挑む日本の AI チャレンジャーも紹介。

2018:6./ 214p

978-4-8222-5603-6

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/09/01



どこにでも神様～知られざる出雲世界をあるく～

野村 進 著

新潮社

庭に神様、巨木に神様、膝小僧にも神様がいる…。出雲、石見、境港を旅して出会った、神々と人が織りなす「驚きの暮らし」を紹介する。『波』連載に加筆し単行本化。

2018:8./ 315p

978-4-10-444502-8

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2018/09/01、産経新聞 2018/09/30



坐の文明論～人はどのようにすわってきたか～

矢田部 英正 著

晶文社

坐の形態の世界分布、床坐民族と椅子座民族の身体感覚の違い、座具が形づくった各国の空間様式、具体的な椅子の製作の裏側にある坐理論のバリエーション…。「坐」の身体技法を、世界的・歴史的な視座から再構築する。

2018:6./ 359p,9p

978-4-7949-7027-5

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/09/01、朝日新聞 2018/09/08



うつ病九段～プロ棋士が将棋を失くした一年間～

先崎 学 著

文藝春秋

棋士生活 30 年、ある日突然襲ってきた病魔は、うつ病だった。うつ病で入院し、休場を余儀なくされた羽生世代の棋士・先崎学が、発症から回復までの日々を大胆に綴る。

2018:7./ 190p

978-4-16-390893-9

本体 ¥1,250+税



日本経済新聞 2018/09/01、朝日新聞 2018/09/29



なぜ今、仏教なのか～瞑想・マインドフルネス・悟りの科学～

ロバート・ライト、熊谷 淳子 著

早川書房

妄想ととらわれの人生か、洞察と自由の人生か。錯覚を振り払い、よりよく生きるすべを求めて瞑想合宿に参加した科学ジャーナリストが、「マインドフルネス」の驚くべき効能と、ブッダの奥深い教えを明らかにする。

2018:7./ 366p

978-4-15-209786-6

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/09/01、東京・中日新聞 2018/09/23



わたしは不思議の環

ダグラス・ホフスタッター、片桐 恭弘、寺西 のぶ子 著

白揚社

物理的存在にすぎない私たち人間に、なぜ<意識>が生まれるのか? 「ゲーデル、エッシャー、バッハ」の著者が、ユーモアとパロディとアナロジーを武器に、<意識>の世界に深く分け入り、<私>とは何かという謎に挑む。

2018.8./ 22p,590p

978-4-8269-0200-7

本体 ¥5,000+税



日本経済新聞 2018/09/01、読売新聞 2018/09/09



異常気象と地球温暖化～未来に何が待っているか～(岩波新書 新赤版 1538)

鬼頭 昭雄 著

岩波書店

将来、温暖化の進行とともに極端な気象の頻度が増し、今日の「異常」が普通になる世界がやってくる。IPCC 報告書の執筆者が、異常気象と温暖化の関係を解きほぐし、変動する気候の過去・現在・未来を語る。

2015.3./ 8p,208p,2p

978-4-00-431538-4

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2018/09/08



現場者～300の顔をもつ男～(文春文庫 お75-1)

大杉 漣 著

文藝春秋

現場で喜び、現場で傷つき、現場で生きる…。若き日の劇団時代から北野武映画の現場まで、唯一無二の存在感を放ってきた俳優・大杉漣の軌跡。大杉弘美の特別寄稿も収録する。

2018.9./ 279p

978-4-16-791144-7

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2018/09/08



気象学の新潮流<5> 「異常気象」の考え方

木本 昌秀 著

朝倉書店

異常気象を軸にグローバル(全地球的)な気象について、その見方・考え方の勘どころをわかりやすく解説する。気象の基礎知識を説明した「ミニマム気象学」、話題のトピックやコラムなども掲載。

2017.10./ 7p,219p

978-4-254-16775-7

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/09/08



異なり記念日(シリーズケアをひらく)

齋藤 陽道 著

医学書院

「聞こえる家族」に生まれたろう者の僕と、「ろう家族」に生まれたろう者の妻。ふたりの間に、聞こえる子どもが授かった。見る、話す、触れることの<歓び>とともに。身体と文化を異にする3人の生活の記録。

2018.7./ 231p

978-4-260-03629-0

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/09/08



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

アフリカでほそぼそと暮らしていたホモ・サピエンスが、食物連鎖の頂点に立ち、文明を築いたのはなぜか。その答えを解く鍵は「虚構」にある。人類史全体をたどることで、我々はどうのような存在なのかを明らかにする。

2016.9./ 267p

978-4-309-22671-2

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/09/08



サピエンス全史～文明の構造と人類の幸福～<下>

ユ瓦尔・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

なぜ文明は爆発的な進歩を遂げ、ヨーロッパは世界の覇権を握ったのか?その答えは「帝国、科学、資本」のフィードバック・ループにあった。人類史全体をたどることで、我々はどうのような存在なのかを明らかにする。

2016/9./ 294p

978-4-309-22672-9

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/09/08



地球を「売り物」にする人たち～異常気象がもたらす不都合な「現実」～

マッケンジー・ファンク、柴田 裕之 著

ダイヤモンド社

氷の下の資源争奪戦に明け暮れる石油メジャー、水と農地を買い漁るウォール街のハゲタカ、天候支配で一攫千金を目論む科学者たち…。地球温暖化「後」の世界を見据えた「えげつないビジネス」の実態を暴く。

2016/3./ 17p,426p

978-4-478-02893-3

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/09/08



ダークツーリズム拡張～近代の再構築～

井出 明 著

美術出版社

マレー半島、シベリア、満州、長崎…。「悲しみの記憶を巡る旅」であるダークツーリズムを方法論としてブラッシュアップし、旅を通じて近代を再構築する試み。『ゲンロン』ほか掲載を改稿し、書き下ろしを加えて単行本化。

2018/7./ 231p

978-4-568-50636-5

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/09/08



気候を人工的に操作する～地球温暖化に挑むジオエンジニアリング～(DOJIN 選書 69)

水谷 広 著

化学同人

地球温暖化を技術の力で解決しようと目論むジオエンジニアリング。突拍子もないアイデアが提案されるほど深刻な状況にある地球の今を確認し、個々の技術に期待される効果と同時に、それがはらむ問題を解説する。

2016/1./ 227p,17p

978-4-7598-1669-3

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/09/08



単位は進化する～究極の精度をめざして～(DOJIN 選書 78)

安田 正美 著

化学同人

2018 年、質量、電流など 4 つの単位の新しい定義が提案される。長さ、質量、時間、電流、熱力学温度を取り上げ、精度の高い単位が求められる理由を、科学の進歩と社会的なニーズへの対応という観点からわかりやすく説く。

2018/8./ 222p

978-4-7598-1678-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/09/08



なぜ科学はストーリーを必要としているのか～ハリウッドに学んだ伝える技術～

ランディ・オルソン、坪子 理美 著

慶應義塾大学出版会

知見の共有と積み重ねの上に成り立つ「科学」。学究の世界からエンターテインメントの世界へと飛び込んだ著者が「伝える」という行為を通じて科学の本質に迫り、科学界全体に改革をもたらすための「物語の文化」を提唱する。

2018/7./ 5p,329p,21p

978-4-7664-2523-9

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/09/08



デザインされたギャンブル依存症

ナターシャ・ダウ・シュール、日暮 雅通 著

青土社

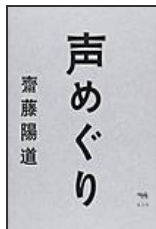
テーブル・ゲームにかわり、マシン・ギャンブリングが普及するラスヴェガス。ギャンブラーの心理からメーカーの戦略、行政の規制緩和まで、インタビュー等をもとに分析し、マシン・ギャンブリングが広まった意味をさぐる。

日本経済新聞 2018/09/08

2018.6./ 585p

978-4-7917-7058-8

本体 ¥2,800+税



声めぐり

齋藤 陽道 著

晶文社

「声」は伝わらない。「声」は沁みてすでにある。ぼくにとっての写真は、失われた「声」を、ふたたびめぐるための旅だった。聾する身体をもつ写真家が、声と世界を取り戻すまでのエピソードを綴る。

日本経済新聞 2018/09/08

2018.7./ 283p

978-4-7949-7030-5

本体 ¥1,850+税



Instagramと現代視覚文化論～レフ・マノヴィッチのカルチュラル・アナリティクスをめぐって～

レフ・マノヴィッチ、久保田 晃弘、きりとりめでる 著

ビーエヌエヌ新社

「写真」は存在するのか? メディア理論家レフ・マノヴィッチのInstagram論の全訳を横書きで収録し、反対側からは縦書きで、今日のデジタル写真とその周辺領域を巡る、日本の論者によるテキストを掲載。

日本経済新聞 2018/09/08

2018.6./ 215p,159p

978-4-8025-1101-8

本体 ¥3,500+税



エンジェル投資家～リスクを大胆に取り巨額のリターンを得る人は何を見抜くのか～

ジェイソン・カラカニス、滑川 海彦、高橋 信夫 著

日経BP社

創業者が絶体絶命になった時、天使よろしく窮地から救い出す「エンジェル投資家」。ハイリスクでも死なない方法、ユニコーン・デカコーンの見つけ方、信頼できる創業者の見極め方などを、驚異的な実績を残した著者が解説する。

日本経済新聞 2018/09/08

2018.7./ 365p

978-4-8222-5572-5

本体 ¥1,800+税



小売再生～リアル店舗はメディアになる～

ダグ・スティーブンス、齋藤 栄一郎 著

プレジデント社

「消費者を惹きつけること」「独自性があること」「繰り返し楽しめること」…。小売業者は卓越した小売体験をどう演出するか。現在の状況、将来の展望を示し、「未来の店」のあるべき姿を見極めるうえでのロードマップを描く。

日本経済新聞 2018/09/08

2018.5./ 338p

978-4-8334-2273-4

本体 ¥1,800+税



深淵の沈黙

ファム・コン・ティエン、野平 宗弘 著

東京外国語大学出版会

ベトナム戦争の混迷が続く 1967 年、若きベトナム人の思想家・詩人が放った思想書。ハイデッガー思想に触発され、西洋形而上学をベトナム戦争の窮極的原因と見定めた著者が、人類共通の故郷たる<深淵の沈黙>への路を示す。

日本経済新聞 2018/09/08

2018.2./ 363p

978-4-904575-66-6

本体 ¥3,200+税





マーシャル、父の戦場～ある日本兵の日記をめぐる歴史実践～

大川 史織 編

みずき書林

1945 年、マーシャル諸島で餓死した日本兵のひとり、佐藤富五郎が綴った日記と遺書は奇跡的に日本の家族の手元に戻った。ドキュメンタリー映画監督をはじめ各世代の多彩な執筆陣が＜想像力＞を駆使して戦地の死に迫る。

日本経済新聞 2018/09/08

2018/7/ 406p

978-4-909710-04-8

本体 ¥2,400+税



立原道造～故郷を建てる詩人～

岡村 民夫 著

水声社

青春の抒情をうたう詩人であり、将来を嘱望された新進建築家でもあった立原道造は、文学と建築という対照的領域の狭間に「第二の故郷」をいかにして創造したのか。「詩人にして建築家」という二重性に着目した画期的論考。

日本経済新聞 2018/09/08、東京・中日新聞 2018/09/16

2018/6/ 348p

978-4-8010-0348-4

本体 ¥3,500+税



カラス屋、カラスを食べる～動物行動学者の愛と大ぼうけん～(幻冬舎新書 ま-13-1)

松原 始 著

幻冬舎

日が昇る前に動き出し、カラスの朝飯を観察。海外に行っても頭の中はカラス一色。餓死したカラスを研究室で食らい、もっと旨く食うにはと調理法を考える…。愛しすぎて 25 年。カラス博士が「大ぼうけん」を綴る。

日本経済新聞 2018/09/08、読売新聞 2018/09/16

2018/7/ 253p

978-4-344-98511-7

本体 ¥820+税



?ばっかり(新潮文庫 ア-5-47)

ジェフリー・アーチャー 著

新潮社

刑事の前に犯行を自白する 51 人もの町民が現れる「だれが町長を殺したか?」、銀行員が資産家の顧客の秘密に気づき人生大逆転の賭けに出る「上級副支店長」ほか、スリリングな全 15 篇を収録した短篇集。

日本経済新聞 2018/09/08、読売新聞 2018/09/30

2018/9/ 452p

978-4-10-216147-0

本体 ¥790+税



VR は脳をどう変えるか?～仮想現実の心理学～

ジェレミー・ベイレンソン、倉田 幸信 著

文藝春秋

VR はエンタテインメントだけでなく、医療、教育、スポーツの世界を一変させ、私たちの日常を全く新しい未来へと導く。VR 研究のトップが数々の心理学実験で解明した、驚愕の実力を紹介する。

日本経済新聞 2018/09/08、毎日新聞 2018/09/16

2018/8/ 364p

978-4-16-390884-7

本体 ¥2,200+税



「いじめ」をめぐる物語(朝日文庫 え 10-3)

江國 香織、荻原 浩、小田 雅久仁、角田 光代、越谷 オサム、辻村 深月、中島 さなえ 著

朝日新聞出版

中学 2 年生を担当する矢村琥代。彼女のクラスではいじめが起きているようで…。荻原浩「サークルゲーム」をはじめ、「いじめ」をテーマにした 7 つの短編を収めた競作アンソロジー。

日本経済新聞 2018/09/15

2018/8/ 326p

978-4-02-264895-2

本体 ¥700+税





始まりの家

蓮見 恭子 著
講談社

四女一男。宇奈月家の面々はそれぞれ独立して生活していたが、彼女らを動揺させる出来事が起こる。子を持たない末女が、母を代理母にしたいというのだ。禁忌とも思われる依頼が、宇奈月家の暗部を抉るきっかけとなり...

2018.8./ 299p
978-4-06-512616-5
本体 ¥1,550+税



日本経済新聞 2018/09/15



裏社会の日本史(ちくま学芸文庫 ホ 21-1)

フィリップ・ポンス 著
筑摩書房

やくざ、被差別民、テキヤ、日雇い労働者等、日本社会の陰に存在してきたマージナルな人々に光を当て、彼らの貧困の実態と権力による支配・利用構造を、『ル・モンド』紙極東特派員を務めるフランス人が詳細に考察する。

2018.8./ 626p
978-4-480-09881-8
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/09/15



プラナカン～東南アジアを動かす謎の民～

太田 泰彦 著
日本経済新聞出版社

プラナカンと呼ばれる異色の民が、東南アジアの国々にいる。アジア経済界で隠然とした勢力を持ち、気高い美意識を誇るその素顔は、今なお謎に包まれている。東南アジアの各地をめぐり、秘められたプラナカンの物語の扉を開く。

2018.6./ 250p
978-4-532-17635-8
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/09/15



引き裂かれた大地～中東に生きる六人の物語～

スコット・アンダーソン、貫洞 欣寛 著
白水社

イラク戦争、アラブの春、ISIS の台頭...。戦渦に巻き込まれた六人のストーリーを通して、現在の中東を動かす陰の原理と市井の人びとの息遣いを浮き彫りにする。経験豊富な戦争ジャーナリストによる渾身のルポ。

2018.7./ 233p
978-4-560-09633-8
本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/09/15



羞恥

チョン スチャン、斎藤 真理子 著
みすず書房

オリンピックの選手村建設予定地で、朝鮮戦争にさかのぼる大量の人骨が出土した。経済至上主義のなかで、脱北者たちのささやかな倫理観が崩れ落ちていき...。大事なものを失った哀しみの中に、韓国社会の今を映し出した名篇。

2018.8./ 225p
978-4-622-08716-8
本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/09/15



海について、あるいは巨大サメを追った一年～ニシオンデンザメに魅せられて～

モルテン・ストロクスネス、岩崎 晋也 著
化学同人

400 年以上も生き続けるといわれる、謎に満ちた巨大サメ・ニシオンデンザメ。神秘のサメに魅せられた 2 人の男が、小さなボートに乗り込み、捕獲に挑んだ 1 年の記録。生命の素晴らしさ、自然の美しさと厳しさを活写する。

2018.7./ 320p
978-4-7598-1971-7
本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/09/15



とんねるずと『めっちゃイケ』の終わり～<ポスト平成>のテレビバラエティ論～(イースト新書 106)

ラリー・遠田 著

イースト・プレス

フジテレビが凋落した6つの理由、「お笑いBIG3」それぞれの終活…。テレビ業界とお笑い業界で巻き起こっている地殻変動を、お笑い評論の第一人者が膨大な資料をもとに徹底分析する。

2018:8./ 191p
978-4-7816-5106-4

本体 ¥861+税



日本経済新聞 2018/09/15



処女崇拝の系譜

アラン・コルバン、山田 登世子、小倉 孝誠 著

藤原書店

「娼婦」「男らしさ」の歴史を鮮やかに描いてきたコルバンが、アルテミスやジュリエット、オフィーリアなど、神話や文学作品に象徴的に現れる「乙女」たちの姿をあとづけ、「乙女」たちに託された男性の幻想の系譜を炙り出す。

2018:6./ 212p
978-4-86578-177-9

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/09/15



モードの誘惑

山田 登世子 著

藤原書店

モードは殺されるためにある。惜しまれつつ急逝した仏文学者、山田登世子。彼女が遺した、文化、芸術、衣装、風俗に大胆に切り込む膨大な単行本未収録原稿から、「モード」「ブランド」に関わる論考を精選して収録する。

2018:8./ 313p
978-4-86578-184-7

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/09/15



寄席の底から

中村 伸 著

三賢社

寄席に行ってみよう! 落語を中心にした「定席」と呼ばれる寄席を取り上げ、事件簿から楽しみ方、歴史までを紹介。上野、新宿など、寄席を育んできた街の歴史もたどる。

2018:7./ 239p
978-4-908655-10-4

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/09/15



リンカーンとさまよえる靈魂たち

ジョージ・ソーランドズ、上岡 伸雄 著

河出書房新社

戦時の大統領リンカーンは、急逝した愛息ウィリーの記憶にひたるため夜の墓地を訪れる。そこには自らの死を受け入れられず、彼岸と此岸の間をさまよう靈魂たちがいた…。短編小説の名手ジョージ・ソーランドズの第1長編。

2018:7./ 445p
978-4-309-20743-8

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2018/09/15、朝日新聞 2018/09/29、読売新聞 2018/09/30



選べなかった命～出生前診断の誤診で生まれた子～

河合 香織 著

文藝春秋

現在の母体保護法では障害を理由にした中絶は認められていない。誤診で提訴した母親に病院側はそう反論し…。家族とは? 生きるとは? 出生前診断を巡る様々な当事者たちの声から紡ぐノンフィクション。

2018:7./ 245p
978-4-16-390867-0

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/09/15、読売新聞 2018/09/16



維新と敗戦～学びなおし近代日本思想史～

先崎 彰容 著

晶文社

これから日本はどうなるのか？日本人らしさとは何か？福澤諭吉から丸山眞男、橋本文三、網野善彦まで23人の思想家が、自分の喫緊の問題として悩んだ、近代化と戦争、維新と敗戦を軸に、日本の150年を振り返る。

2018.8./ 311p

978-4-7949-7053-4

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/09/15、読売新聞 2018/09/16



ネット狂詩曲

劉 震雲、水野 衛子 著

彩流社

旅先でコールガールになった女性、手抜き工事で崩落した橋の責任者、美人局をする自警団。ここ数年、中国のネットを騒がせた事件は、すべてひとりの人物につながっていて…。見ず知らずの4人の男女の悲喜劇を描く。

2018.8./ 341p

978-4-7791-2509-6

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/09/15、読売新聞 2018/09/23



変わったタイプ(CREST BOOKS)

トム・ハンクス 著

新潮社

月旅行を目指す高校時代からの4人組。西部戦線からの帰還兵のクリスマス。変わり者の億万長者とその忠実な秘書…。俳優トム・ハンクスが悲喜こもごもの人生の一瞬を懐の深い筆致で描きだした17の物語を収録。

2018.8./ 447p

978-4-10-590151-6

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/09/15、毎日新聞 2018/09/16、朝日新聞 2018/09/22、東京・中日新聞 2018/09/30



島原の乱～キリシタン信仰と武装蜂起～(講談社学術文庫 2522)

神田 千里 著

講談社

1637年、天草四郎を擁するキリシタンが九州の一角で突如蜂起し、徳川幕府に強い衝撃を与えた。抵抗の論理だけでは説明できない核心は何か、民衆にとって宗教や信仰とは何であったかを明らかにする。

2018.8./ 294p

978-4-06-511727-9

本体 ¥1,090+税



日本経済新聞 2018/09/22



コンビニ外国人(新潮新書 767)

芹澤 健介 著

新潮社

全国の手続きで働く外国人店員はすでに4万人超。「移民不可」にもかかわらず、世界第5位の「外国人労働者流入国」に日本がなったカラクリと、知られざる隣人たちの切ない現実、丹念な取材で迫ったルポルタージュ。

2018.5./ 223p

978-4-10-610767-2

本体 ¥760+税



日本経済新聞 2018/09/22



外国人労働者をどう受け入れるか～「安い労働力」から「戦力」へ～(NHK出版新書 525)

NHK取材班 著

NHK出版

低賃金・重労働の業種は日本人が集まらず、外国人の労働力なくては、もはや日本の産業は成り立たない。外国人の悲惨な奴隷労働の実態や企業への取材をふまえて、これからの共存のあり方について多角的な視点でまとめる。

2017.8./ 188p

978-4-14-088525-3

本体 ¥780+税



日本経済新聞 2018/09/22



世界史序説～アジア史から一望する～(ちくま新書 1342)

岡本 隆司 著

筑摩書房

気鋭の東洋史家によるあらたな通史。ユーラシア全域と海洋世界を視野にいれ、古代から現代までを一望。西洋中心的な歴史観を覆し、「世界史の構造」を大胆かつ明快に語る。『ちくま』連載を新書化。

2018:7./ 265p,4p
978-4-480-07155-2
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/09/22



小説は君のためにある～よくわかる文学案内～(ちくまプリマー新書 309)

藤谷 治 著

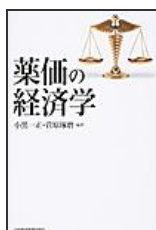
筑摩書房

小説は役に立つ。人生を共に考える友だちになる。なぜそんなことになるのか。小説の特性と、それが小説を読む人にとってどのような役割を持ち、どんな可能性をもっているかを解き明かす。

2018:9./ 174p
978-4-480-68334-2
本体 ¥780+税



日本経済新聞 2018/09/22



薬価の経済学

小黒 一正、菅原 琢磨 著

日本経済新聞出版社

薬価制度は厳しい財政事情や医薬品産業のグローバル化などの影響を受け、様々な構造的な問題を抱えている。日本の薬価制度をどう改革すべきか、第一人者たちが分析・提言する。

2018:7./ 14p,287p
978-4-532-13486-0
本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/09/22



移民の政治経済学

ジョージ・ボージャス、岩本 正明 著

白水社

移民は商品ではない、生身の人間だ。労働市場に与えるインパクトから財政への影響まで、キューバ移民でハーバード教授が語った、移民をめぐる通説を根底から覆す記念碑的著作。

2017:12./ 227p,12p
978-4-560-09591-1
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/09/22



星のなまえ

高橋 順子 著

白水社

古代から現代に至る人びとの星を見るまなざしの美しさ、陰しさに、私は心をおのかせた…。星にまつわる多様な表現を逍遙し、民話から星占いまで諸作品を幅広く紹介する。「水のなまえ」の姉妹篇。

2018:9./ 224p
978-4-560-09652-9
本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/09/22



映画『夜と霧』とホロコースト～世界各国の受容物語～

E.ファン・デル・クナープ 編

庭田 よう子 著

みすず書房

ナチスによる強制収容所の実態をはじめ映像化した、アラン・レネのドキュメンタリー短編「夜と霧」。一本の映画が戦後世界にもたらした影響と波紋を、「アンネの日記」など数々の映画との比較もしながら、各国別に考察する。

2018:8./ 267p,45p
978-4-622-08719-9
本体 ¥4,600+税



日本経済新聞 2018/09/22



刀の明治維新～「帯刀」は武士の特権か?～(歴史文化ライブラリー 472)

尾脇 秀和 著

吉川弘文館

「帯刀」=武士の特権という今日の“常識”は、正しいのか。江戸?明治初年、武器からファッション・身分標識・旧弊のシンボルへと移り変わる姿と維新で消えゆくまでを追う、「帯刀」の本当の意味に迫る。

日本経済新聞 2018/09/22

2018.8./ 7p,271p

978-4-642-05872-8

本体 ¥1,800+税



移民・ディアスポラ研究<7> 産業構造の変化と外国人労働者

津崎 克彦、蘭 信三 著

明石書店

近年の外国人労働の実情を包括的に提示。各労働現場の実態に密着しながら、それぞれの産業構造の変動に対応して外国人労働にみられる変化や課題を明らかにし、その背景にある世界の国際労働力移動についても問う。

日本経済新聞 2018/09/22

2018.6./ 295p

978-4-7503-4685-4

本体 ¥2,800+税



美容整形というコミュニケーション～社会規範と自己満足を超えて～

谷本 奈穂 著

花伝社

人はなぜ美容整形をするのか。美容整形を実践する「契機」とは。従来の社会規範や自己満足といった議論を超え、「日常的なコミュニケーションの位相」という新たなパースペクティブと多角的考察を通じて、人々の身体観に迫る。

日本経済新聞 2018/09/22

2018.6./ 249p

978-4-7634-0858-7

本体 ¥1,600+税



ベルリン・都市・未来

武邑 光裕 著

太田出版

アーティストやハッカー、DJ、ネオ・ヒッピーたちは、いかにベルリンの再生とソーシャルイノベーションを引き起こしたのか? 近年、スタートアップ都市として注目を集めるベルリンを、「創発」という観点から描く。

日本経済新聞 2018/09/22

2018.7./ 303p

978-4-7783-1636-5

本体 ¥3,000+税



ナナメの夕暮れ

若林 正恭 著

文藝春秋

自意識に振り回されていたオードリーの若林。だが、40 を手前にして変化が訪れる。「おじさん」になった若林が「生き辛さ」からいかに解放されたかを語る。『ダ・ヴィンチ』連載に書き下ろしを加え単行本化。

日本経済新聞 2018/09/22、読売新聞 2018/09/30

2018.8./ 218p

978-4-16-390887-8

本体 ¥1,200+税



静かに、ねえ、静かに

本谷 有希子 著

講談社

ネットショッピング依存症から抜け出せず夫に携帯を取り上げられた妻。自分たちだけの「印」を世間に見せるために動画撮影をする夫婦…。SNS に頼り、翻弄され、救われる姿を描く。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2018/09/29

2018.8./ 188p

978-4-06-512868-8

本体 ¥1,400+税





イタリアのしっぽ(集英社文庫 う 25-3)

内田 洋子 著

集英社

息子が連れてきた捨て犬のおかげで、孤高の彫刻家は心の溝を埋め、寒村の初恋は、ペガサスのように山を駆った馬により実る…。動物と人間の関わりを綴るエッセイ集。

2018:8./ 245p

978-4-08-745780-3

本体 ¥560+税



日本経済新聞 2018/09/29



横濱王(小学館文庫 な 23-3)

永井 紗耶子 著

小学館

中国大陆で日本が戦火を交え始めていた昭和 13 年の横濱に、すごい男がいた。富岡製糸場のオーナーで、国内有数の大富豪である原三溪。彼の出資を得たい青年実業家の瀬田は、彼について調べ始めるが…。

2018:9./ 346p

978-4-09-406557-2

本体 ¥650+税



日本経済新聞 2018/09/29



高熱隧道 改版(新潮文庫 よ-5-3)

吉村 昭 著

新潮社

岩盤最高温度 165℃。そこは人が手を出してよい場所だったのか……。黒部第三発電所建設を背景に極限で生きる人間を描いた傑作。

1975:7./ 266p

978-4-10-111703-4

本体 ¥520+税



日本経済新聞 2018/09/29



熊嵐(新潮文庫)

吉村 昭 著

新潮社

日本経済新聞 2018/09/29

1982:11./ 226p

978-4-10-111713-3

本体 ¥520+税



破獄 改版(新潮文庫 よ-5-21)

吉村 昭 著

新潮社

日本経済新聞 2018/09/29

2011:11./ 442p

978-4-10-111721-8

本体 ¥670+税



交雑する人類～古代 DNA が解き明かす新サピエンス史～

デイヴィッド・ライク、日向 やよい 著

NHK出版

旧人類と交雑をくり返してきたホモ・サピエンスの進化の道すじ、現在では消えてしまった「謎の人類集団」の存在…。ヒト古代 DNA を解析・発表してきたパイオニアが、その成果をダイナミックに提示する。見返しに地図あり。

2018:7./ 461p

978-4-14-081751-3

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2018/09/29



スポーツ映画トップ 100(文春新書 1181)

芝山 幹郎 著

文藝春秋

さまざまな競技を通じて人間の姿を描き出すスポーツ映画。古今東西のスポーツ映画をランキングし、1 位から 100 位までを紹介する。『Sports Graphic Number』連載を書籍化。

日本経済新聞 2018/09/29

2018:9./ 319p

978-4-16-661181-2

本体 ¥980+税



三陸海岸大津波(文春文庫)

吉村 昭 著

文芸春秋

日本経済新聞 2018/09/29

2004:3./ 191p

978-4-16-716940-4

本体 ¥450+税



経済学(アカデミックナビ)

大瀧 雅之 著

勁草書房

基礎的な経済理論のテキスト。物々交換経済と貨幣経済、市場の働きとゲーム理論、不確実性の経済学、社会的契約としての貨幣、限定合理性(個人の多様性)と社会秩序などを取り上げ、現実問題への応用を盛り込み解説する。

日本経済新聞 2018/09/29

2018:3./ 9p,313p

978-4-326-50445-9

本体 ¥2,700+税



より高き忠誠～真実と?とリーダーシップ～

ジェームズ・コミー、藤田 美菜子、江戸 伸禎 著

光文社

新任のアメリカ大統領は、私に彼自身への忠誠を求めた。FBI 長官としてアメリカ国民に捧げるものよりも高い忠誠を…。トランプ大統領にクビにされた元 FBI 長官が、指導者の倫理を問い、政権の裏側を明かす。

日本経済新聞 2018/09/29

2018:8./ 434p

978-4-334-96219-7

本体 ¥1,900+税



天を相手にする～評伝宮崎市定～

井上 文則 著

国書刊行会

明治 34 年、長野県飯山市に生まれた、日本を代表する東洋史学者・宮崎市定。古代?近世中国の政治・外交・文化等を研究し、官吏登用制度などの政治制度史で多くの業績を残した“東洋史学研究的巨人”の魅力と生涯を描く。

日本経済新聞 2018/09/29

2018:7./ 437p

978-4-336-06276-5

本体 ¥3,600+税



3M の挑戦～創造性を経営する～

野中郁次郎、清沢達夫 著

日本経済新聞出版社

日本経済新聞 2018/09/29

1987:1./ 308p

978-4-532-08753-1

本体 ¥1,505+税





ここにいる(エクス・リブリス)

王 聡威 著

白水社

幼い娘を抱える 30 代の平凡な主婦・美君(メイジュン)は、夫や親、同僚、友人たちとの関係をなぜ次々に断っていったのか。2013 年に起こった大阪市母子餓死事件をモチーフに台湾文学界の異才が描く「現代の肖像」。

日本経済新聞 2018/09/29

2018.8./ 249p

978-4-560-09270-5

本体 ¥2,800+税



中国の情報化戦争～情報戦、政治戦から宇宙戦まで～

ディーン・チェン、五味 睦佳、鬼塚 隆志、木村 初夫 著

原書房

サイバー攻撃、世論誘導からネット支配、宇宙での優勢にいたる中国「将来戦」の全体像と「情報化」最前線を、ヘリテージ財団アジア研究センター上級研究員である著者が、さまざまな中国の文献をもとに分析する。

日本経済新聞 2018/09/29

2018.6./ 375p

978-4-562-05579-1

本体 ¥4,000+税



戦後国際関係史～二極化世界から混迷の時代へ～

モーリス・ヴァイス、細谷 雄一、宮下 雄一郎 著

慶應義塾大学出版会

第二次世界大戦後、世界は二極化を経て、なぜ現在のような混迷の時代になったのか。戦後史を外交や軍事だけでなく、経済・社会・文化の広い視点から、ダイナミックに描き出す。日本や中国を含む東アジア地域についても論じる。

日本経済新聞 2018/09/29

2018.8./ 10p,396p

978-4-7664-2534-5

本体 ¥3,500+税



構想力の方法論～ビッグピクチャーを描け～

紺野 登、野中 郁次郎 著

日経BP社

かみ合わないデジタル化、掛け声だけの働き方改革…。日本の問題は構想力の欠乏にあり！ 知識創造理論を基礎にして、いかにわれわれが構想力を「次代の知力」として身に付けられるか、その方法論を考察する。

日本経済新聞 2018/09/29

2018.7./ 310p

978-4-8222-5672-2

本体 ¥2,200+税



人騒がせな名画たち

木村 泰司 著

マガジンハウス

名画の謎解き本の決定版！本書は「人騒がせな」西洋の名画のご紹介を通じて、名画を深く楽しむ鑑賞方法を知っていただくものです。どれも展覧会では決して知ることのできないエピソードを揃えました。

日本経済新聞 2018/09/29

2018.10./ 168p

978-4-8387-3019-3

本体 ¥1,500+税



視覚心理学が明かす名画の秘密

三浦 佳世 著

岩波書店

名画はなぜ人の心を惹きつけるのか。モネやクレー、琳派や若冲、北斎、草間彌生の作品、本城直季の写真など 70 点あまりを組上に載せ、実験心理学の成果を土台に秘密のヴェールをはがし、作品の新たな魅力を引き出す。

毎日新聞 2018/09/02

2018.7./ 12p,169p

978-4-00-024956-0

本体 ¥2,500+税





法人資本主義の構造 最新版(岩波現代文庫 学術 138)

奥村 宏 著

岩波書店

株式会社の原理にもとる法人資本主義は、高度経済成長、石油ショックを経て、バブル経済で頂点に達するが、その後大きく揺らいでいる。1975 年の本書初版以降警鐘を鳴らし続けた著者が、今日の状況から大幅に改訂した決定版。

2005:1./ 310p

978-4-00-600138-4

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/09/02



鎖塚～自由民権と囚人労働の記録～(岩波現代文庫)

小池 喜孝 著

岩波書店

明治初め、北海道開拓のために無残な死を強いられた囚人たちが、鉄鎖を付けたまま埋められた墓、鎖塚。犠牲者は誰か。なぜその地で死んだのか。日本近代の暗部をあばく、迫力のドキュメント。

2018:6./ 6p,380p,4p

978-4-00-603309-5

本体 ¥1,420+税



毎日新聞 2018/09/02



不在

彩瀬 まる 著

KADOKAWA

長らく疎遠だった父が、死んだ。「明日香を除く親族は屋敷に立ち入らないこと」という不可解な遺言に娘の明日香は戸惑いを覚えつつ、父の遺した洋館に足を踏み入れるが…。愛なき世界の生き方を探る長篇小説。

2018:6./ 255p

978-4-04-104910-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/09/02



日本浪漫派批判序説(講談社文芸文庫)

橋川 文三 著

講談社

毎日新聞 2018/09/02

1998:6./ 324p

978-4-06-197619-1

本体 ¥1,050+税



経済学者たちの日米開戦～秋丸機関「幻の報告書」の謎を解く～(新潮選書)

牧野 邦昭 著

新潮社

なぜ無謀な対米開戦は防げなかったのか。一流経済学者を擁する陸軍の頭脳集団「秋丸機関」の研究を通じて、「正確な情報」が「不合理な意思決定」につながる過程を辿り、エリートたちが陥った「痛恨の逆説」を解き明かす。

2018:5./ 270p

978-4-10-603828-0

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/09/02



見る力～アガワ流介護入門～(文春新書 1172)

阿川 佐和子、大塚 宣夫 著

文藝春秋

親&伴侶の正しい介護法、理想的な老後の生活術-。作家、インタビュアーとして活躍する一方、父を看取り、認知症の母の世話をする阿川佐和子が、高齢者医療の第一人者である大塚医師と語り合う。

2018:6./ 202p

978-4-16-661172-0

本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/09/02



空の城(文春文庫)

松本 清張 著
文芸春秋
毎日新聞 2018/09/02

2009.11./ 557p
978-4-16-769726-6
本体 ¥771+税



ゲッベルスと私～ナチ宣伝相秘書の独白～

ブルンヒルデ・ポムゼル、トーレ・D.ハンゼン、石田 勇治、森内 薫、赤坂 桃子 著
紀伊國屋書店出版部
なにも知らなかった。私に罪はない。ヒトラーの右腕としてナチ体制を牽引したゲッベルス宣伝相の 103 歳の元秘書が、69 年の沈黙を破り当時を回想する。2018 年 6 月公開の同名ドキュメンタリー映画の書籍版。

2018.6./ 268p
978-4-314-01160-0
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/09/02



文字と組織の世界史～新しい「比較文明史」のスケッチ～

鈴木 董 著
山川出版社
諸文明を「文字世界」として可視化し、歴史上の巨大帝国を「支配組織」の比較優位で捉え直す「比較文明史」。5 大文字圏としての 5 大文化圏の誕生、東西冷戦体制とその終焉、「巨龍」中国と「巨象」インドの台頭までを収録。

2018.8./ 387p
978-4-634-15058-4
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/09/02



カリスマ～中内功とダイエーの「戦後」～

佐野 真一 著
日経BP社
戦後の焼け跡から立ち上がった大正生まれの日本人が築き上げた売上高 5 兆円の一大流通帝国。飢餓の時代から飽食の今に至るまで、戦い続けてきた男に老いが忍び寄る。その帝国にも解体の音が…。衝撃の企業ノンフィクション。

1998.7./ 673p,13p
978-4-8222-4120-9
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/09/02



唱歌の社会史～なつかしさとあやうさと～

永澄 憲史、中西 光雄、河津 聖恵、山室 信一、伊藤 公雄、野田 淳子、中西 圭三、佐久間 順平 著
メディアアイランド
唱歌を通じて得られる懐かしさや叙情性の裏に、ときにあやういメッセージが潜んでいる。多くの人が愛してやまない唱歌を、日本文学、日本史、社会学、詩歌などの観点から多面的に論じる。

2018.6./ 263p
978-4-904678-58-9
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2018/09/02



菜食主義者(新しい韓国の文学 01)

ハン ガン、きむ ふな 著
クオン
ごく平凡な女だったはずの妻・ヨンヘが、ある日を境に肉食を拒否し、日に日にやせ細っていく姿を夫が語る「菜食主義者」のほか、「蒙古斑」「木の花火」を収めた連作小説集。

2011.5./ 301p
978-4-904855-02-7
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/09/02



少年が来る(新しい韓国の文学 15)

ハン ガン 著
クオン

1980年5月18日、韓国の光州で起きた民主化抗争・光州事件。あのとき、生を閉じた者の身に何が起きたのか。生き残った者は、あれからどうやって生きてきたのか。光州事件で命を落とした人々への鎮魂の物語。

毎日新聞 2018/09/02

2016.10./ 275p
978-4-904855-40-9
本体 ¥2,500+税



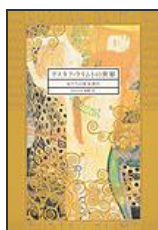
そっと静かに(新しい韓国の文学 18)

ハン ガン、古川 綾子 著
クオン

韓国の作家ハン・ガンの繊細な感性に触れるエッセイ集の初邦訳。音楽との出会い、様々な思い出にまつわる歌、著者が作詞作曲した歌について綴る。著者のオリジナルアルバムの音源にアクセスできるQRコード付き。

毎日新聞 2018/09/02

2018.6./ 191p
978-4-904855-70-6
本体 ¥2,200+税



グスタフ・クリムトの世界〜女たちの黄金迷宮〜

グスタフ・クリムト、海野 弘 著
パイインターナショナル

世紀末ウィーンの迷宮を突き進む、クリムトの世界。＜黄金時代＞の作品から天井画・壁画、女性の肖像画、風景画までクリムトの作品約230点を収録。クリムトの自由な表現スタイルにより誕生したウィーン工房等の作品も紹介。

毎日新聞 2018/09/02、朝日新聞 2018/09/15

2018.7./ 386p
978-4-7562-5041-4
本体 ¥3,200+税



無限の玄/風下の朱

古谷田 奈月 著
筑摩書房

死んでは蘇る父に戸惑う男たちを描いた、『早稲田文学増刊女性号』掲載「無限の玄」と、『早稲田文学』に掲載された、魂の健康を賭けて野球する女たちの物語「風下の朱」を収録する。

毎日新聞 2018/09/02、朝日新聞 2018/09/22

2018.7./ 191p
978-4-480-80480-8
本体 ¥1,400+税



「ふつうのおんなの子」のちから〜子どもの本から学んだこと〜

中村 桂子 著
集英社クリエイティブ

本好きな生命科学者の自伝的エッセイ。「あしながおじさん」「長くつ下のピッピ」「虫めづる姫君」などのヒロインから「ふつうのおんなの子」の生きかたを取りだし、その視点から見える世界と可能性について語る。

毎日新聞 2018/09/02、東京・中日新聞 2018/09/16

2018.7./ 255p
978-4-420-31081-9
本体 ¥1,500+税



土 地球最後のナゾ〜100億人を養う土壌を求めて〜(光文社新書 962)

藤井 一至 著
光文社

世界の土はたった12種類。毎日の食卓を支え、地球の未来を支えてくれる本当に「肥沃な土」はどこに? そもそも土とは一体何なのか? 泥にまみれて地球を巡った研究者が、土の不思議な魅力を語る。

毎日新聞 2018/09/02、日本経済新聞 2018/09/22

2018.8./ 219p
978-4-334-04368-1
本体 ¥920+税





珈琲の世界史(講談社現代新書 2445)

旦部 幸博 著

講談社

コーヒーブームを生んだのはナポレオン!? モカ港はなぜ衰退した? 日本最大のブームはいつ? 先史時代から現代に至るまで、コーヒーが辿った歴史を、起源に関する最新仮説等も交えながらわかりやすく紹介する。

毎日新聞 2018/09/09

2017:10./ 254p

978-4-06-288445-7

本体 ¥800+税



やってみなはれみとくんはなれ(新潮文庫)

山口 瞳、開高 健 著

新潮社

毎日新聞 2018/09/09

2003:8./ 316p

978-4-10-111134-6

本体 ¥550+税



パクチーとアジア飯

阿古 真理 著

中央公論新社

「Hanako」「dancyu」など、時代を映しだしてきた雑誌や、アジアを舞台にした映画、小説を読み解き、日本にアジア飯を広めた移民社会と日本人に丹念に取材。日本人を虜にしたパクチーとアジア飯の魅力の謎に迫る。

毎日新聞 2018/09/09

2018:8./ 253p

978-4-12-005105-0

本体 ¥1,600+税



イノベーションの達人!～発想する会社をつくる 10 の人材～

トム・ケリー、ジョナサン・リットマン 著

早川書房

あなたのチームに足りないのは、人類学者か、ハードル選手か? 世界最高のデザイン・ファーム IDEO を支えるヒューマン・ファクターを、10 のキャラクターに分類して楽しく紹介。どんな組織にも応用できる、究極の人材論。

毎日新聞 2018/09/09

2006:6./ 300p

978-4-15-208736-2

本体 ¥3,000+税



知性は死なない～平成の鬱をこえて～

與那覇 潤 著

文藝春秋

世界秩序の転換点でもある平成という時代に、どうして「知性」は社会を変えられず、むしろないがしろにされ敗北していったのか。うつを体験した著書が、その理由をかつての自分自身に対する批判も含めて探った記録。

毎日新聞 2018/09/09

2018:4./ 292p

978-4-16-390823-6

本体 ¥1,500+税



AI vs.教科書が読めない子どもたち

新井 紀子 著

東洋経済新報社

気鋭の数学者が AI の誤解や限界を示す一方で、大規模な調査の結果わかった日本人の読解力の低下を指摘。AI 化が進んだ未来の行き着く先の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

毎日新聞 2018/09/09

2018:2./ 287p

978-4-492-76239-4

本体 ¥1,500+税





まんがアフリカ少年が日本で育った結果

星野 ルネ 著

毎日新聞出版

カメルーンで生まれた少年は、4 歳に満たない頃、日本へやってきた。アフリカ少年が日本で生きると何が起きるのか？ どんな人生を歩むのか？ 涙と愛にまみれた成長の記録を描いたコミックエッセイ。ツイッター連載を書籍化。

毎日新聞 2018/09/09

2018.8./ 126p

978-4-620-32536-1

本体 ¥1,000+税



Learn Better～頭の使い方が変わり、学びが深まる 6 つのステップ～

アーリック・ボーザー、月谷 真紀 著

英治出版

深い学びを得るにはいったい何が必要なのか。子供のころに学習困難を抱えていた著者が、多くの実証研究調査と、学びの専門家への取材を通して辿り着いた、小手先のテクニックではない本質的な「学び方」を紹介する。

毎日新聞 2018/09/09

2018.7./ 386p

978-4-86276-258-0

本体 ¥2,000+税



医師が診た核の傷～現場から告発する原爆と原発～

広岩 近広 著

藤原書店

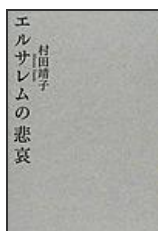
絶対に、「核と人類は共存できない」。血液や甲状腺の専門医をはじめ臨床経験の豊富な内科医や精神科医らが、原爆と原発の核被害者の「核の傷」について報告した貴重な記録。『毎日新聞』連載をもとに改稿・加筆。

毎日新聞 2018/09/09

2018.8./ 313p

978-4-86578-188-5

本体 ¥2,200+税



エルサレムの悲哀

村田 靖子 著

木犀社

3 つの一神教の聖地エルサレムに、免れようもない歴史を背負って暮らす、ユダヤ人、アラブ人をはじめとする、さまざまな人びとの息遣いと苦悩を描く。混迷するエルサレムをめぐる 9 つの短篇を収録。

毎日新聞 2018/09/09

2018.7./ 232p

978-4-89618-067-1

本体 ¥2,500+税



松本圭二セレクション<第9巻> チビクロ

松本 圭二 著

航思社

朔太郎賞詩人・松本圭二の全貌を明らかにするセレクション。第 9 巻は、著者が 30 歳から書きつづってきた、詩、文学、映画等に関するエッセイ&批評を収録する。完結巻。

毎日新聞 2018/09/09

2018.6./ 361p

978-4-906738-33-5

本体 ¥3,400+税



サッカーことばランド～世界で拾い集めたへんてこワード 97～

金井 真紀、熊崎 敬 著

ころから

よく曲がるシュート=大きなキュウリ(スペイン)、頼もしいキーパー=門番(韓国)...。サッカーことば探検隊が世界中で拾い集めた、31 の国と地域 27 言語のサッカーにまつわるへんてこワードをイラストとともに紹介。

毎日新聞 2018/09/09

2018.7./ 94p

978-4-907239-34-3

本体 ¥1,700+税





最初の悪い男(CREST BOOKS)

ミランダ・ジュライ 著
新潮社

43 歳独身シェリルの孤独な箱庭的小宇宙に、美人で巨乳で足の臭い 20 歳のクリー
が転がり込んできた。水と油のふたりの共同生活が臨界点をむかえたとき、幾重にも
絡み合った人々が奇跡を紡ぎだし...

2018.8./ 346p
978-4-10-590150-9
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/09/09、朝日新聞 2018/09/22



風の演劇～評伝別役実～

内田 洋一 著
白水社

「日本のベケット」と称賛され、新たな現代劇を構築した劇作家・別役実。その半生
を、ロングインタビューを交え、膨大な取材から描く。戯曲総覧、略年譜も収録。

2018.8./ 357p
978-4-560-09650-5
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/09/09、読売新聞 2018/09/23



アフター・ヨーロッパ～ポピュリズムという妖怪にどう向きあうか～

イワン・クラステフ、庄司 克宏 著
岩波書店

移民革命、能力主義的エリートへの反乱等、内部的危機に直面している EU 諸国の
リベラル・デモクラシー体制。ソ連解体と東欧革命を体験したブルガリアの知識人が、
透徹した歴史的視座から「アフター・ヨーロッパ」を考察する。

2018.8./ 6p,126p,6p
978-4-00-061286-9
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/09/09、読売新聞 2018/09/30



塩の行進～歌集～(水薺叢書 第 897 篇)

春日 いづみ 著
現代短歌社

ふかぶかと土に沁み込む鐘の音の地球の核まで届きてをらむ「授かる」が「作る」に
なりたる生命を危ぶみあるく乾く砂浜 いつ見てもお巡りさんは不在なり富士が見守る
茶畑交番 第 4 歌集。

2018.8./ 184p
978-4-86534-239-0
本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/09/11



K-POP～新感覚のメディア～(岩波新書 新赤版 1730)

金 成? 著
岩波書店

東方神起、BTS(防弾少年団)、TWICE、EXO...。日本のみならず、世界をも魅了する
K-POP の魅力とは何なのか。グローバルなトレンドとポップな欲望が交錯するソーシ
ャルメディア時代の音楽空間を解き明かす。

2018.7./ 14p,219p
978-4-00-431730-2
本体 ¥840+税



毎日新聞 2018/09/16



使ってはいけない 集団的自衛権(角川新書 K-226)

菊池 英博 著
KADOKAWA

でっち上げの国難が日本を破滅に導く!集団的自衛権容認がもたらす日本への影
響、憲法第 9 条の存在意義、長年の米中の関係、トランプイズムの内容を客観的事
実に基づいて分析。日本が生き延びるための戦略を取りまとめる。

2018.8./ 271p
978-4-04-082234-1
本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/09/16



週刊誌血風録(講談社文庫)

長尾 三郎 著

講談社

毎日新聞 2018/09/16

2004.12./ 419p

978-4-06-274943-5

本体 ¥714+税



鏡のなかのアジア

谷崎 由依 著

集英社

雨降る集落でひっそり交わされる人々の営みを描く「Jiufen の村は九つぶん」、熱帯雨林にそびえる巨樹であった過去を持つ男の物語「天蓋歩行」など、全 5 編を収録した幻想短編集。『すばる』掲載を加筆・修正。

2018.7./ 230p

978-4-08-771146-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/09/16



滝田樗陰〜『中央公論』名編集者の生涯〜(中公文庫 す 4-3)

杉森 久英 著

中央公論新社

明治末〜大正に『中央公論』主幹を務めた滝田樗陰。低迷する雑誌に文芸欄を設け文壇の登竜門にまで押し上げ、吉野作造を起用して大正デモクラシーの時代を招来した、名編集者とその時代を描く。谷崎潤一郎らの追憶記も収録。

2017.4./ 264p

978-4-12-206398-3

本体 ¥900+税



毎日新聞 2018/09/16



オールドレンズの神のもとで

堀江 敏幸 著

文藝春秋

色のない世界から色のある世界へ。色と記憶をめぐる「オールドレンズの神のもとで」など、記憶や風景に抱かれたシーンを繊細に描き出した、彩り豊かな 18 篇を収録する。

2018.6./ 200p

978-4-16-390843-4

本体 ¥1,650+税



毎日新聞 2018/09/16



この経済政策が民主主義を救う〜安倍政権に勝てる対案〜

松尾 匡 著

大月書店

戦後民主主義体制に替わる新しい体制を樹立した指導者として歴史に名を残す野望実現のため、改憲に突き進む安倍政権。これから景気はどうか、左派・リベラル派はどうすればいいか、人気経済学者がくわしく検証する。

2016.1./ 242p

978-4-272-14062-6

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/09/16



日本の醜さについて〜都市とエゴイズム〜(幻冬舎新書 い-30-1)

井上 章一 著

幻冬舎

欧米人にくらべ、集団主義的で協調性のある民族といわれている日本人。だが、街並をくらべると無秩序とエゴにおおわれている。都市景観と歴史から「誰も言わない日本の姿」を論じる。『小説幻冬』連載を加筆し書籍化。

2018.5./ 235p

978-4-344-98498-1

本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/09/16



まずデフレをとめよ〜日本経済再生〜

岩田 規久男 著

日本経済新聞出版社

日本経済が長期に及ぶデフレの下で危機に直面している今こそ、日銀は金融政策を大転換すべきだ。デフレ退治の具体的手段と効果、副作用脅威論の真偽を徹底解説する。

2013.3./ 273p

978-4-532-35564-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/09/16



縄文美術館 新版

小川 忠博、小野 正文、堤 隆 著

平凡社

縄文時代を代表する土器や土偶の優品 650 余点を美しいオールカラー写真で紹介する。考古学者によるわかりやすい解説と収蔵先一覧も収録。旧石器時代と弥生・古墳時代の紹介を加えた新版。

2018.7./ 239p

978-4-582-83781-0

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/09/16



ドル防衛と日米関係〜高度成長期日本の経済外交 1959?1969 年〜(叢書 21 世紀の国際環境と日本 007)

高橋 和宏 著

千倉書房

高度成長メカニズムの重要な要因であった国際収支問題を軸として、経済大国化する日本と国際秩序の維持に苦慮する米国との関係が相互補完的な構図へと変容していくプロセスを解明する。

2018.7./ 298p

978-4-8051-1141-3

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2018/09/16



コンビニオーナーになってはいけない〜便利さの裏側に隠された不都合な真実〜

コンビニ加盟店ユニオン、北 健一 著

旬報社

24 時間 365 日「開いててよかった」の裏側で何が起きているのか。コンビニ・フランチャイズの現状と課題を問う、ニコニコ生放送の番組「衝撃!コンビニの現場」をベースに、コンビニオーナーの苛酷な実態を明らかにする。

2018.9./ 173p

978-4-8451-1557-0

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/09/16



リヒテンベルクの雑記帳

ゲオルク・クリストフ・リヒテンベルク、宮田 眞治 著

作品社

18 世紀後半のヨーロッパにおける文化史・思想史・科学史の貴重なドキュメント。ドイツ・ゲッティンゲン大学実験自然学の教授リヒテンベルクが長年書き綴ったノート群を抜粋し、主題別に編集。各章冒頭に主題の概説も収録。

2018.5./ 666p

978-4-86182-690-0

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2018/09/16



戦国大名と分国法(岩波新書 新赤版 1729)

清水 克行 著

岩波書店

厄介な隣国、勝手な家臣、喧嘩に盗みに所有地争い…。戦国乱世の大名たちは、さまざまな歴史的課題にどのような対策を講じていたのか。大名たちが定めた「分国法」を読み解き、彼らの実像に迫る。

2018.7./ 12p,215p

978-4-00-431729-6

本体 ¥820+税



毎日新聞 2018/09/16、日本経済新聞 2018/09/22



築地市場〜クロニクル完全版 1603-2018〜

福地 享子、築地魚市場銀鱗会 著

朝日新聞出版

新発掘・未公開写真約 400 枚でたどる、築地市場の完全年代記。2016 年刊「築地市場」に 2018 年までの 2 年間を加え、日々の取引、歴史、建物など築地市場のさまざまな表情を、オムニバススタイルでまとめる。

2018:7./ 239p

978-4-02-251556-8

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/09/23



特攻隊振武寮〜帰還兵は地獄を見た〜(朝日文庫 お 80-1)

大貫 健一郎、渡辺 考 著

朝日新聞出版

出撃前には「軍神」と呼ばれた特攻隊員は、生き残るや一転、国賊扱いとなった。仲間たちへの無念、生き残ったゆえの苦悩、特攻作戦への疑問の数々を、帰還兵が語り尽くす。

2018:8./ 358p

978-4-02-261940-2

本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/09/23



不死身の特攻兵〜軍神はなぜ上官に反抗したか〜(講談社現代新書 2451)

鴻上 尚史 著

講談社

上官の命令に背き、体当たりではなく爆弾を落として戦果を挙げようと心に決めた特攻兵、佐々木友次。彼は何と戦い、何に苦しみ、何を選んだのか。生き延びて何を思ったのか。9 回の生還を果たした男が、命の尊厳を語る。

2017:11./ 292p

978-4-06-288451-8

本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/09/23



戦乱と民衆(講談社現代新書 2488)

磯田 道史、倉本 一宏、F.クレインズ、呉座 勇一 著

講談社

白村江、応仁の乱、大坂の陣、禁門の変。民衆はいかにサバイバルしたのか? 国際日本文化研究センターの人気学者たちによる、シンポジウム「日本史の戦乱と民衆」における報告とディスカッションを収録する。

2018:8./ 204p

978-4-06-512218-1

本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/09/23



黙ってられるか(新潮新書 776)

川淵 三郎 著

新潮社

「J リーグ」を誕生させ、日本をサッカーW 杯常連国にまで押し上げ、改革を推し進めてきた川淵三郎が、指導者論、メディア論、そして日本サッカーへの本音を隠すことなく語り尽くす。渡邊恒雄との特別対談も収録。

2018:8./ 206p

978-4-10-610776-4

本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/09/23



特攻-戦争と日本人(中公新書 2337)

栗原 俊雄 著

中央公論新社

第 2 次世界大戦末期、追いつめられた日本陸海軍は、爆弾もろとも敵艦船などに体当たりする特別攻撃=「特攻」を将兵に課した。日本人特異の「戦法」の起源、実態、戦後の語られ方など、その全貌を描く。

2015:8./ 3p,248p

978-4-12-102337-7

本体 ¥820+税



毎日新聞 2018/09/23



彼女は頭が悪いから

姫野 カオルコ 著

文藝春秋

女子大に進学した美咲と、東京大学理科I類に進学したつばさ。ふたりは恋に落ちたはずだった。渦巻く人々の妬み、劣等感、格差意識。そして起こった集団わいせつ事件。しかし、世間に叩かれたのは被害者の美咲のほうだった…。

毎日新聞 2018/09/23

2018.7./ 473p

978-4-16-390872-4

本体 ¥1,750+税



モラルの話

J.M.クッツェー、くぼた のぞみ 著

人文書院

ノーベル賞作家が、「人間のモラル」の底を描いた 7 つの物語。読みすすめるうちに、欲望、ジェンダー、美、生命、加齢、死などの個別テーマが鎖のように絡まり響き合い、全体をつらぬく思想がじわりと浮かび上がる。

毎日新聞 2018/09/23

2018.5./ 157p

978-4-409-13040-7

本体 ¥2,300+税



遺言～対談と往復書簡～(ちくま文庫 い44-2)

志村 ふくみ、石牟礼 道子 著

筑摩書房

今、会って話しておかなければ。未曾有の大災害と原発事故の後、言葉を交わしあうことを強く望んだ染織家と作家。長年の友人である二人が、「一日一日が最後のよう日々」の中で、切望し実現した対談と往復書簡。

毎日新聞 2018/09/23

2018.9./ 280p 図版
16p

978-4-480-43531-6

本体 ¥950+税



蘭の館～セブン・シスターズ～<上>(創元推理文庫 Mラ 10-1)

ルシンダ・ライリー、高橋 恭美子 著

東京創元社

湖のほとりの館で育てられた、血の?がらない 6 人の娘。養父が突然死亡し、娘たちには遺書と出生地らしい座標が遺された。長女マイアの座標が示すのは、リオ・デ・ジャネイロにある<蘭の館>だった…。

毎日新聞 2018/09/23

2017.7./ 378p

978-4-488-21905-5

本体 ¥1,100+税



蘭の館～セブン・シスターズ～<下>(創元推理文庫 Mラ 10-2)

ルシンダ・ライリー、高橋 恭美子 著

東京創元社

希望と不安を胸に<蘭の館>を訪ねたマイアだったが、当主の老婦人に手ひどく拒絶される。だが、メイドが秘かに渡した手紙の束には、ひとりの女性の哀しい物語と、一族の秘密が記されていた…。

毎日新聞 2018/09/23

2017.7./ 382p

978-4-488-21906-2

本体 ¥1,100+税



象徴天皇の旅～平成に築かれた国民との絆～(平凡社新書 889)

井上 亮 著

平凡社

即位後、全都道府県を二巡し、外国への訪問も 36 カ国を数える天皇には、旅こそ象徴のあり方の根幹という、自らが練り上げた象徴天皇像があった。天皇、皇后両陛下の旅の多くに同行してきた記者による見聞記。

毎日新聞 2018/09/23

2018.8./ 318p

978-4-582-85889-1

本体 ¥900+税





風刺画で読み解くイギリス宰相列伝～ウォルポールからメイジャーまで～

ケネス・ベイカー、松村 昌家 著

ミネルヴァ書房

ロバート・ウォルポールからサッチャー、メイジャーにいたるまで約 270 年にわたる歴代イギリス宰相の足跡を、多数の風刺画でたどる書。一流の風刺画家たちの作品に込められたユーモアを歴史的背景とともに解説する。

2018:5./ 4p,231p
978-4-623-07946-9
本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2018/09/23



菩提の樹～関谷巖スリランカ写真集～

関谷 巖 著

芸艸堂

菩提樹の清風につつまれて、慈愛の国スリランカに深く根づく佛教文化の「歴史」を、「風景」を、そしてまた人々と暮らしの「姿」を、畏敬の想いを抱いて撮り続けた。祈りと慈しみの写真集。

2018:6./ 127p
978-4-7538-0305-7
本体 ¥3,500+税



毎日新聞 2018/09/23



片山廣子～思ひいづれば胸もゆるかな～

古谷 智子 著

本阿弥書店

芥川龍之介にくちなしの花にも喩えられた近代歌人・片山廣子。夫の早世、芥川の自死、愛息との逆縁、震災と戦禍…。数々の苦難と悲哀を経てなお、心の丈高く生き抜いたその生涯と作品をたどる評伝。『歌壇』連載を書籍化。

2018:7./ 441p
978-4-7768-1348-4
本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2018/09/23



一八世紀近代の臨界～デイドロとモーツァルト～

鷺見 洋一 著

ぶねうま舎

著者が、半世紀をかけた「共時性の研究」、「いま・この探求」を、そして、音楽と倫理の先端で触れる「世界図絵」のヴィジョンを集成。モーツァルトとデイドロ、一八世紀に交叉する二人の天才の軌跡をたどる。

2018:7./ 392p
978-4-906791-94-1
本体 ¥4,300+税



毎日新聞 2018/09/23



彫刻<1> 空白の時代、戦時の彫刻/この国の彫刻のはじまりへ

小田原 のどか 著

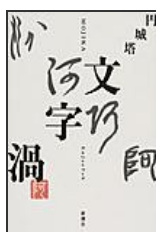
トポフィル

彫刻を巡る叢書。1 は、戦時日本の「彫刻」について論じ、日本の近代化に伴って設置された彫刻家育成機関のはじまりと、スカルプチャーの訳語としての「彫刻」のはじまりなどを考察する。

2018:6./ 502p,37p
978-4-909744-00-5
本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2018/09/23



文字渦

円城 塔 著

新潮社

秦の始皇帝の陵墓から発掘された 3 万の漢字。昔、文字は生きていた?! 表題作ほか、文字の起源から未来までを幻視する全 12 編を収録。『新潮』連載をまとめて単行本化。

2018:7./ 302p
978-4-10-331162-1
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/09/23、毎日新聞 2018/09/30



高専教育の発見～学歴社会から学習歴社会へ～

浅野 敬一 編
林川 友貴 著
岩波書店

就職率 100%という高い評価と半世紀を超える歴史を有する 5 年制の高等教育機関「高専」。等閑視されてきた高専教育の内実、学生側の評価、卒業後のキャリア展開等について、大規模卒業生調査と論考から多角的に迫る。

毎日新聞 2018/09/30

2018:4./
13p,233p,15p
978-4-00-022959-3
本体 ¥2,400+税



「萬世一系」の研究～「皇室典範的なもの」への視座～<上>(岩波現代文庫)

奥平 康弘 著
岩波書店

日本国憲法の下での天皇・皇室のあり方について議論を深めるための論点を提示。上では、敗戦直後の GHQ と日本政府の間での天皇制存続をめぐる攻防戦、それが戦後版皇室典範に反映されていく経過を臨場感をもって描き出す。

毎日新聞 2018/09/30

2017:3./ 8p,325p
978-4-00-600359-3
本体 ¥1,300+税



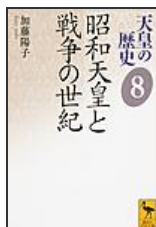
「萬世一系」の研究～「皇室典範的なもの」への視座～<下>(岩波現代文庫)

奥平 康弘 著
岩波書店

日本国憲法の下での天皇・皇室のあり方について議論を深めるための論点を提示。下では、明治期に皇室典範が形づくられた過程を、伊藤博文ら為政者の構想、民権結社の議論や法制官僚の意見書など、多彩な資料から検討する。

毎日新聞 2018/09/30

2017:3./ 8p,294p,3p
978-4-00-600360-9
本体 ¥1,280+税



天皇の歴史<8> 昭和天皇と戦争の世紀(講談社学術文庫 2488)

加藤 陽子 著
講談社

87 年の生涯を通じて、総力戦の悲惨さと戦後の繁栄を経験した昭和天皇は、いかに歴史の「動力」となっていたのか。新憲法、平和、アメリカ、沖縄などの視点から「象徴天皇の時代」を大幅に増補。

毎日新聞 2018/09/30

2018:7./ 499p
978-4-06-512290-7
本体 ¥1,490+税



怒りの葡萄<上>(新潮文庫 ス-4-4)

スタインベック 著
新潮社

大銀行に土地を奪われたオクラホマ州の農民たちは、新天地カリフォルニアを目指したが…。ジョード一家に焦点をあて、1930 年代のアメリカ大恐慌期に苦境を切り抜けようとする情愛深い家族の姿を描いた、不朽の名作。

毎日新聞 2018/09/30

2015:10./ 497p
978-4-10-210109-4
本体 ¥750+税



怒りの葡萄<下>(新潮文庫 ス-4-5)

スタインベック 著
新潮社

カリフォルニアを目指す旅を続けるジョード一家。希望に満ちて“約束の地”に到着した彼らを待っていたのは…。1930 年代のアメリカ大恐慌期に、苦境を切り抜けようとする情愛深い家族の姿を描いた、不朽の名作。

毎日新聞 2018/09/30

2015:10./ 474p
978-4-10-210110-0
本体 ¥710+税





試験に出る哲学～「センター試験」で西洋思想に入門する～(NHK 出版新書 563)

斎藤 哲也 著

NHK出版

「センター試験・倫理」を導きに、哲学をサクッと身につける! ソクラテス、プラトンからニーチェ、ウィットゲンシュタインまで厳選 20 問にチャレンジし、解説とイラストを楽しむうちに西洋思想の基本を学べる一冊。

2018/9./ 261p

978-4-14-088563-5

本体 ¥860+税



毎日新聞 2018/09/30



女たちの精神史～明治から昭和の時代～

伊藤 由希子 著

春秋社

阿久悠、向田邦子、下田歌子、中島みゆきなどの作品を題材に、この国の女性たちが、近代という時代をどう生き抜いてきたのかを具体的に読み解く論考。たおやかに力強く今を生きる女性たちのありようを、生き生きと描く。

2018/8./ 10p,239p

978-4-393-31302-2

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/09/30



天皇制と民主主義の昭和史

河西 秀哉 著

人文書院

昭和天皇は何度も訪れた退位の危機をいかにして乗り越え、「象徴」となったのか。多様な象徴天皇像の特徴を析出し、敗戦から青年皇太子の誕生まで、戦後民主主義の中で揺れる天皇制とその実態を描き出す。

2018/2./ 297p

978-4-409-52068-0

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2018/09/30



名句の所以～近現代俳句をじっくり読む～(澤俳句叢書 第 24 篇)

小澤 實 著

毎日新聞出版

井月・子規から今日活躍する俳人まで、近現代の 300 句を季節ごとに分け、口語訳を付して解説。その多様な響き、季語・切字の生かされ方を徹底解剖した、実作にも役立つ俳句鑑賞読本。『俳句 α あるふあ』連載を加筆訂正。

2018/9./ 332p

978-4-620-32525-5

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/09/30



直島誕生～過疎化する島で目撃した「現代アート」の挑戦」全記録～

秋元 雄史 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

草間彌生、宮島達男、安藤忠雄…。錚々たるアーティストたちの作品がひしめきあう「現代アートの聖地・直島」はどのようにして生まれたのか? 知られざる誕生の経緯を、仕掛け人である著者が語り尽くす。

2018/7./ 399p

978-4-7993-2321-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/09/30



危ない「道徳教科書」

寺脇 研 著

宝島社

2018 年度に正式教科としてスタートした「道徳」。主に授業で使用される教科書の内容と成立過程に注目しながら、道徳教科化の問題点を検証。安倍政権が後押しする「押し付け」教育の実態を明らかにする。

2018/9./ 223p

978-4-8002-8685-7

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/09/30



海を渡ったニッポンの家具〜豪華絢爛仰天手仕事〜(LIXIL BOOKLET)

住友和子編集室、村松 寿満子 編

LIXIL出版

寄木細工、芝山象嵌、青貝細工、彫刻家具、仙台?笥…。日本の伝統的な美術工芸品を、欧米向けにアレンジした明治時代の輸出家具を、豊富な写真とともに紹介する。LIXIL ギャラリーの企画展に併せて刊行。

2018.6./ 80p

978-4-86480-522-3

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 8 6 4 8 0 5 2 2 3 *

毎日新聞 2018/09/30